令和４年度

那覇市の水道・下水道に関するアンケート調査

報　告　書

2023年（令和5年）1月

那覇市上下水道局

～ 目 次 ～

Ⅰ．調査の実施概要 …… 1

１．調査の目的 …… 1

２．調査設計 …… 1

３．調査票の配布・回収状況 …… 2

４．調査項目 …… 3

５．報告書の読み方 …… 4

Ⅱ．調査結果の概要 …… 5

Ⅲ．アンケート調査結果 …… 9

１．基本項目（属性）調査結果 …… 9

２．水道・下水道に関する意識調査結果 …… 15

Ⅳ．資 料 編…… 66

調査票 …… 66

Ⅰ．調査の実施概要

Ⅰ．調査の実施概要

1．調査の目的

那覇市の水道事業は、市民の皆様に安全安心な水道水の供給を行うとともに、水道施設の維持管理や地震等の災害対策を行っています。下水道事業は、河川や海の水質保全、浸水被害の軽減に加え、未普及地域の解消や災害等への備えに努めています。

今後は、人口減少社会の到来による料金収入の減少や施設の老朽化に伴う施設管理費の増加が見込まれますが、これからも市民の皆様が安心して水道・下水道を使用することができるよう、施設と財政の安全性を継続していかなければなりません。

コロナ禍における原油価格・物価高騰により市民生活への影響が及ぶ状況ではありますが、那覇市の水道・下水道に対する市民の意識と意向を調査・分析し、今後の上下水道事業運営に反映させるために本調査を実施しました。

2．調査設計

（1）	調 査 期 間	2022年10月1日～11月30日（61日間）
（2）	調 査 対 象	那覇市（本庁地区、真和志地区、首里地区、小禄地区）の水道を使用している一般家庭全世帯
（3）	抽 出 方 法	無作為抽出法（4地域の世帯数により按分抽出）による
（4）	対象世帯数	3,700 世帯（157,742 世帯の約 2.3%） ※（ ）の世帯数は那覇市 HP より R4年6月末の世帯数
（5）	調 査 方 法	配布：郵送法　回収：郵送法・Web 回答
（6）	調査実施機関	株式会社ゼンリンインターマップ

3．調査票の配布・回収状況

総 配 布 数：3,700 世帯
有効配布数：3,667 世帯（宛先不明 33 世帯）
回　収　数：1,413 世帯
有効回答数：1,413 世帯
有効回収率：38.2%

		本庁地区	真和志地区	首里地区	小禄地区	地区不明	合　計
計画配布数		1,251 世帯	1,225 世帯	584 世帯	640 世帯	0 世帯	3,700 世帯
宛先不明数		12 世帯	11 世帯	8 世帯	2 世帯	－	33 世帯
最終配布数 （配布比率）		1,239 世帯 （33.8 %）	1,214 世帯 （33.1 %）	576 世帯 （15.7 %）	638 世帯 （17.4%）	0 世帯 －	3,667 世帯 －
合計回収数 （回収比率）		477 世帯 （33.7 %）	403 世帯 （28.5 %）	275 世帯 （19.5 %）	257 世帯 （18.2%）	1 世帯 （0.1%）	1,413 世帯 —
内訳	郵送 （回収比率）	360 世帯 （32.8%）	320 世帯 （29.1%）	224 世帯 （20.4%）	195 世帯 （17.7%）	0 世帯 －	1,099 世帯 —
	Web 回答 （回収比率）	117 世帯 （37.3%）	83 世帯 （26.4%）	51 世帯 （16.2%）	62 世帯 （19.8%）	1 世帯 （0.3%）	314 世帯 —

４．調査項目

調査項目は、クロス集計による分析のための回答者の基本項目（属性）調査も含め、以下の５項目で構成しました。

水道・下水道についての質問総数は、合計 19 問となっています。

１．基本項目（属性）について

１　年齢
２　居住地区
３　居住形式
４　世帯構成
５　那覇市での居住期間
６　最近支払った１か月分の水道料金・下水道使用料の合計額

２．水道・下水道について

Ⅰ　水道について

問１　日頃の主な水の飲み方について
問２　水道水をそのまま飲まない理由
問３　貯水槽（タンク）の保有状況について
問４　貯水槽（タンク）の清掃状況について
問５　節水の心がけについて
問６　節水の取組みや節水機器について

Ⅱ　下水道について

問７　下水道の接続有無について
問８　洗濯機の設置場所と排水について
問９　排水管や下水道管のつまり防止策や悪臭の排出抑制策について

Ⅲ　水道・下水道共通の項目について

問 10　水道・下水道の情報収集源について
問 11　水道・下水道で実施している情報提供を充実させる手段について
問 12　水道に関して知りたい情報について
問 13　下水道に関して知りたい情報について
問 14　災害による断水時の備えについて
問 15　那覇市上下水道局が力を入れるべき震災対策について
問 16　災害発生時に知りたい情報について
問 17　水道料金・下水道使用料の負担感について
問 18　施設の維持管理に対する経費への負担について

Ⅳ　お客様センターについて

問１９　お客様センター窓口・電話対応の満足度について

5．報告書の読み方

（1）報告書における集計方法は、コンピュータによる単純集計・クロス集計で行っています。

（2）不明確な回答（選択肢にすべて〇をつける、相反する選択肢に〇をつける等）については、できる限り反映させて処理しています。

（3）基本的に集計結果は、百分率で少数点第２位を四捨五入して表示しています。合計については小数点以下を四捨五入して表示しています。

（4）報告書内で作成されているグラフは、質問がシングルアンサー（選択肢を１つだけ選ぶ質問）においては「円グラフ」を、属性による比較においては「帯グラフ」を採用しています。

また、マルチアンサー（選択肢を複数選ぶ質問）と属性による比較においては「横棒グラフ」を採用しています。

過去調査と比較する場合には「帯グラフ」を採用しています。

（5）グラフの表示については、特に意図がある場合を除き、選択肢のトップから順に濃い色から薄い色へ変化するように表示の統一を行っています。

（6）グラフ内に表記されている「n=〇〇」という値は回答者数の合計で、その値を100%として割合を算出しています。マルチアンサー（選択肢を複数選ぶ質問）においては、割合の合計が100%を超えることがあります。

（7）報告書では、今回の調査だけでなく、出来る限り過去調査との比較を行っています。

Ⅱ．調査結果の概要

Ⅱ．調査結果の概要

１．回答者の基本項目（属性）について

回答者の年代は「70歳代以上」が28.4%と最も高く、30歳代～60歳代は10.5～20.8%、20歳代以下は2.5%となっています。（p9参照）

回答者の居住地区は「本庁地区」「真和志地区」がそれぞれ約3割、「首里地区」「小禄地区」がそれぞれ約2割程度となっています。（p10参照）

回答者の居住形式で最も多い回答は「集合住宅（マンション、アパートなど）」の59.7%で、次いで「一戸建て」の37.1%となっています。（p11参照）

回答者の世帯構成は「２人」が最も多く、次いで「１人」「３人」「４人」「５人以上」の順となっています。「１人」の割合は平成１７年度の調査以降、増加傾向となっています。（p12・13参照）

回答者の那覇市での居住年数は「１５年以上」が約6割と最も高く、次いで「5年未満」「５～10年未満」「１０～15年未満」の順となっています。（p13参照）

回答者の最近支払った１か月分の水道料金と下水道使用料は「2,000円以上4,000円未満」が約3割と最も高くなっています。（p14参照）

２．水道について

那覇市の水道については、水道水の飲用状況、貯水槽の保有・清掃状況、節水への取組みについて質問を実施しました。

日頃の主な水の飲み方については、水道水を飲むと回答した割合の合計は62.4%（前回調査64.1%）となっており、水道水を飲まないと回答した割合の合計は35.2%（前回調査32.6%）で、水道水を飲まないと回答した割合が前回より増加しています。

居住区別で比較すると、首里地区では水道水を飲むと回答した割合の合計が最も高く、本庁地区では水道水を飲まないと回答した割合が最も高い結果となり、地区により水道水の飲み方に差があることが分かりました。（p15・18参照）

水道水を飲まない理由としては、「水道水自体の安全性に不安があるから」の34.5%が最も高く、次いで「マンションやアパートの貯水槽（タンク）の衛生面が気になるから」の29.7%となっています。今回調査では、居住形式の回答で「集合住宅（マンション、アパートなど）」と回答した割合が前回調査の24.9%より増加したこともあり、衛生面を気にする方が増加する結果となりました。（p20・22参照）

貯水槽（タンク）の保有状況については、「貯水槽（タンク）あり」が62.0%（前回調査60.1%）、「貯水槽（タンク）なし」が20.7%（前回調査26.6%）となっています。「貯水槽（タンク）あり」は平成20年度の調査以降減少傾向となっていましたが、今回調査では微増となっています。（p24参照）

貯水槽（タンク）の清掃状況については、「定期的に清掃をしている（年に1回以上）」、「ときどき清掃している（2～3年に1回くらい）」の合計が53.1%で、貯水槽（タンク）

を保有する方の約半数が定期的に清掃を行っています。（p26参照）

節水の心がけについては「いつも節水を意識している」「ある程度節水を実行している」を合わせると79.3%（前回調査77.3%）、「特に実行していない」「考えずに使っている」を合わせると19.4%（前回調査21.6%）となっており、前回調査より節水を実行している市民の割合が増加しています。（p30参照）

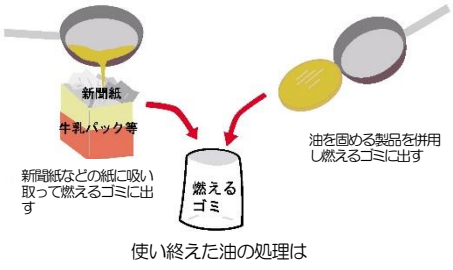
家庭での節水の取組みについて多い回答は、「こまめな蛇口の開閉」「洗濯物はまとめて洗う」「トイレの大小レバーの使い分け」など、日常生活において節水を実践していることがわかりました。（p32参照）

3．下水道について

下水道については、下水道の接続状況、洗濯機の排水、排水管や下水道管のつまりの要因となる汚れの排出抑制意識について質問を実施しました。

下水道の接続状況については「下水道へ接続している」が80.2%となっており、「下水道へ接続していない」が0.6%、「わからない」が19.2%となっています。（p34参照）

洗濯機の排水については、洗濯機の設置場所と排水の状況について質問し、「室内に設置しており、下水道へ排水している」、「ベランダに設置しており、下水道へ排水している」を合計すると約９割が下水道へ排水している結果となりました。（p35参照）



排水管や下水道管のつまり防止策について多い回答は、「生ごみを流さないようにしている」「天ぷら油を流さないようにしている」となっています。（p36参照）

4．水道・下水道の共通項目

水道・下水道の共通項目では、水道・下水道の情報収集源、水道・下水道で実施している情報提供を充実させる手段、水道・下水道に関して知りたい情報、災害による断水時の備え、那覇市上下水道局が力を入れるべき震災対策、災害発生時に知りたい情報、水道料金・下水道使用料の負担感について、施設の維持管理に対する経費への負担について質問を実施しました。

上下水道局広報誌 なはの水

水道・下水道の情報収集源については、「那覇市広報紙 市民の友」が47.4%（前回49.5%）と最も高く、次いで「上下水道局広報誌 なはの水」の31.4%（前回調査27.9%）となっています。「上下水道局広報誌 なはの水」を読んでいる回答は、前回調査から割合が増加しています。（p38参照）

水道・下水道で実施している情報提供を充実させる手段について多い回答は、「内容を簡単にする」「タイムリーな情報を増やす」「情報を探しやすくする」などとなっています。（p40参照）

水道に関して知りたい情報については、「水質のこと」の73.5%が最も高く、次いで「水道料金のこと」の55.6%、「地震や災害対策のこと」の36.9%などとなっており、上位3項目は前回調査と同じとなっています。（p43参照）

下水道
デザインマンホール蓋

下水道に関して知りたい情報については、「下水処理のしくみ」の48.1%が最も高く、次いで「川や海の水質保全のこと」の44.0%、「下水道使用料のこと」の42.0%となりました。（p46参照）上下水道とも、料金・使用料について関心が高い結果となりました。

災害による断水時の備えについては、「何もしていない」が最も高く36.4%、次いで「ペットボトル水などの飲料水を常備している」が35.8%、「災害時に水を入れるポリタンクを準備している」が14.7%となっています。災害による断水時の備えをしている割合とそうでない割合がともに約３割であることが分かりました。（p49参照）

那覇市上下水道局が力を入れるべき震災対策については、「水道管・下水道管の耐震化を進める」の76.1%が最も高く、他に「応急給水拠点についての広報やPRに力を入れる」などとなっています。（p53参照）

災害発生時に知りたい情報については、「応急給水をしている場所、日時」が90.6%（前回調査89.6%）と最も高く、次いで「断水している地域と復旧見込み」の72.8%（前回調査70.4%）となっています。（p55参照）

「震災対策」「災害発生時に知りたい情報」のどちらも、給水に関する情報について関心が高いことが分かりました。

上下水道局では、地震などの災害に備えて、水道施設の耐震化を進めています。
耐震化とは、地震の際に管が破損して水が漏れないように、管と管の継ぎ目が「上下左右に曲がる」「前後に伸び縮みする」「強い力がかかっても抜けない」水道管に替えることです。（図参照）

現在支払っている水道料金・下水道使用料については、55.3%が「妥当である」と感じていますが、次いで「やや高い」、「高い」を合計すると37.3%となっています。（p58参照）

施設の維持管理に対する経費への負担（料金値上げ）については、「安全な施設を維持していくためには、負担（値上げ）はやむを得ない」は40.1%となっていますが、前回調査の49.1%より割合が減少しています。（p62参照）

5．お客様センターについて

那覇市上下水道局では、平成26年6月1日より、サービスの向上と業務の効率化を図るために「お客様センター」を設置しており、お客様センターの窓口・電話対応の満足度について質問を実施しました。

那覇市上下水道局　お客様センター

お客様センターを利用したことがある市民に対する、窓口・電話対応の満足度については、「ふつう」「良い」「非常に良い」を合わせると90.5%（前回調査88.6%）と回答しており、前回調査と同様にお客様サービスの満足度が維持できている結果となりました。（p65参照）

Ⅲ．アンケート調査結果

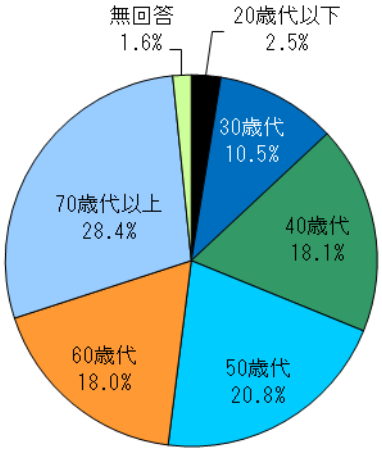
Ⅲ．アンケート調査結果

1．基本項目（属性）調査結果

【あなたの年齢】

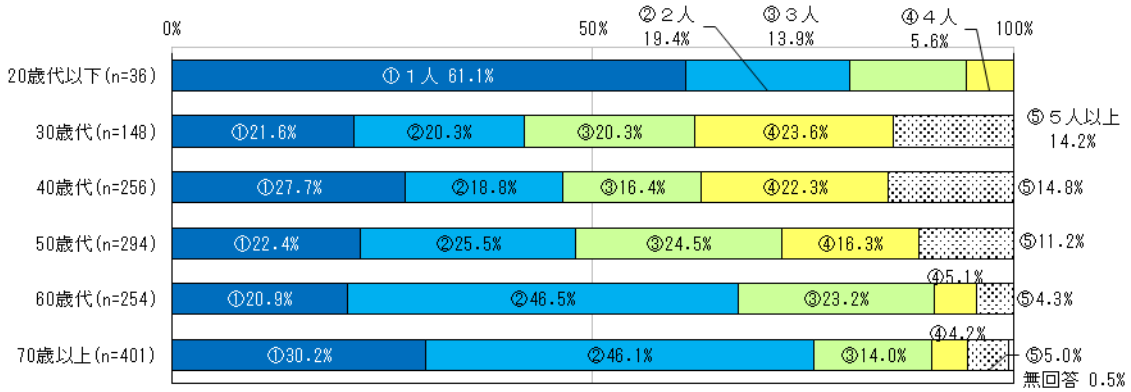
1　20 歳代以下　　2　30 歳代　　3　40 歳代　　4　50 歳代
5　60 歳代　　6　70 歳代以上

項　　目	回答数	%
20歳代以下	36	2.5%
30歳代	148	10.5%
40歳代	256	18.1%
50歳代	294	20.8%
60歳代	254	18.0%
70歳代以上	401	28.4%
無回答	24	1.6%
計	1,413	100%



回答者の年齢は「70 歳代以上」の 28.4％が最も高く、次いで「50 歳代」の 20.8％、「40 歳代」の 18.1％、「60 歳代」の 18.0％、「30 歳代」の 10.5％、「20 歳代以下」の 2.5％となっています。

世帯構成を年代別でみると、20歳代以下では「1人」と回答した割合が 61.1%となっており、60歳代と70歳代以上では「2人」と回答した割合が約5割となっています。

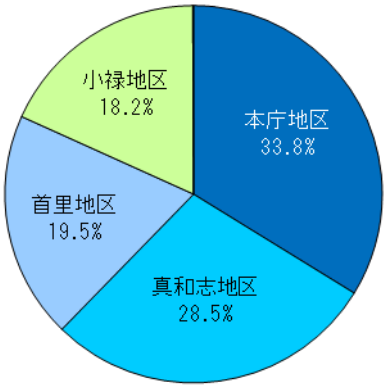


※属性の「無回答」は省略しています。

【現在お住まいの地区】

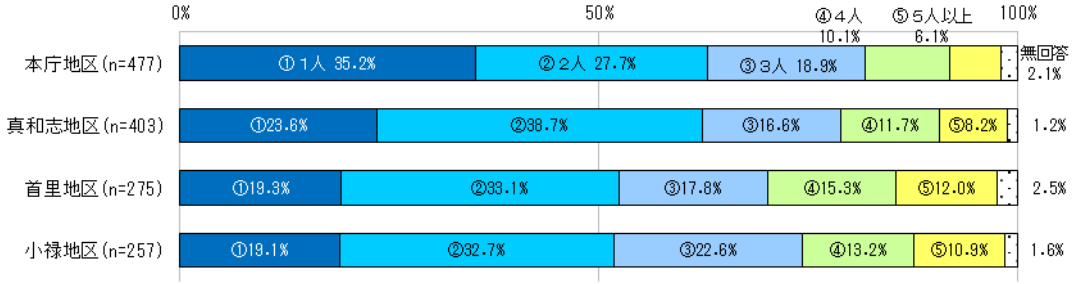
1　本庁地区　　2　真和志地区　　3　首里地区　　4　小禄地区
5　わからない

項　　目	回答数	%
本庁地区	477	33.8%
真和志地区	403	28.5%
首里地区	275	19.5%
小禄地区	257	18.2%
わからない	1	0.1%
計	1,413	100%



回答者の居住地区は、「本庁地区」が３３．８%、「真和志地区」が２８.５%、「首里地区」が 19.5%、「小禄地区」が １８.２%となっています。

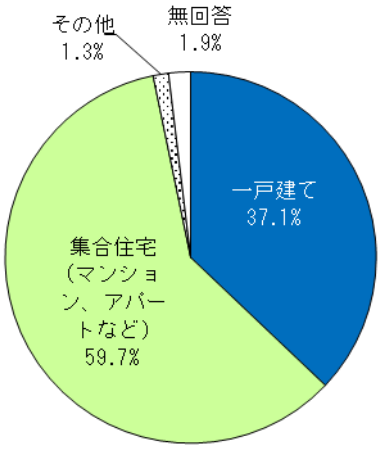
世帯構成別でみると、１人と回答した割合は「本庁地区」の 35.2%が最も高くなっています。



※属性の「わからない」「無回答」は省略しています

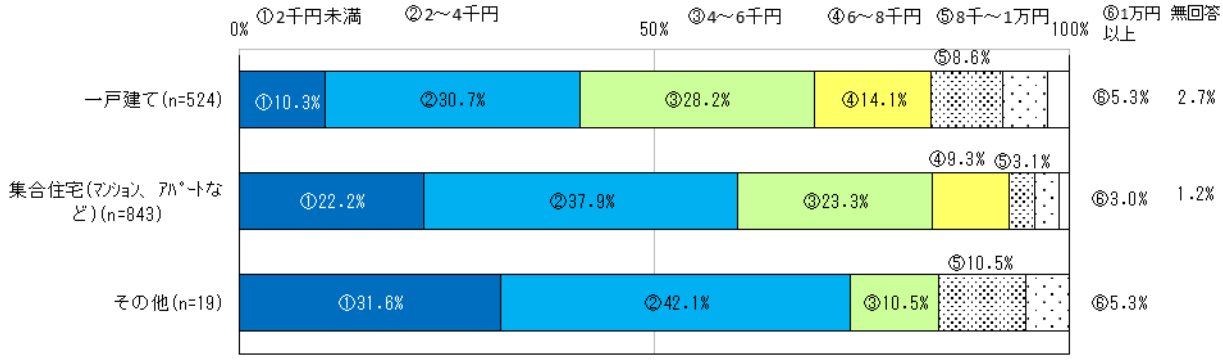
【現在お住まいの家の形式】
1　一戸建て　　2　集合住宅(マンション、アパートなど)　　3　その他

項　　目	回答数	%
一戸建て	524	37.1%
集合住宅(マンション、アパートなど)	843	59.7%
その他	19	1.3%
無回答	27	1.9%
計	1,413	100%



回答者の居住形式は「集合住宅(マンション、アパートなど)」の 59.7%が最も高く、次いで「一戸建て」の 37.1%、「その他」の 1.3%となっています。その他の回答としては「団地」「市営住宅」などとなっています。

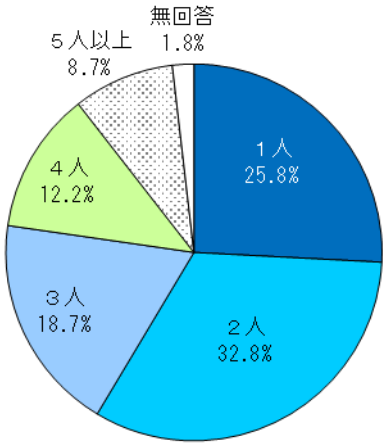
最近支払った 1 か月分の水道料金・下水道使用料別でみると、「一戸建て」では 6,000 円以上の支払い額の割合が高くなっています。



※属性の「無回答」は省略しています

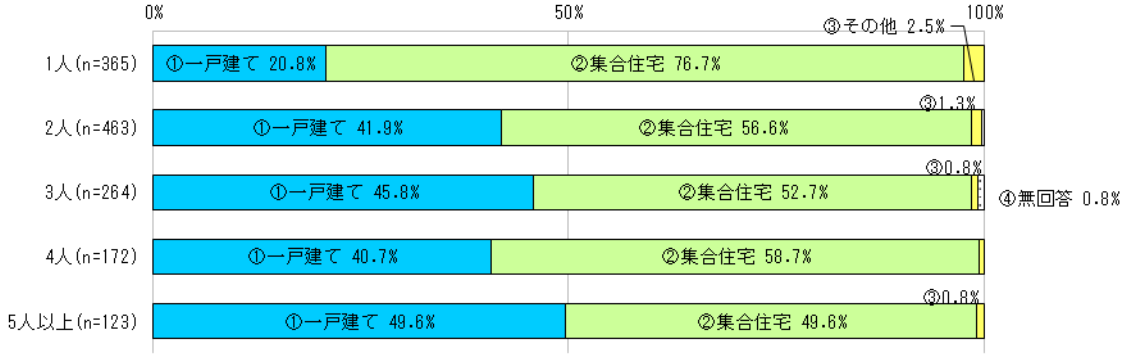
【世帯構成】
１　１人　　２　２人　　３　３人　　４　４人　　５　５人以上

項　　目	回答数	%
１人	365	25.8%
２人	463	32.8%
３人	264	18.7%
４人	172	12.2%
５人以上	123	8.7%
無回答	26	1.8%
計	1,413	100%



回答者の世帯構成は「２人」が 32.8%と最も高く、次いで「１人」の 25.8%、「３人」の 18.7%、「４人」の 12.2%、「５人以上」の 8.7%となっています。

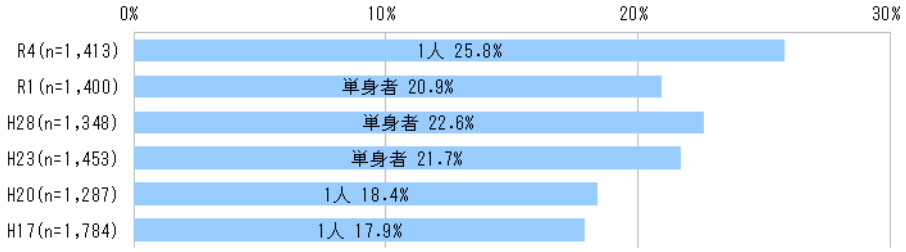
世帯構成を居住形式別でみると、「５人以上」では 49.6%が一戸建てと回答しており、「１人」では７６.７%が集合住宅と回答しています。



※属性の「無回答」は省略しています

参　考

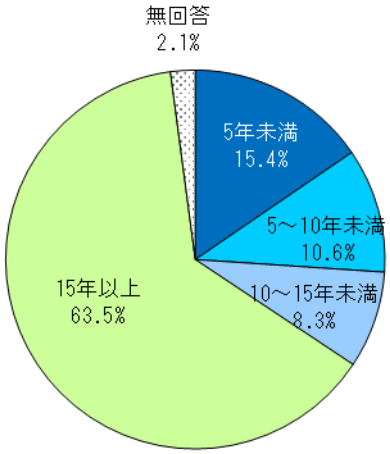
世帯構成について経年変化でみると、平成 17 年度の調査以降「１人」の割合は増加傾向が見られます。



※平成 17 年度、平成 20 年度調査では「何人でお住まいですか」の質問に対する選択項目の「1 人」を「単身者」に置き換えて比較しています

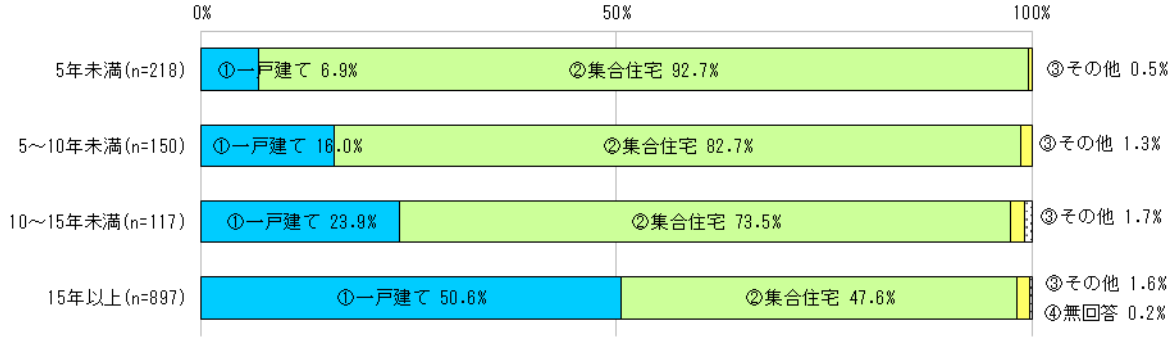
【那覇市にお住まいの期間】
１　５年未満　　２　5～10 年未満　　３　10～15 年未満　　４　15 年以上

項　　目	回答数	%
5年未満	218	15.4%
5～10年未満	150	10.6%
10～15年未満	117	8.3%
15年以上	897	63.5%
無回答	31	2.1%
計	1,413	100%



回答者の那覇市の居住年数は「１５年以上」が 63.5%と最も高く、次いで「5 年未満」の 15.4%、「5～10 年未満」の 10.6%、「１０～15 年未満」の 8.3%となっています。

居住年数を居住形式別でみると、那覇市での居住年数の長さにともなって、一戸建てと回答した割合が高くなっています。

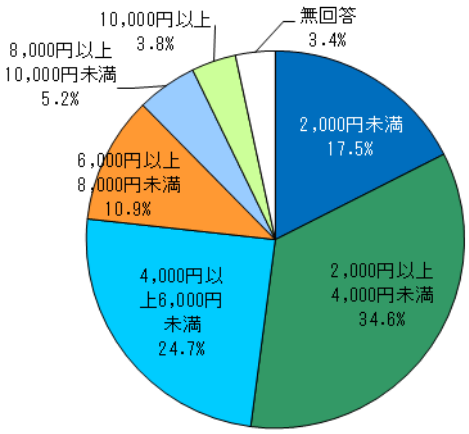


※属性の「無回答」は省略しています

【最近お支払いただいた水道料金と下水道使用料の合計額（消費税込、1 か月分）】

1　2,000 円未満
2　2,000 円以上 4,000 円未満
3　4,000 円以上 6,000 円未満
4　6,000 円以上 8,000 円未満
5　8,000 円以上 10,000 円未満
6　10,000 円以上

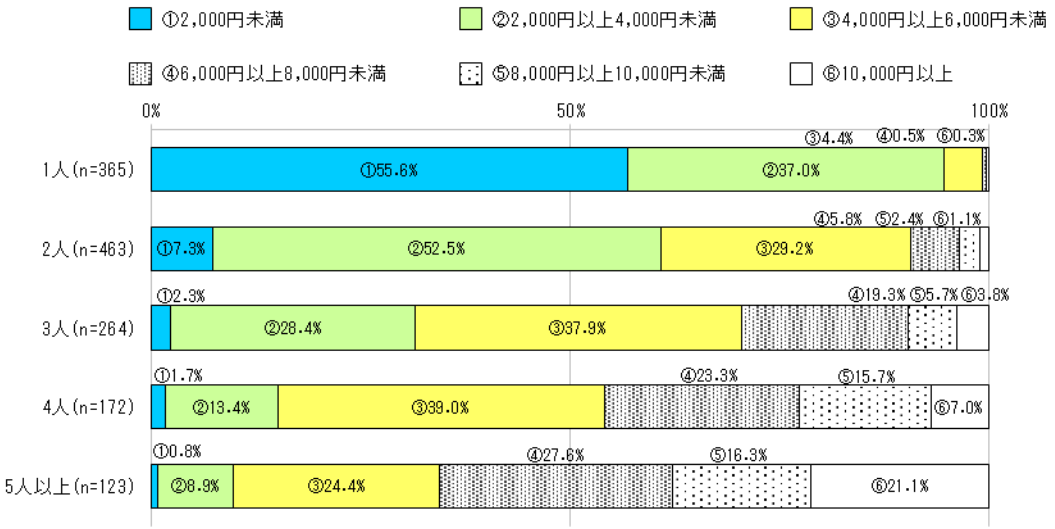
項　　目	回答数	%
2,000円未満	248	17.5%
2,000円以上4,000円未満	489	34.6%
4,000円以上6,000円未満	349	24.7%
6,000円以上8,000円未満	154	10.9%
8,000円以上10,000円未満	73	5.2%
10,000円以上	54	3.8%
無回答	48	3.4%
計	1,415	100%



※設問はシングルアンサー（回答を１つだけ選択）となっていますが、より多くの意見を反映する為、マルチアンサー（回答を複数選択）の回答についても採用しています。

回答者の水道料金及び下水道使用料の合計額は「2,000 円以上 4,000 円未満」の 34.6%が最も高く、次いで「4,000 円以上 6,000 円未満」の 24.7%、「2,000 円未満」の 17.5%の順となっています。

1 か月分の水道料金・下水道使用料を世帯構成別でみると、世帯人数が増えるにともなって水道料金･下水道使用料が増加傾向となっています。



※属性の「無回答」及び回答の「無回答」は省略しています

２．水道・下水道に関する意識調査結果

Ⅰ 水道について

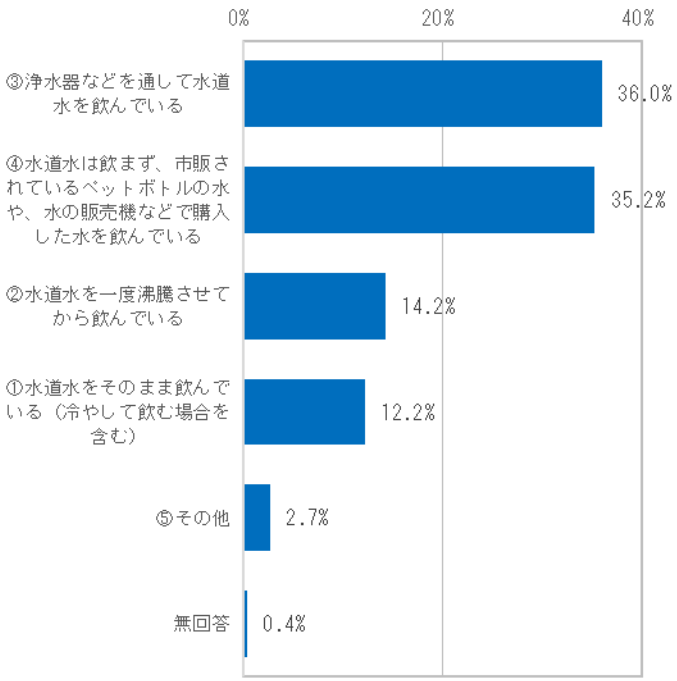
問１　日頃、主にどのようにして水を飲んでいますか。（○は１つだけ）

１　水道水をそのまま飲んでいる（冷やして飲む場合を含む）
２　水道水を一度沸騰させてから飲んでいる
３　浄水器などを通して水道水を飲んでいる
４　水道水は飲まず、市販されているペットボトルの水や、水の販売機などで購入した水を飲んでいる
５　その他

項　　目	回答数	%
③浄水器などを通して水道水を飲んでいる	508	36.0%
④水道水は飲まず、市販されているペットボトルの水や、水の販売機などで購入した水を飲んでいる	498	35.2%
②水道水を一度沸騰させてから飲んでいる	201	14.2%
①水道水をそのまま飲んでいる（冷やして飲む場合を含む）	172	12.2%
⑤その他	38	2.7%
無回答	5	0.4%

※設問はシングルアンサー（回答を１つだけ選択）となっていますが、より多くの意見を反映する為、マルチアンサー（回答を複数選択）の回答についても採用しています。

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。



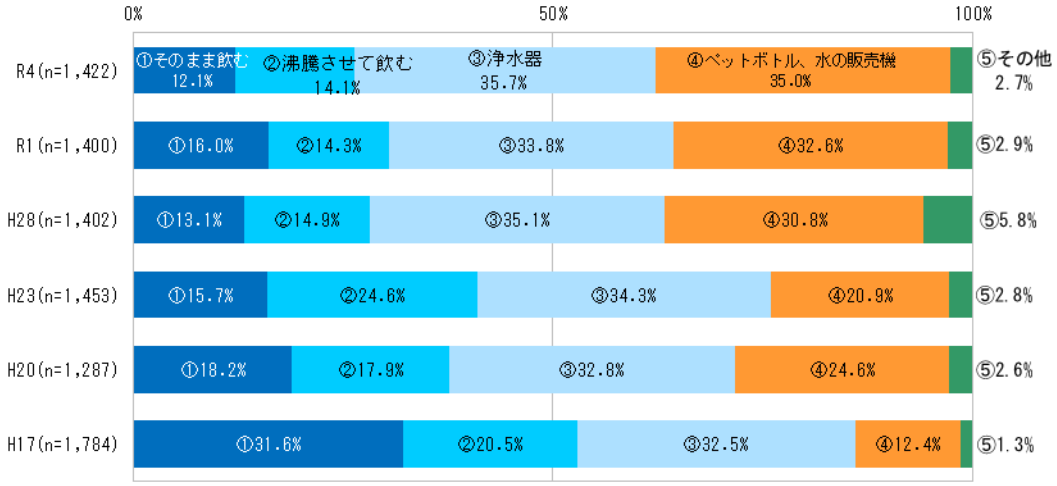
日頃の主な水の飲み方については、水道水を飲むと回答した「①水道水をそのまま飲んでいる（冷やして飲む場合を含む）」、「②水道水を一度沸騰させてから飲んでいる」、「③浄水器などを通して水道水を飲んでいる」を合わせた割合が 62.4%で、水道水を飲まないと回答した「④水道水は飲まず、市販されているペットボトルの水や、水の販売機などで購入した水を飲んでいる」の 35.2%を上回っています。

その他の主な内容

・ウォーターサーバー、宅配の水（12 人）
・水道水と併用（ペットボトルの水など）（１１人）
・フィルターなどを通して（９人）

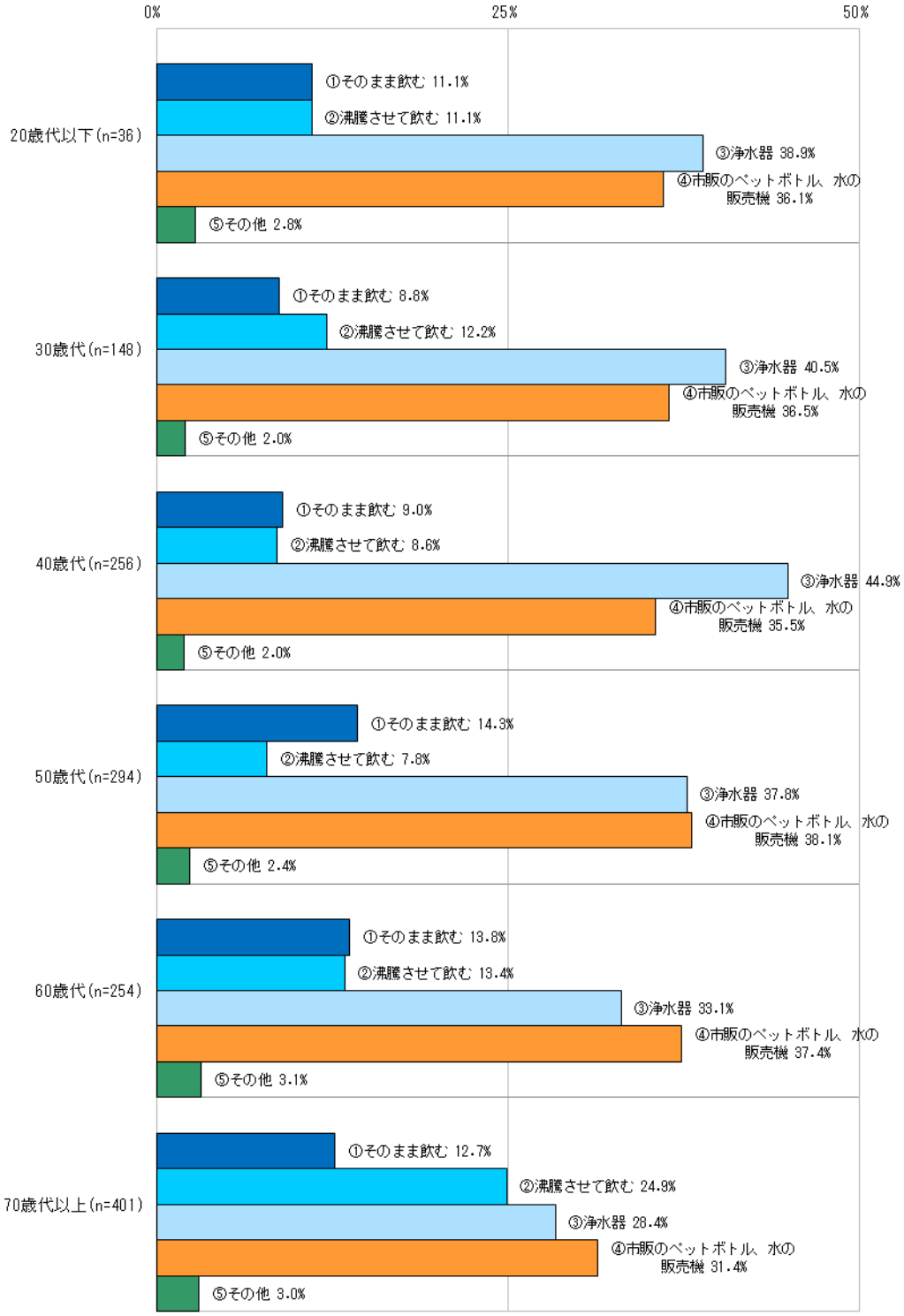
参　考

水の飲み方について経年変化でみると、水道水を飲むと回答した「①そのまま飲んでいる」「②沸騰させてから飲んでいる」「③浄水器などを通して水道水を飲んでいる」を合わせた割合は、前回調査から減少となり、「④ペットボトルの水や水の販売機などで購入した水を飲んでいる」が増加となっています。



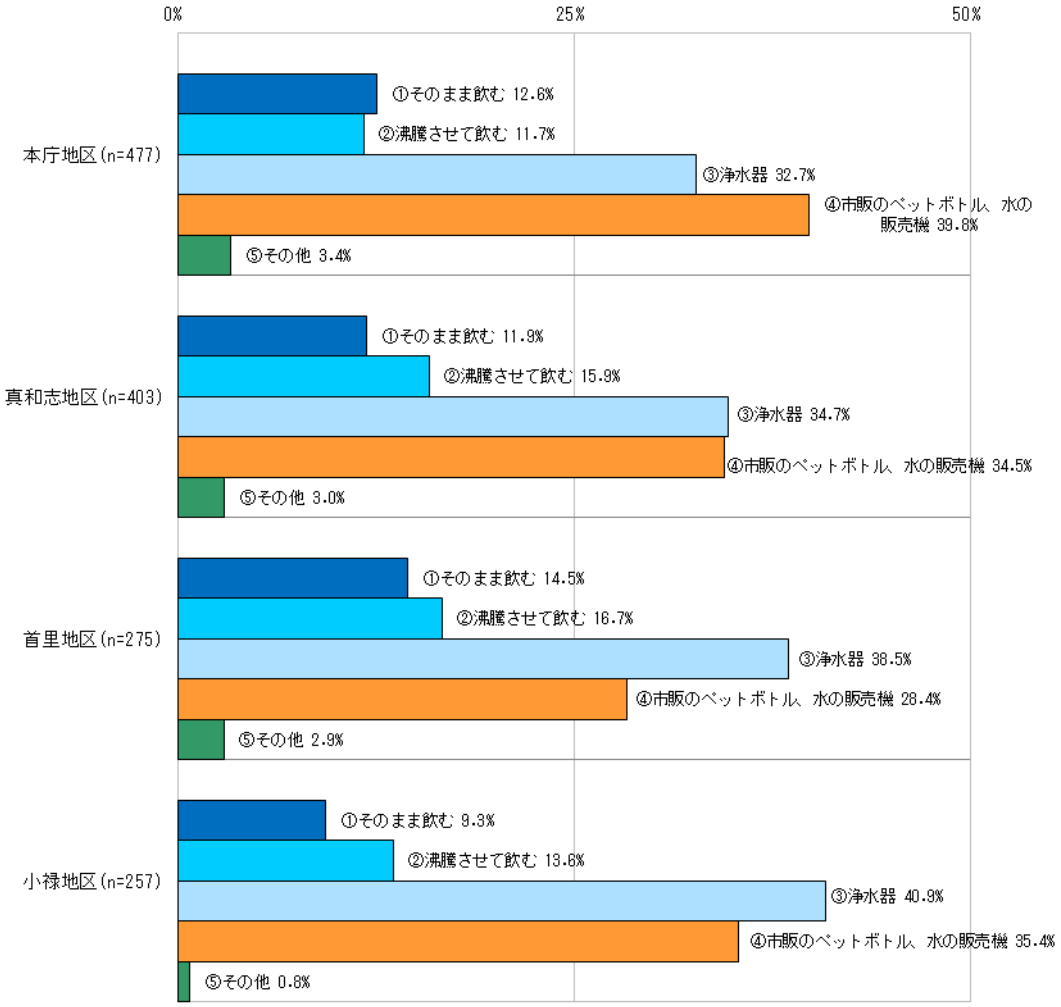
※調査年ごとに選択項目の文言に多少違いがありますが、同じ意味でまとめて比較しています。
※「無回答」は掲載していません。

水の飲み方について年代別でみると、全世代において「③浄水器などを通して水道水を飲んでいる」「④ペットボトルの水や水の販売機の水を飲んでいる」と回答した割合が高くなっています。また、比較的年代が高くなるにつれて「①そのまま飲んでいる」「②沸騰させてから飲んでいる」と回答した割合が高くなっています。



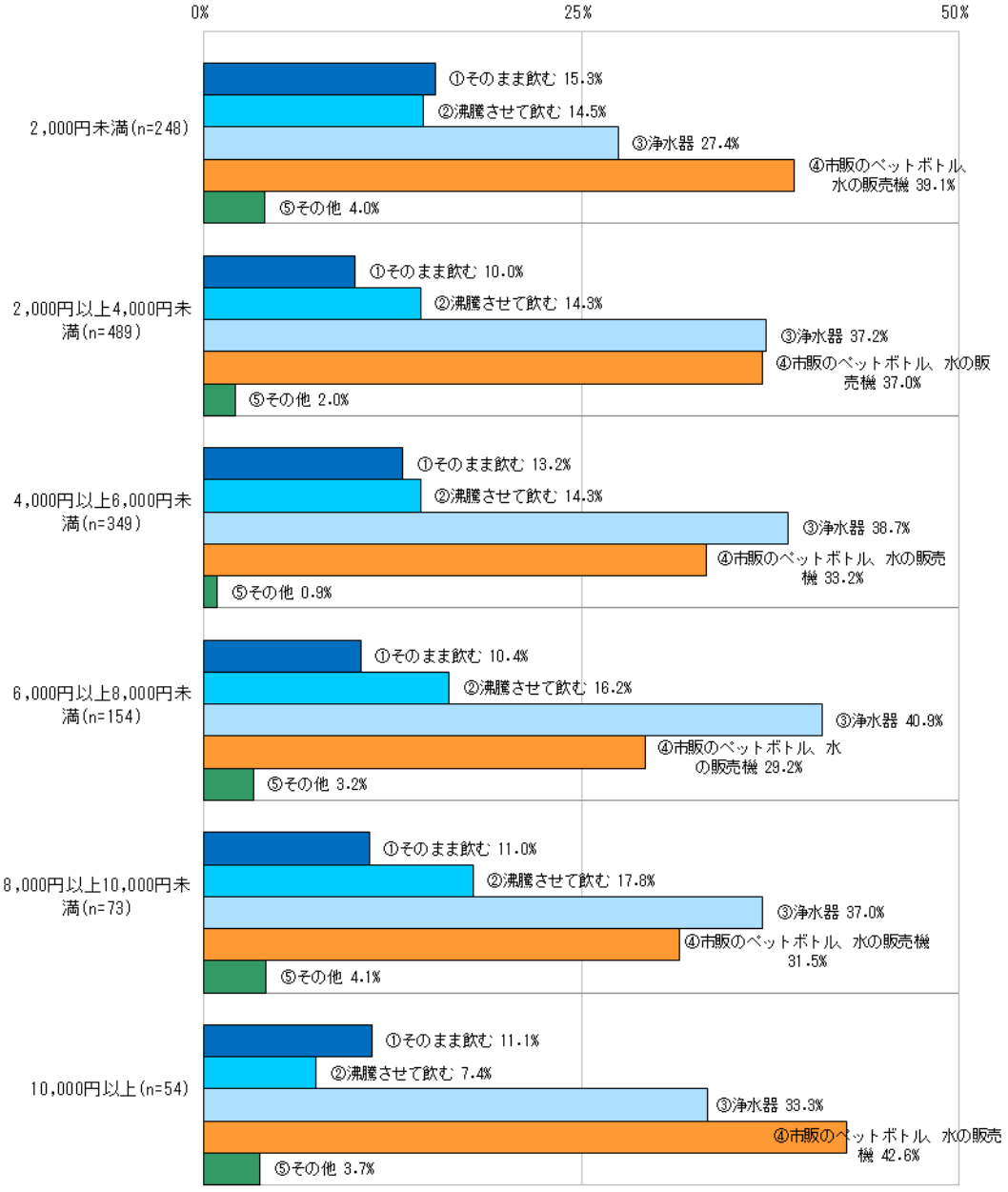
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

水の飲み方について居住地区別でみると、「①そのまま飲んでいる」「②沸騰させてから飲んでいる」「③浄水器を通して飲んでいる」を合わせた、主に水道水を飲用している割合が高いのが首里地区となっており、「④ペットボトルの水や水の販売機の水を飲んでいる」「⑥その他」を合わせた、水道水を飲まない割合が高いのが本庁地区となっています。



※属性の無回答及び回答項目の「わからない」「無回答」は省略しています。

水の飲み方について支払い額と比較すると、すべての回答で「③浄水器を通して飲んでいる」「④ペットボトルの水や水の販売機の水を飲んでいる」と回答した割合が高く、支払い額に関わらず、飲料水にお金をかけていることがわかりました。



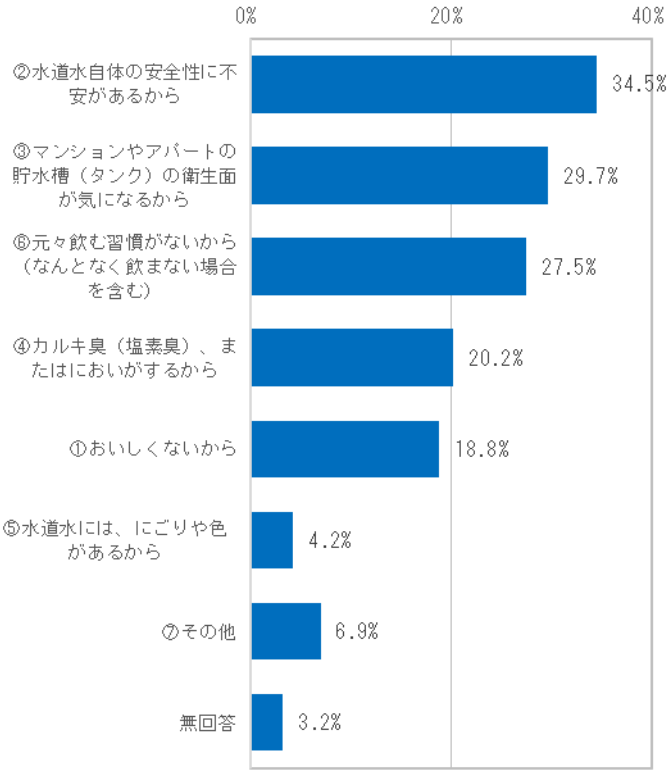
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問2　問1で「2」～「5」とお答えになった方におうかがいします。水道水を「そのまま飲まない」、または、「飲まない」理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

1　おいしくないから
2　水道水自体の安全性に不安があるから
3　マンションやアパートの貯水槽（タンク）の衛生面が気になるから
4　カルキ臭（塩素臭）、またはにおいがするから
5　水道水には、にごりや色があるから
6　元々飲む習慣がないから（なんとなく飲まない場合を含む）
7　その他

項　　目	回答数	%
②水道水自体の安全性に不安があるから	487	34.5%
③マンションやアパートの貯水槽（タンク）の衛生面が気になるから	419	29.7%
⑥元々飲む習慣がないから（なんとなく飲まない場合を含む）	388	27.5%
④カルキ臭（塩素臭）、またはにおいがするから	285	20.2%
①おいしくないから	265	18.8%
⑤水道水には、にごりや色があるから	59	4.2%
⑦その他	98	6.9%
無回答	45	3.2%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。

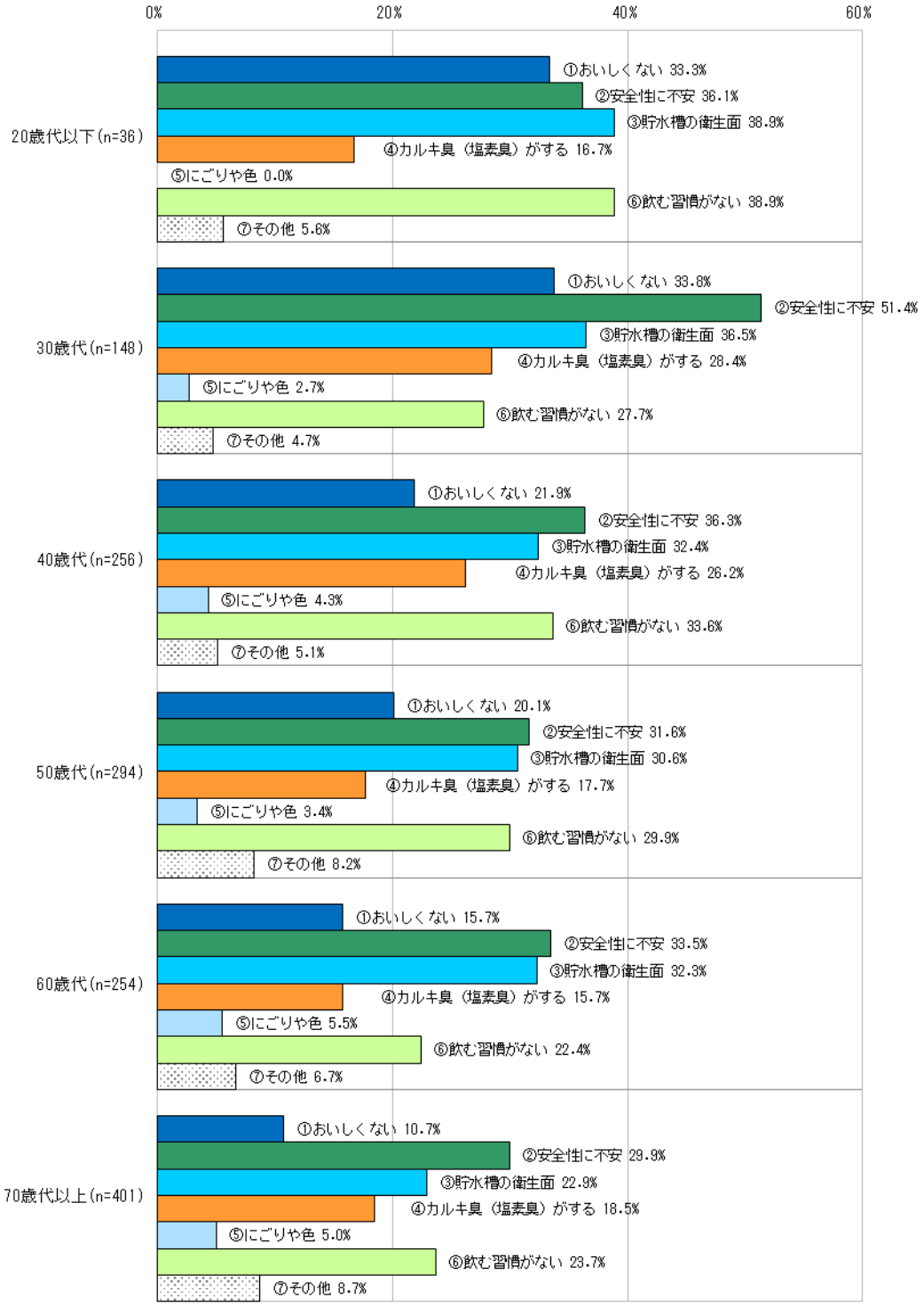


水道水をそのまま飲まない理由としては、水道水の安全性や味・においについて気にする「①おいしくないから」、「②水道水自体の安全性に不安があるから」、「④カルキ臭（塩素臭）、またはにおいがするから」、「⑤水道水には、にごりや色があるから」を合わせた77.7%が最も高くなりました。次いで「③マンションやアパートの貯水槽（タンク）の衛生面が気になるから」の 29.7%、「⑥元々飲む習慣がないから（なんとなく飲まない場合を含む）」の 27.5%、「⑦その他」の 6.9%の順となっています。

その他の主な内容

・ペットボトルの水や購入した水など、水道水以外の水を飲んでいる （33 人）
・石灰・硬度・塩素などが不安（18 人）
・PFOS・PFOA などが不安（12 人）

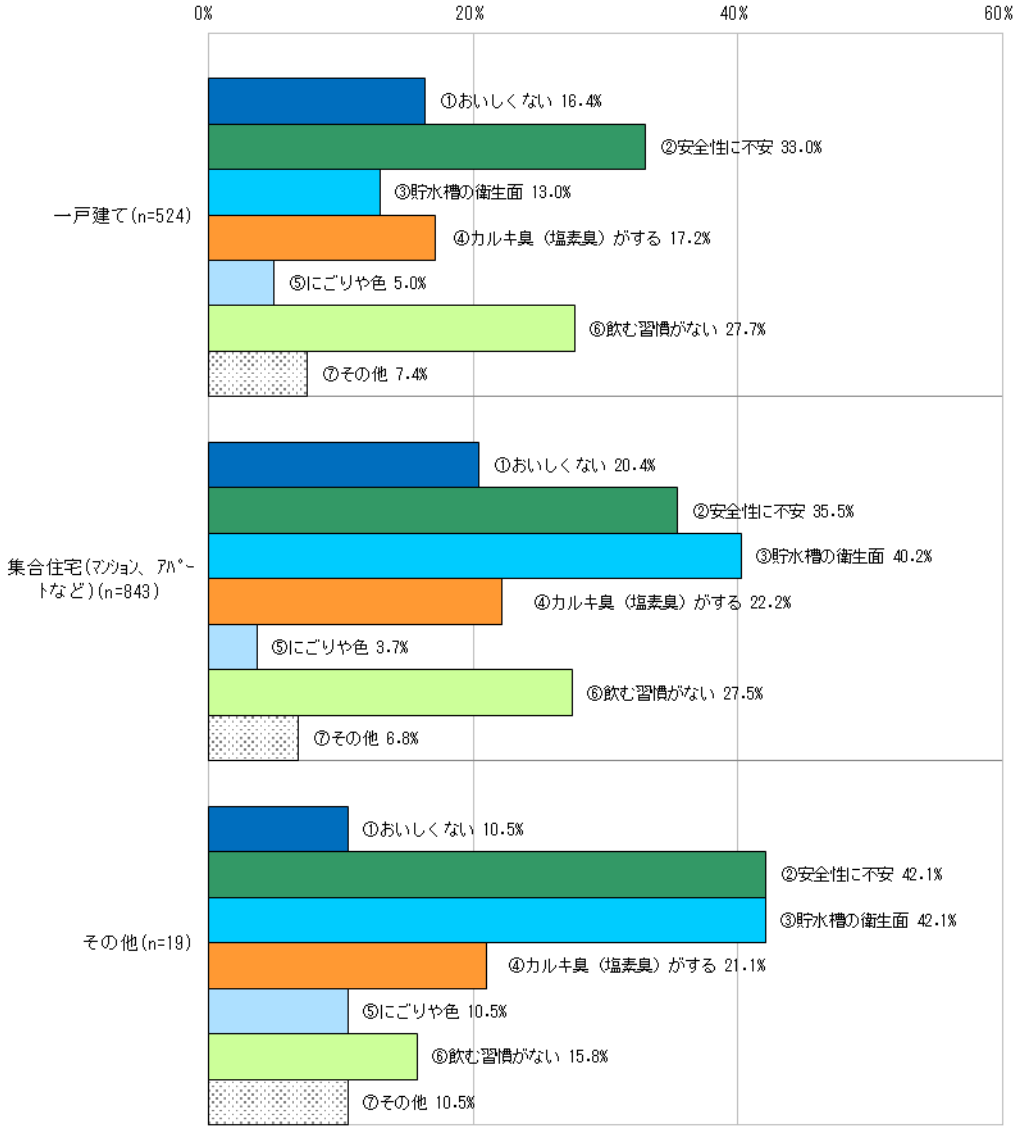
水道水をそのまま飲まない理由を年代別でみると、３０歳代以上の世代では「②水道水自体の安全性に不安があるから」と回答した割合が高く、２０歳代以下と３０歳代の比較的若い世代では「①おいしくないから」と回答した割合が高くなっています。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

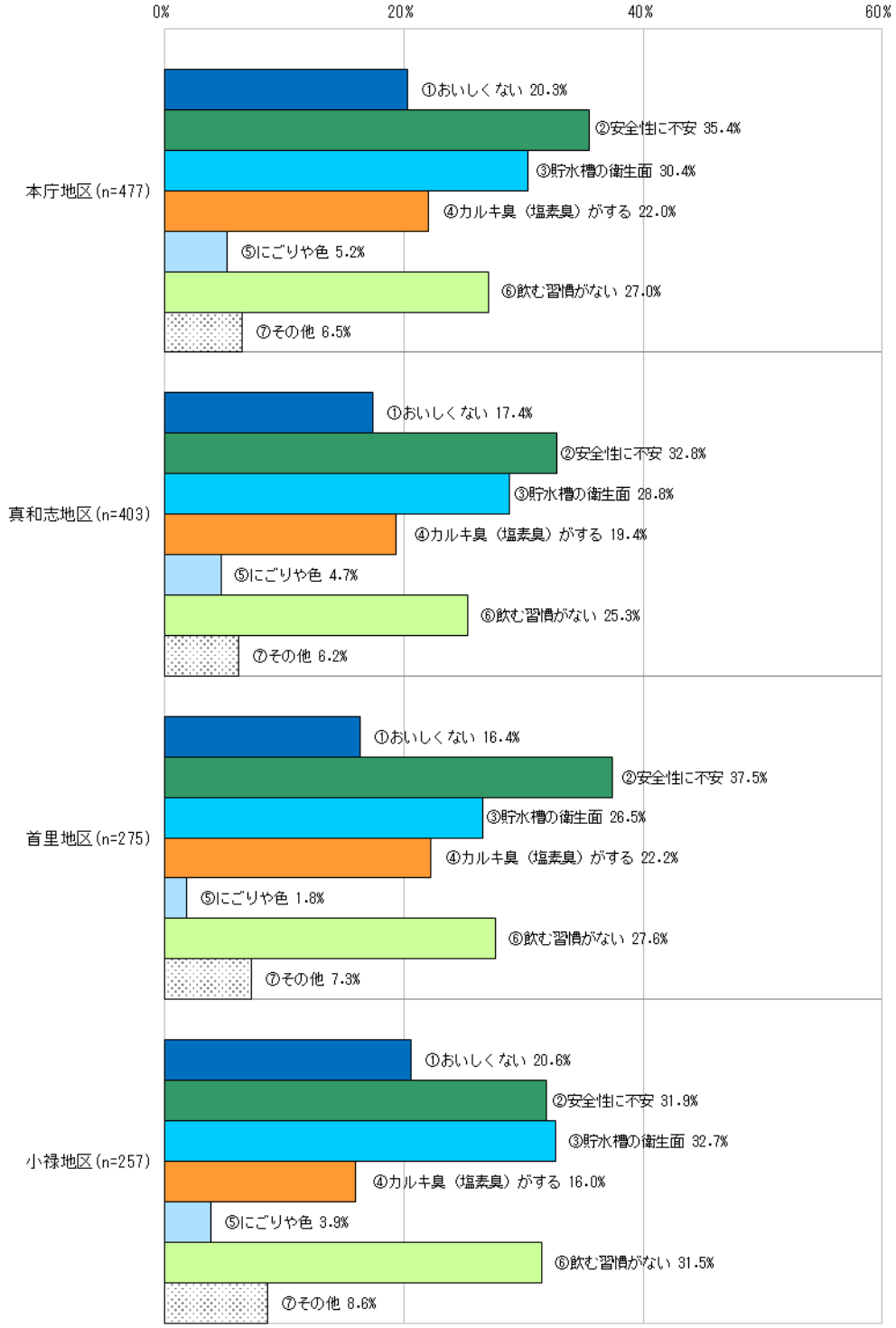
水道水をそのまま飲まない理由を居住形式別でみると、一戸建てでは「②安全性に不安がある」と回答した割合が最も高く、次いで「⑥飲む習慣がない」「④カルキ臭がする」の順となっています。

集合住宅では「③貯水槽の衛生面が気になる」と回答した割合が最も高く、次いで「②安全性に不安がある」「⑥飲む習慣がない」の順となっています。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

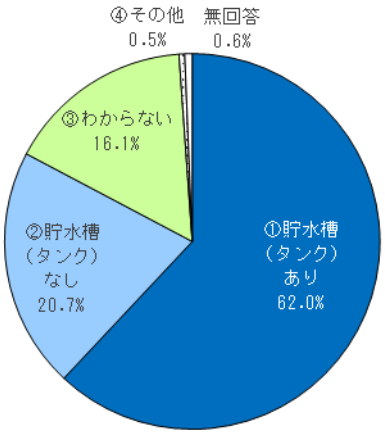
水道水をそのまま飲まない理由を居住地区別でみると、すべての地区で「②安全性に不安がある」、「③貯水槽の衛生面が気になる」「⑥飲む習慣がない」の３つについて回答した割合が高い結果となり、地区による差は見られませんでした。



※属性の無回答及び回答項目の「わからない」「無回答」は省略しています。

問３　お住まいに、貯水槽（タンク）はありますか。（○は１つだけ）
１　貯水槽（タンク）あり　　２　貯水槽（タンク）なし　　３　わからない　　４　その他

項　　目	回答数	%
①貯水槽（タンク）あり	876	62.0%
②貯水槽（タンク）なし	293	20.7%
③わからない	228	16.1%
④その他	7	0.5%
無回答	9	0.6%
計	1,413	100%



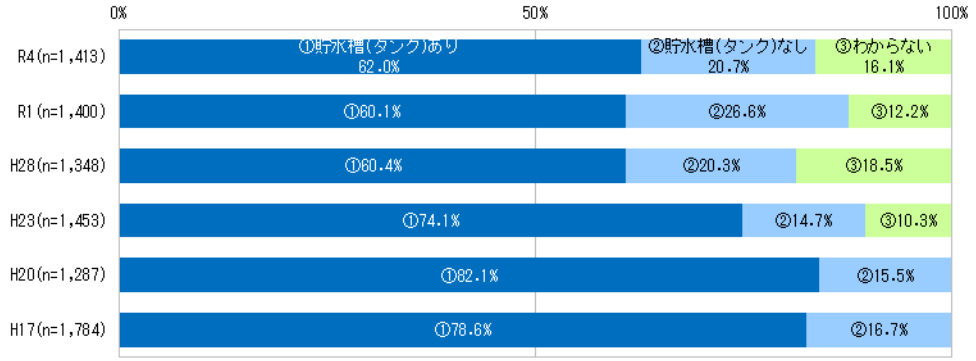
貯水槽（タンク）の保有状況については、「①貯水槽（タンク）あり」が 62.0%となっており、「②貯水槽（タンク）なし」が 20.7%、「③わからない」が 16.1%、「④その他」が 0.5％となっています。

その他の主な内容

・貯水槽（タンク）はあるが、使用していない　（３人）
・集合住宅に住むため、使用しているか不明（３人）
・貯水槽（タンク）はあるが現在は直通にしてある（１人）

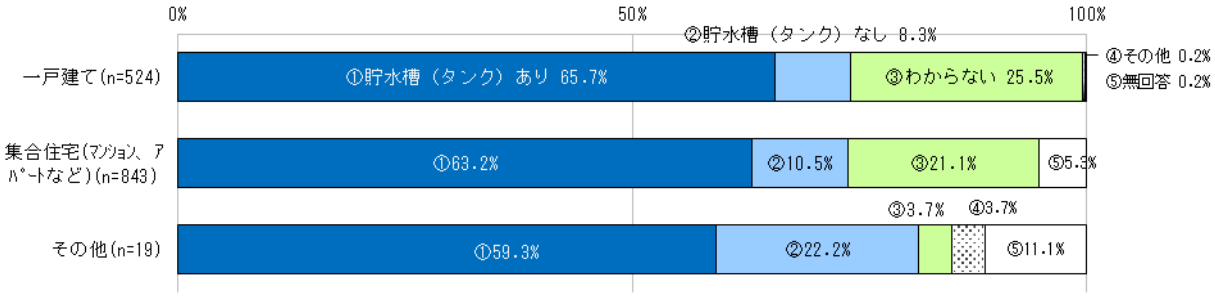
参　考

上記結果を経年変化でみると、平成 20 年度以降「①貯水槽（タンク）あり」と回答した割合は減少傾向となっていましたが、今回調査では「①貯水槽（タンク）あり」の割合が微増となっています。



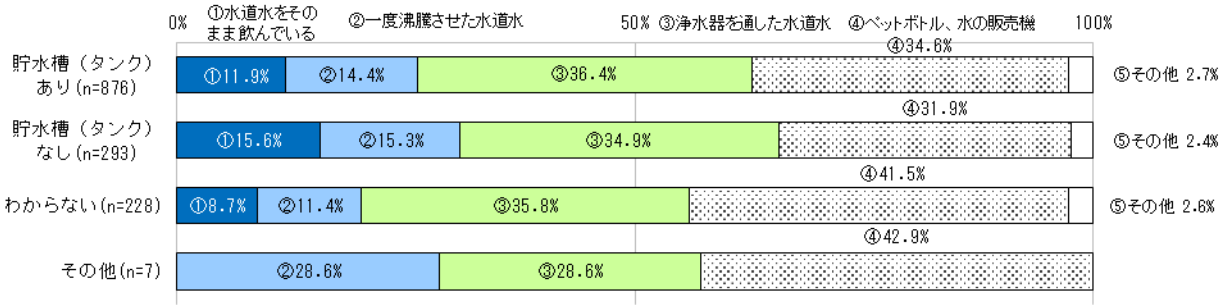
※「その他」「無回答」は掲載していません。

貯水槽（タンク）の有無について居住形式別でみると、「①貯水槽（タンク）あり」と回答した割合は、一戸建てでは 65.7%、集合住宅では 63.2%となっており、ともに約６割の保有率となっています。



※「無回答」は掲載していません。

貯水槽（タンク）の有無について問１の水の飲み方と比較すると、貯水槽（タンク）の有無に関わらず「①水道水をそのまま飲んでいる」「②水道水を一度沸騰させてから飲んでいる」「③浄水器などを通して水道水を飲んでいる」を合わせた、水道水を飲むと回答した割合が約６割となっています。



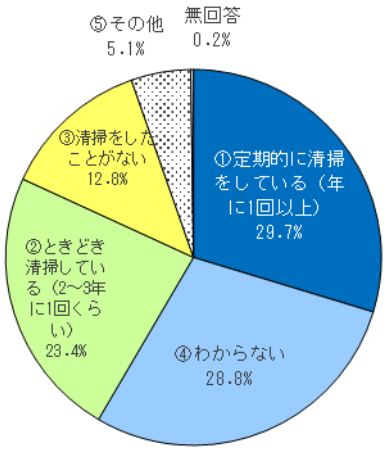
※「無回答」は掲載していません。

問４　問３で「1 貯水槽（タンク）あり」とお答えになった方におうかがいします。
貯水槽（タンク）の清掃を定期的に行なっていますか。（○は１つだけ）

１　定期的に清掃をしている（年に１回以上）　２　ときどき清掃している（2～3年に１回くらい）
３　清掃をしたことがない　４　わからない　５　その他

項　　目	回答数	%
①定期的に清掃をしている（年に1回以上）	260	29.7%
④わからない	252	28.8%
②ときどき清掃している（2～3年に1回くらい）	205	23.4%
③清掃をしたことがない	112	12.8%
⑤その他	45	5.1%
無回答	2	0.2%
計	876	100%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。



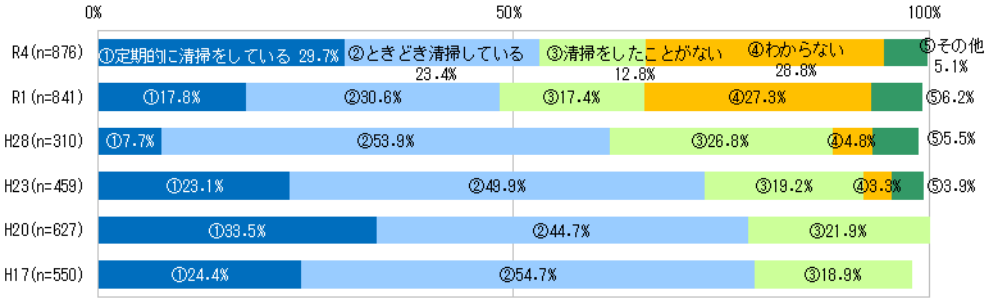
貯水槽（タンク）の清掃については「①定期的に清掃をしている（年に１回以上）」「②ときどき清掃している（2～3 年に １ 回くらい）」を合わせた、貯水槽の清掃を行っていると回答した割合は 53.1％となります。

その他の主な内容

・5～30 年に １ 回などだいぶ前　（36 人）
・清掃しているかわからない（4 人）
・使用していない（１人）

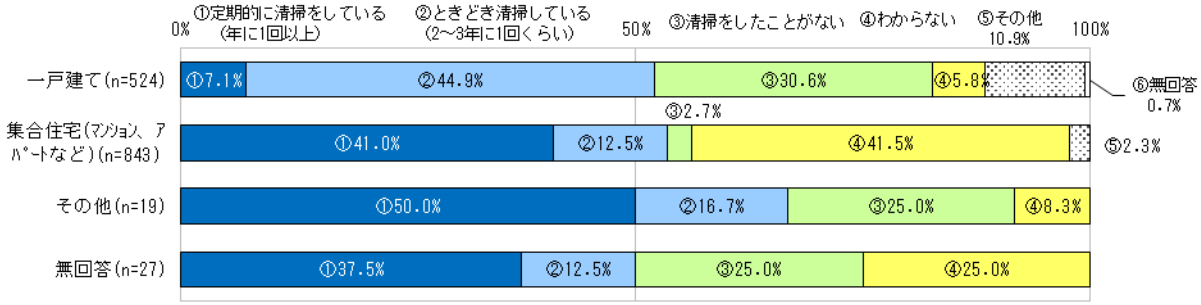
参　考

貯水槽（タンク）の清掃について経年変化で比較すると、今回調査では「①定期的に清掃をしている」「②ときどき清掃している」を合わせた、貯水槽の清掃を行っていると回答した割合が増加しています。

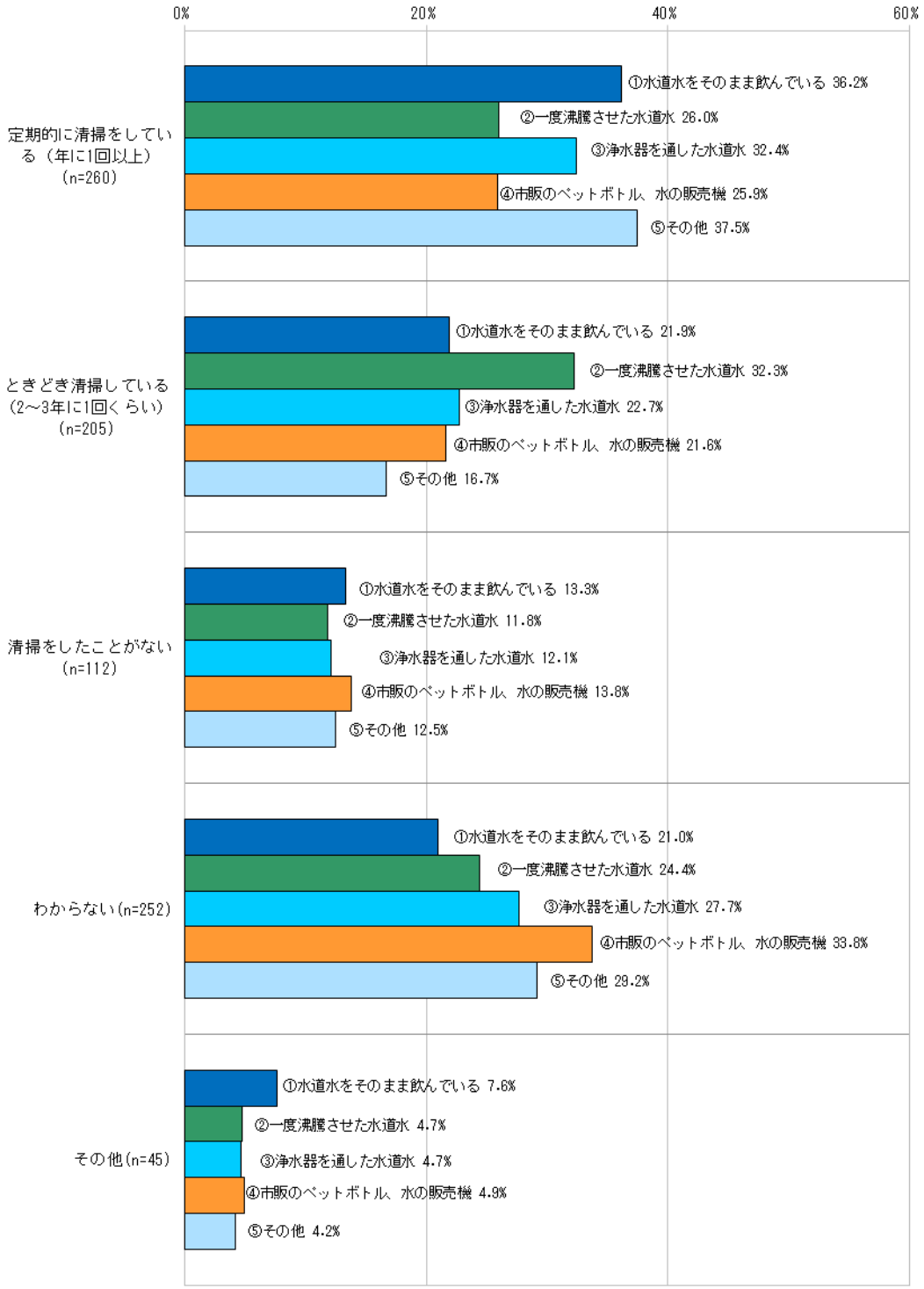


※「無回答」は掲載していません。
※H20 以前の調査では、一戸建てと集合住宅に分けて清掃状況を質問していたため、一戸建て所有者の貯水槽の清掃状況を比較しています。

貯水槽（タンク）の清掃について居住形式別でみると、一戸建てでは「②ときどき清掃している」と回答した割合が最も高く、集合住宅では「①定期的に清掃している」「④わからない」と回答した割合が高くなっています。

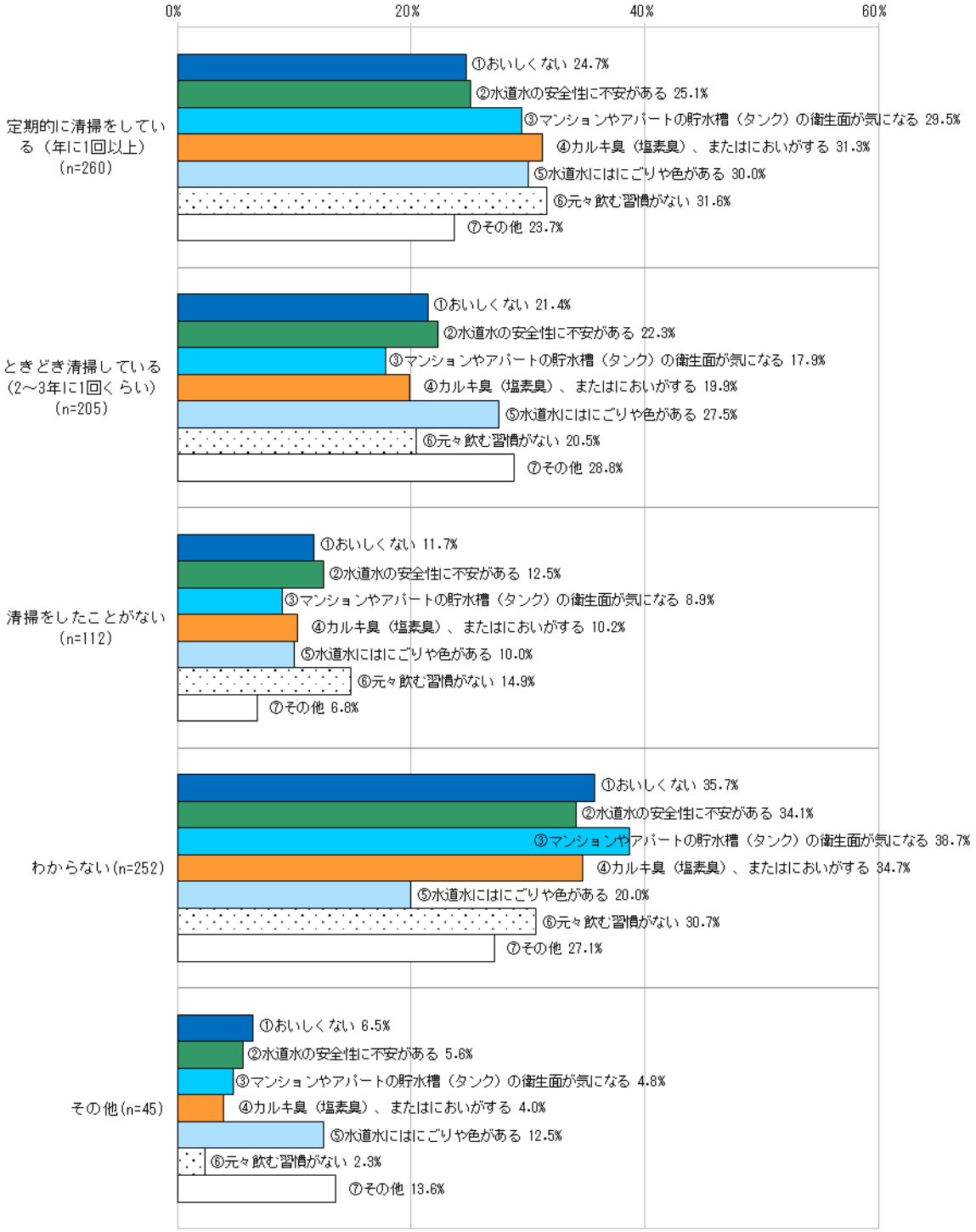


貯水槽（タンク）の清掃について、問１の水の飲み方と比較すると、貯水槽（タンク）を「定期的に清掃をしている」「ときどき清掃している」と回答した人は、「①水道水をそのまま飲んでいる」「②水道水を一度沸騰させてから飲んでいる」「③浄水器などを通して飲んでいる」を合わせた、水道水を飲む割合が高くなっています。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

貯水槽（タンク）の清掃について、問２の水道水を飲まない理由と比較すると、貯水槽（タンク）を「定期的に清掃をしている」と回答した方は、水道水の味やにおい、衛生面についても関心が高い傾向となっています。

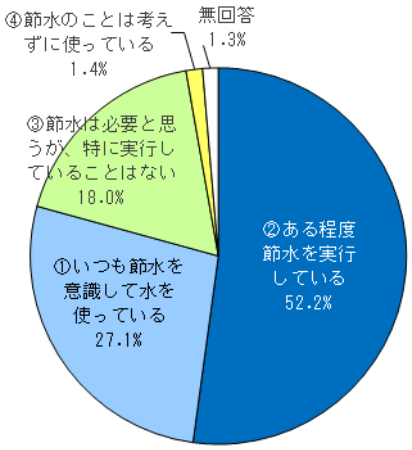


※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問５　節水を心がけていますか。（○は１つだけ）

１　いつも節水を意識して水を使っている　　２　ある程度節水を実行している
３　節水は必要と思うが、特に実行していることはない　　４　節水のことは考えずに使っている

項　　目	回答数	%
②ある程度節水を実行している	737	52.2%
①いつも節水を意識して水を使っている	383	27.1%
③節水は必要と思うが、特に実行していることはない	254	18.0%
④節水のことは考えずに使っている	20	1.4%
無回答	19	1.3%
計	1,413	100%

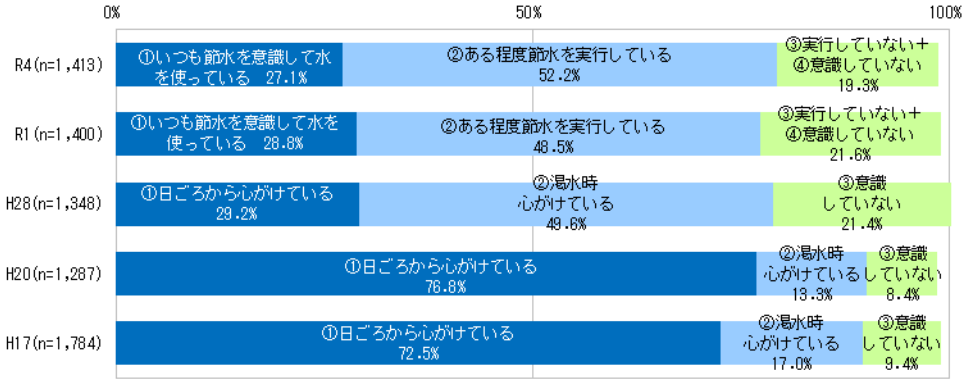


※「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。

節水の心がけについては「②ある程度節水を実行している」が 52.2%と最も高く、次いで「①いつも節水を意識して水を使っている」が 27.1%、「③節水は必要と思うが、特に実行していることはない」が 18.0%、「④節水のことは考えずに使っている」1.4%の順となっています。

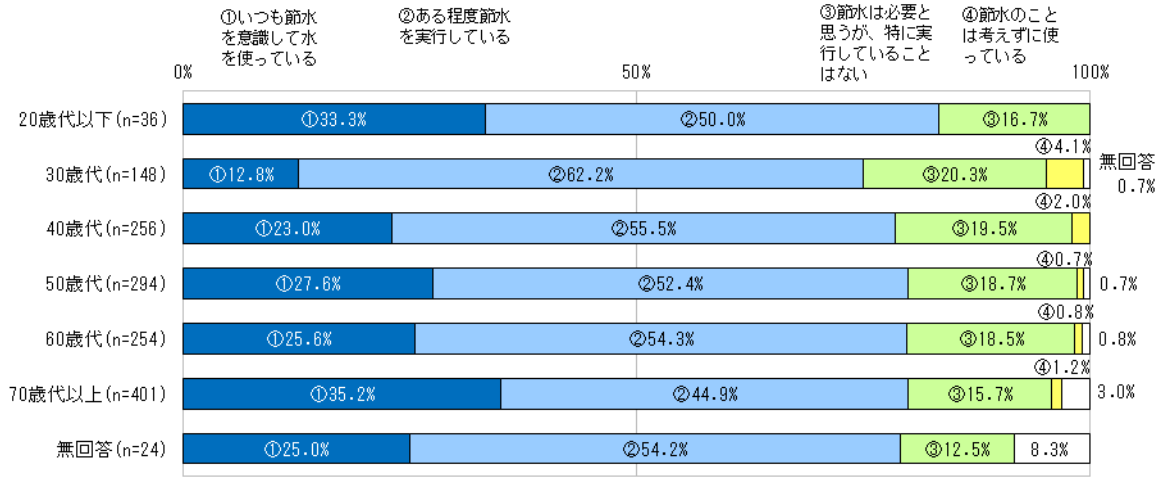
参　考

節水の心がけについて、過去調査と比較すると、「①いつも節水を意識している」「②ある程度実行している」を合わせた、節水を実行していると回答した割合は前回調査より増加し、「③必要と思うが特に実行していない」「④節水は意識していない」を合わせた、節水を実行していないと回答した割合は減少しています。



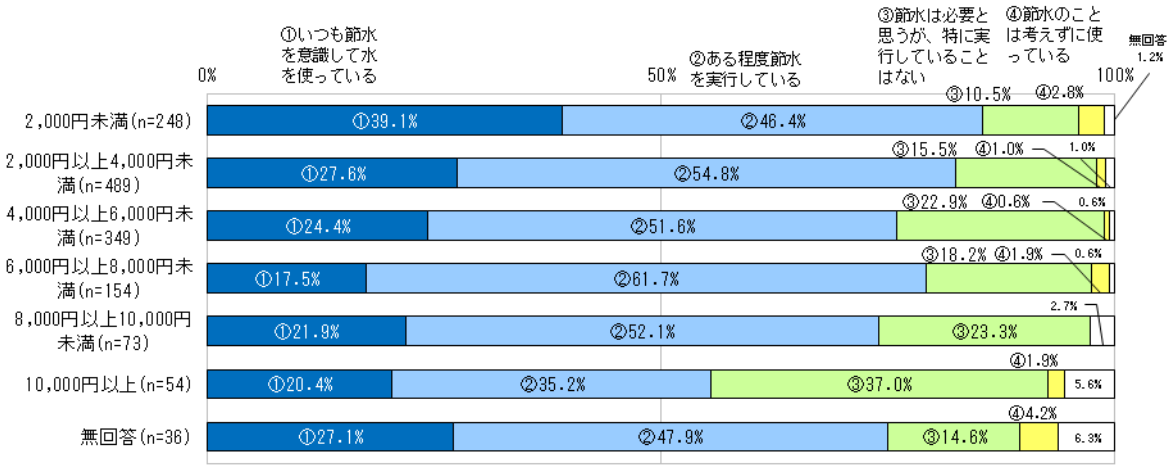
※調査年ごとに選択項目の文言に多少違いがありますが、同等の意味でまとめて比較しています。
※「無回答」は掲載していません。

節水の心がけについて年代別でみると、世代に関わらず、節水に取り組んでいる割合が高くなっています。



節水の心がけについて水道料金・下水道使用料別でみると、2,000 円未満では「①いつも節水を意識している」と回答した割合が最も高くなっています。

支払い額が高くなるにしたがって、「①いつも節水を意識している」「②ある程度実行している」を合わせた節水に取り組む意識が低くなる傾向がみられます。



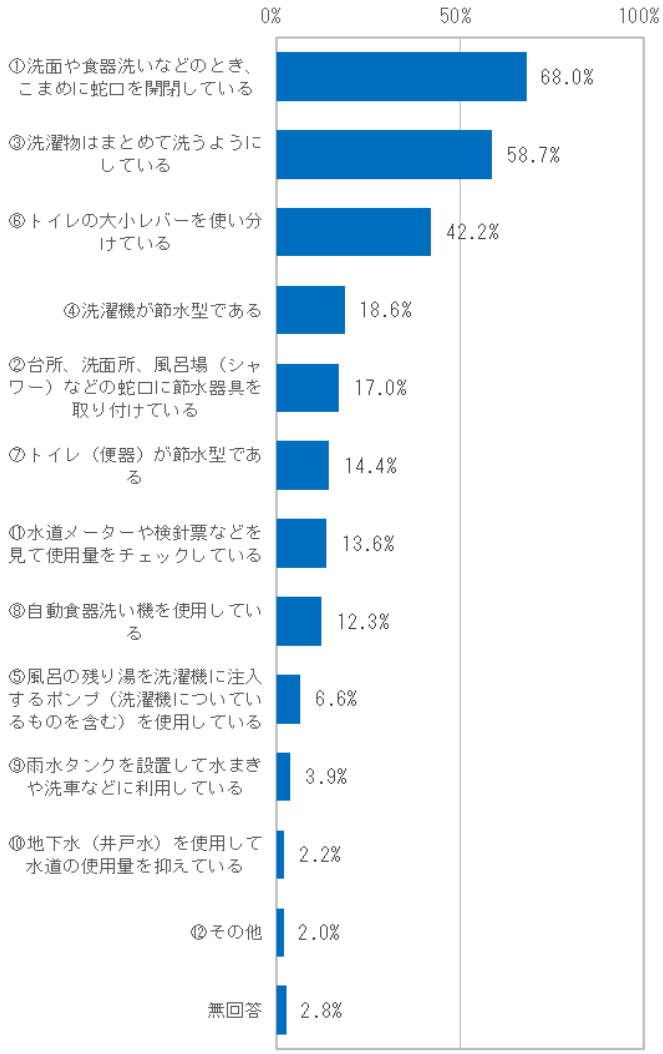
問６　ご家庭で行なっている節水の取組みや使っている節水機器がありますか。
（○はいくつでも）

1　洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している
2　台所、洗面所、風呂場（シャワー）などの蛇口に節水器具を取り付けている
3　洗濯物はまとめて洗うようにしている
4　洗濯機が節水型（※）である
5　風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ（洗濯機についているものを含む）を使用している
6　トイレの大小レバーを使い分けている
7　トイレ（便器）が節水型（※）である
8　自動食器洗い機を使用している
9　雨水タンクを設置して水まきや洗車などに利用している
10　地下水（井戸水）を使用して水道の使用量を抑えている
11　水道メーターや検針票などを見て使用量をチェックしている
12　その他
※節水型とは、購入の際に「※節水効果がある」等の説明があったもの

項　　目	回答数	%
①洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している	961	68.0%
③洗濯物はまとめて洗うようにしている	830	58.7%
⑥トイレの大小レバーを使い分けている	596	42.2%
④洗濯機が節水型である	263	18.6%
②台所、洗面所、風呂場（シャワー）などの蛇口に節水器具を取り付けている	240	17.0%
⑦トイレ（便器）が節水型である	204	14.4%
⑪水道メーターや検針票などを見て使用量をチェックしている	192	13.6%
⑧自動食器洗い機を使用している	174	12.3%
⑤風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ（洗濯機についているものを含む）を使用している	93	6.6%
⑨雨水タンクを設置して水まきや洗車などに利用している	55	3.9%
⑩地下水（井戸水）を使用して水道の使用量を抑えている	31	2.2%
⑫その他	28	2.0%
無回答	39	2.8%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。

※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。

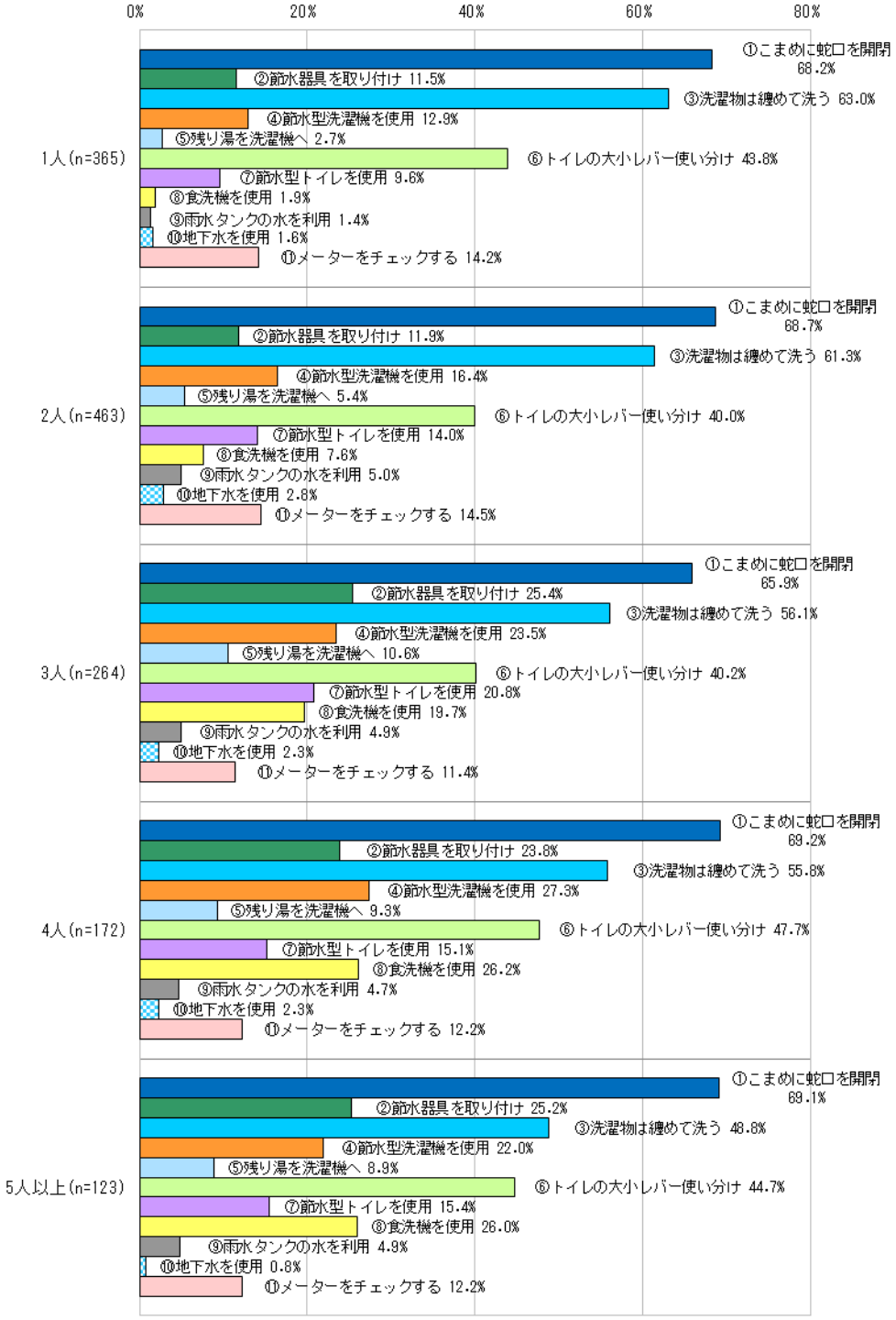


節水の取組みについては、洗濯や食器洗いなどの家事において節水を実践する回答が最も多く、次いで節水機器の使用については、洗濯機や台所などの蛇口を節水型にしている回答が多くみられました。

その他の主な内容

・トイレタンクにペットボトルなどを入れる　（７人）
・米のとぎ汁などを草木にかける（７人）

節水の取組みを世帯構成別でみると、世帯の人数が増えるにともない「②台所、洗面所、風呂場（シャワー）などの蛇口に節水器具を取り付けている」、「⑧自動食器洗い機を使用している」などの節水機器を使用する割合が高い傾向にあります。



※属性の無回答、回答項目の「その他」「無回答」は省略しています。

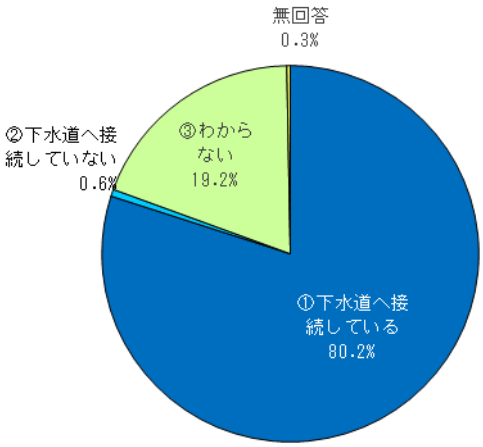
Ⅱ 下水道について

問7　あなたのお住まいは、下水道に接続していますか。（○は1つだけ）

1　下水道へ接続している（下水道使用料を支払っている）
2　下水道へ接続していない（下水道使用料を支払っていない）
3　わからない

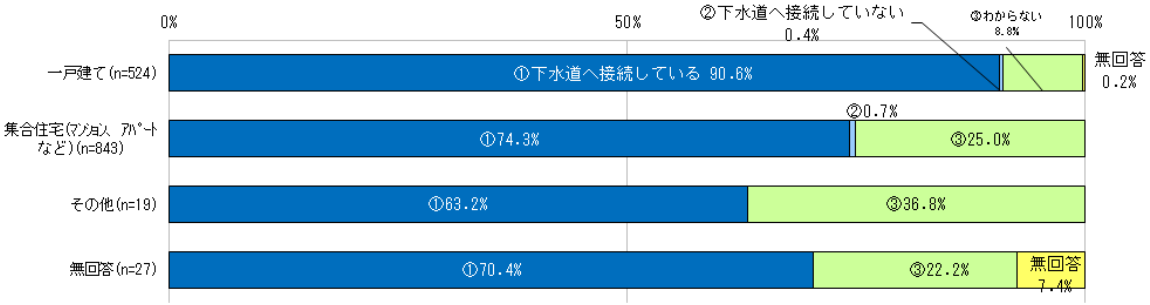
項　　目	回答数	%
①下水道へ接続している	1,132	80.2%
②下水道へ接続していない	8	0.6%
③わからない	270	19.2%
無回答	3	0.3%
計	1,413	100%

※「わからない」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。



下水道への接続状況については、「①下水道へ接続している」が 80.2%となっており、「②下水道へ接続していない」が 0.6%、「③わからない」が 19.2%となっています。

下水道への接続状況を居住形式別でみると、一戸建てでは「①接続している」が 90.6%となっています。集合住宅では「①下水道へ接続している」は 74.3%となっていますが、「③わからない」と回答した割合も高く 25.0%となっています。

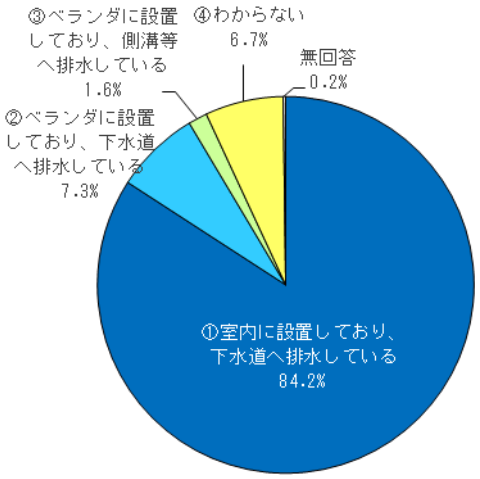


問８　お住まいの洗濯機の設置場所と排水についておうかがいします。
（○は１つだけ）

１　室内に設置しており、下水道へ排水している　　２　ベランダに設置しており、下水道へ排水している
３　ベランダに設置しており、側溝等へ排水している　　４　わからない

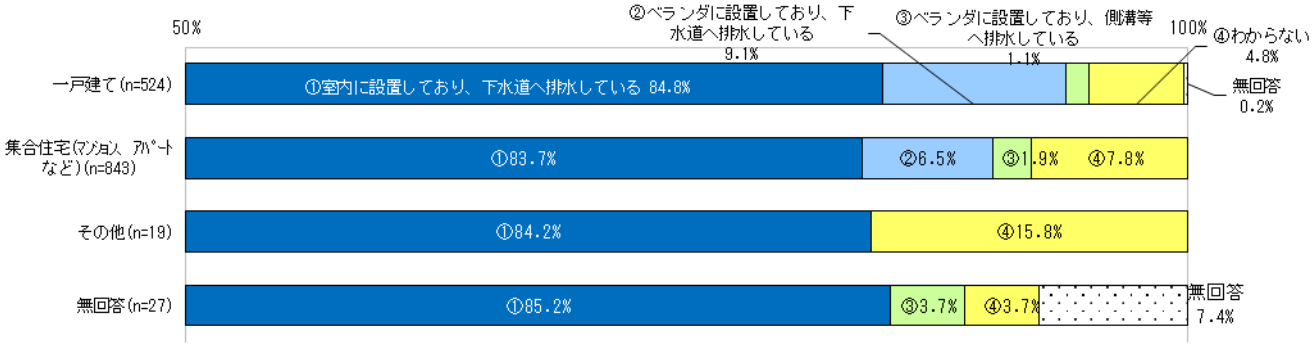
項　　目	回答数	%
①室内に設置しており、下水道へ排水している	1,190	84.2%
②ベランダに設置しており、下水道へ排水している	103	7.3%
③ベランダに設置しており、側溝等へ排水している	23	1.6%
④わからない	95	6.7%
無回答	3	0.2%

※「わからない」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。



洗濯機の設置場所と排水については、下水道へ排水していると回答した「①室内に設置しており、下水道へ排水している」と「②ベランダに設置しており、下水道へ排水している」が最も多く、あわせて 91.5%となっています。

洗濯機の設置場所と排水を居住形式別でみると、一戸建て、集合住宅ともに「①室内に設置しており、下水道へ排水している」「②ベランダに設置しており、下水道へ排水している」を合わせた、下水道へ排水していると回答した割合が約９割となっています。

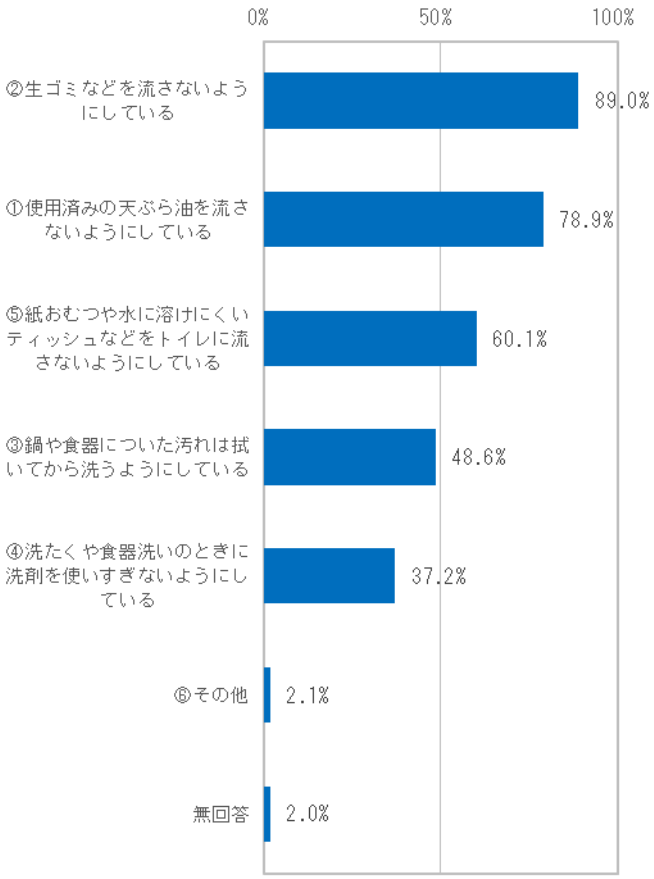


問９　排水管や下水道管の「つまり」や「悪臭」を発生させないため、実践している項目はどれですか。（○はいくつでも）

1　使用済みの天ぷら油を流さないようにしている
2　生ゴミなどを流さないようにしている
3　鍋や食器についた汚れは拭いてから洗うようにしている
4　洗たくや食器洗いのときに洗剤を使いすぎないようにしている
5　紙おむつや水に溶けにくいティッシュなどをトイレに流さないようにしている
6　その他

項　　目	回答数	%
②生ゴミなどを流さないようにしている	1,257	89.0%
①使用済みの天ぷら油を流さないようにしている	1,115	78.9%
⑤紙おむつや水に溶けにくいティッシュなどをトイレに流さないようにしている	849	60.1%
③鍋や食器についた汚れは拭いてから洗うようにしている	687	48.6%
④洗たくや食器洗いのときに洗剤を使いすぎないようにしている	525	37.2%
⑥その他	29	2.1%
無回答	28	2.0%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。

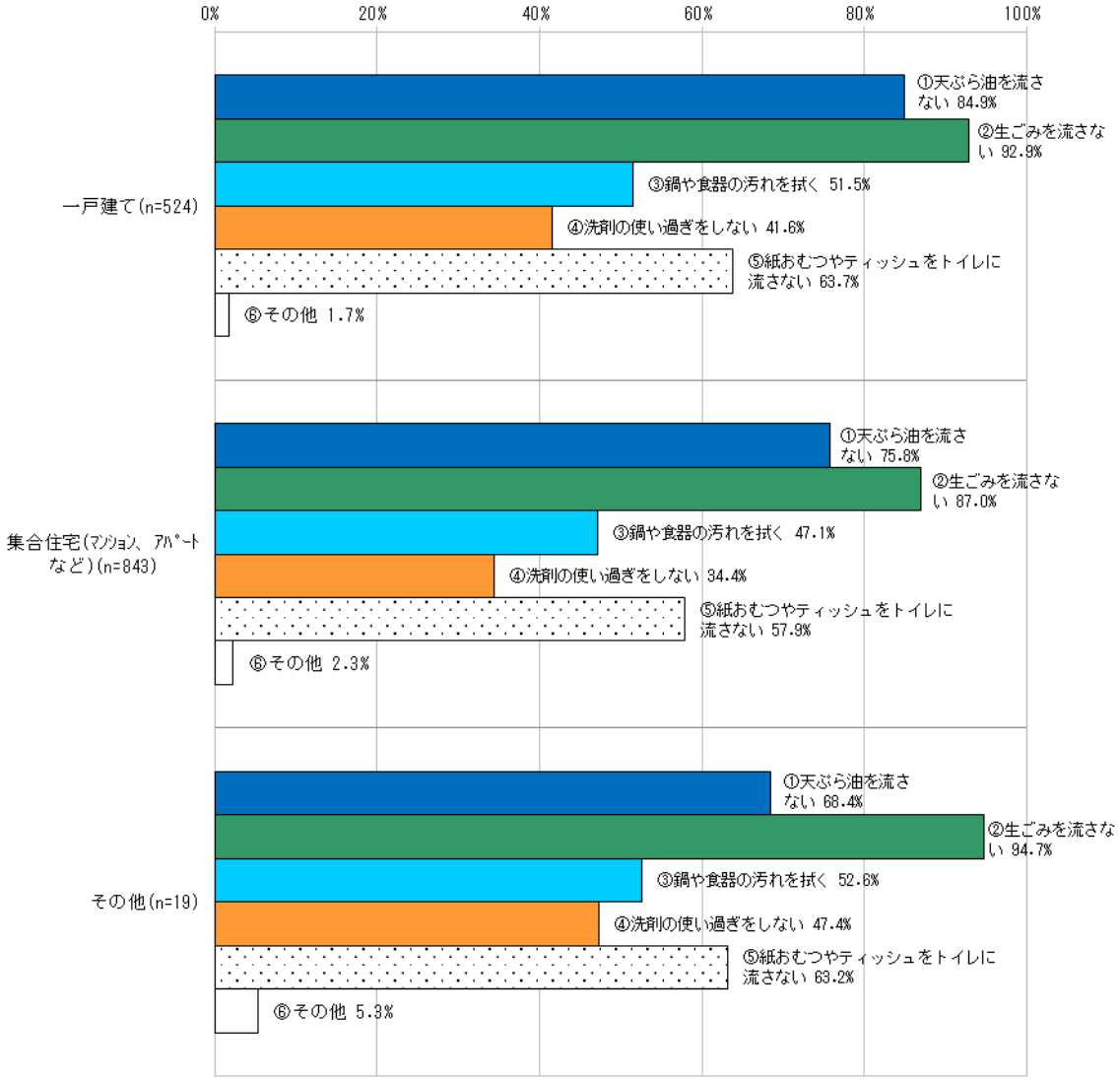


排水管や下水道管のつまり防止策については、生ごみや使用済みの天ぷら油などを流さない取り組みをしていると回答した割合が最も高く、回答者の約８割の方が実践しています。

その他の主な内容

・こまめに掃除する（７人）
・排水管を掃除する（５人）
・ごみや油を流さない（４人）

排水管や下水道管のつまり防止策について居住形式別でみると、すべての居住形式で天ぷら油や生ごみを流さないようにするなど、排水管や下水道管のつまり防止策を実践していることが分かります。



※属性の「無回答」及び回答項目の「無回答」は掲載していません。

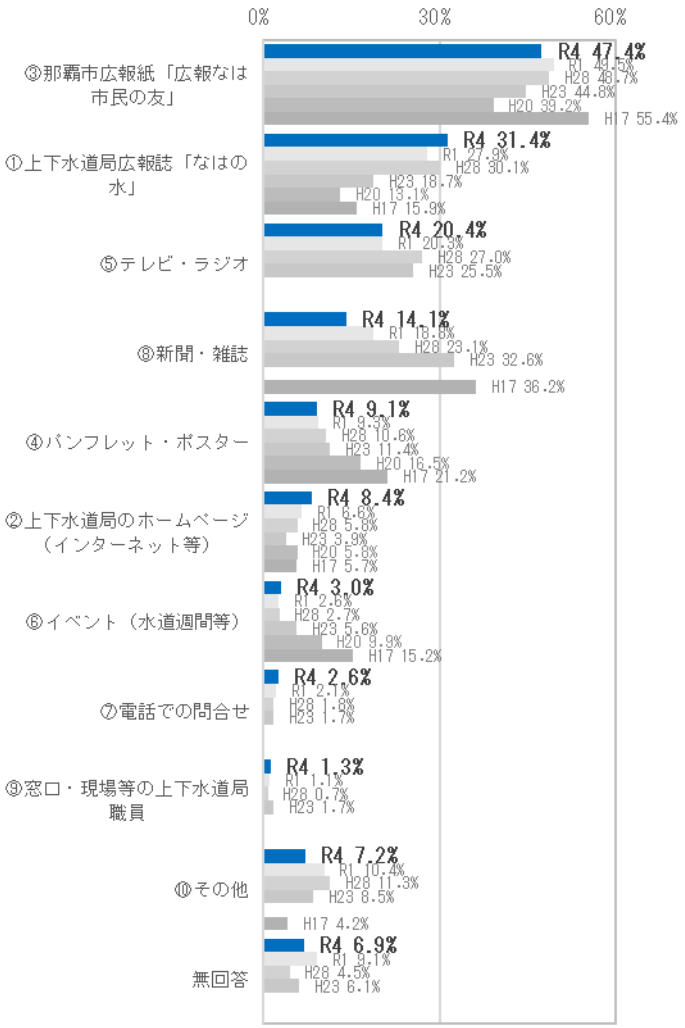
Ⅲ 水道・下水道共通の項目について

問10　水道・下水道についての情報は、どのような媒体から得ていますか。
（〇はいくつでも）

1　上下水道局広報誌「なはの水」
2　上下水道局のホームページ（インターネット等）
3　那覇市広報紙「広報なは　市民の友」
4　パンフレット・ポスター
5　テレビ・ラジオ
6　イベント（水道週間・下水道の日）
7　電話での問合せ
8　新聞・雑誌
9　窓口・現場等の上下水道局職員
10　その他

項　　目	回答数	%
③那覇市広報紙「広報なは　市民の友」	670	47.4%
①上下水道局広報誌「なはの水」	443	31.4%
⑤テレビ・ラジオ	288	20.4%
⑧新聞・雑誌	199	14.1%
④パンフレット・ポスター	128	9.1%
②上下水道局のホームページ（インターネット等）	118	8.4%
⑥イベント（水道週間等）	43	3.0%
⑦電話での問合せ	37	2.6%
⑨窓口・現場等の上下水道局職員	19	1.3%
⑩その他	102	7.2%
無回答	98	6.9%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。
※過去調査で選択肢に無い項目について、グラフは空欄となっています。



水道・下水道の情報収集源については、「③那覇市広報紙「広報なは　市民の友」」の 47.4%が最も高く、次いで「①上下水道局広報誌「なはの水」」の 31.4%の順などとなっています。

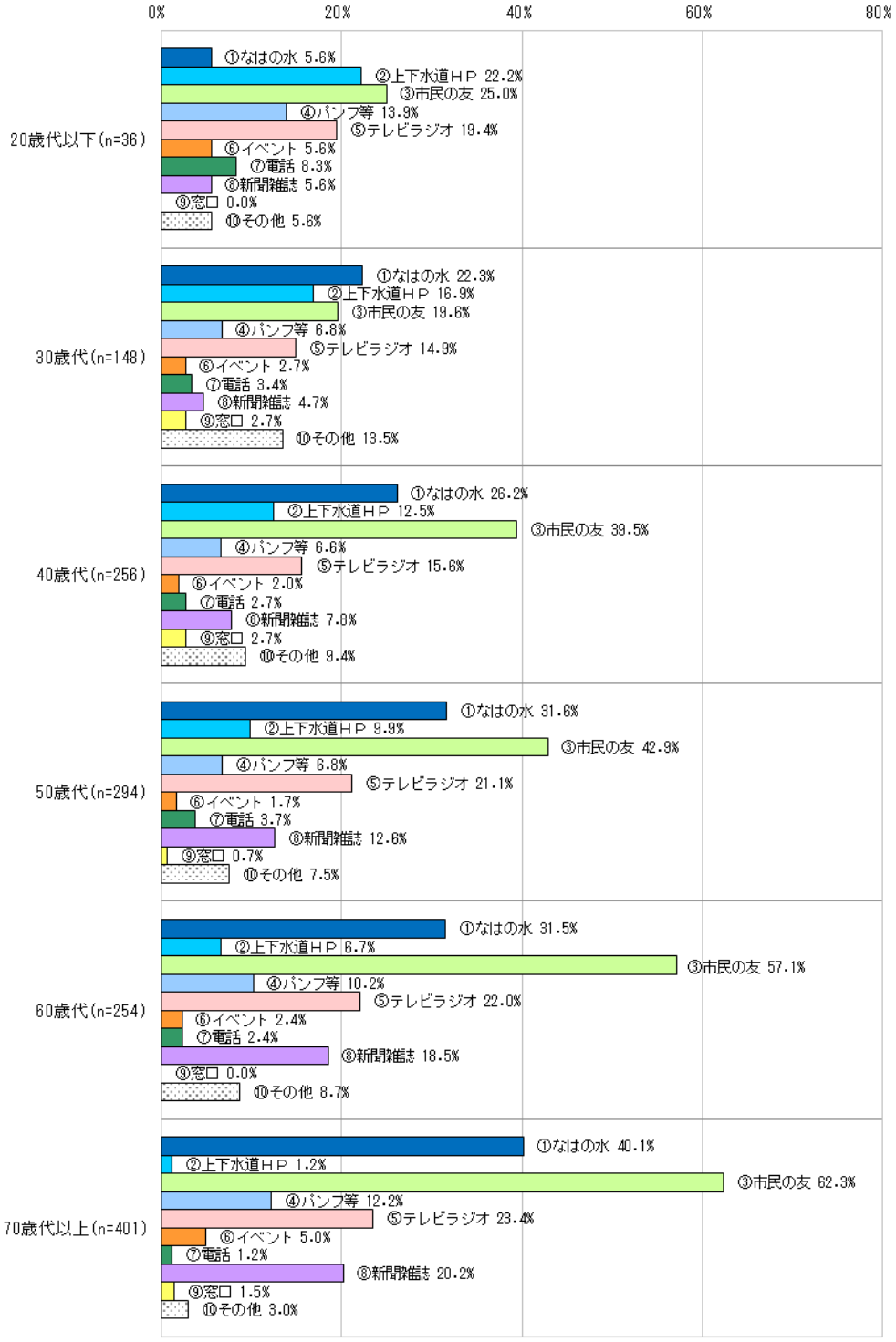
平成 17 年度の調査から経年変化でみると「①上下水道局広報誌「なはの水」」と回答した割合は増加傾向にあり、「④パンフレット・ポスター」や「⑧新聞・雑誌」などの情報源を回答した割合には減少傾向がみられます。

その他の主な内容

- 意識して情報収集していない（34 人）
- 地域や友人・知人から情報を得ている（５人）
- インターネットから情報を得ている（３人）

水道・下水道の情報収集源で「③上下水道局広報誌「なはの水」」と回答した方を年代別でみると、70 歳代以上の割合が最も高く、次いで 50 歳代、60 歳代の順となっています。

「上下水道局のホームページ（インターネット等）」と回答した割合は若い年代が高くなっています。



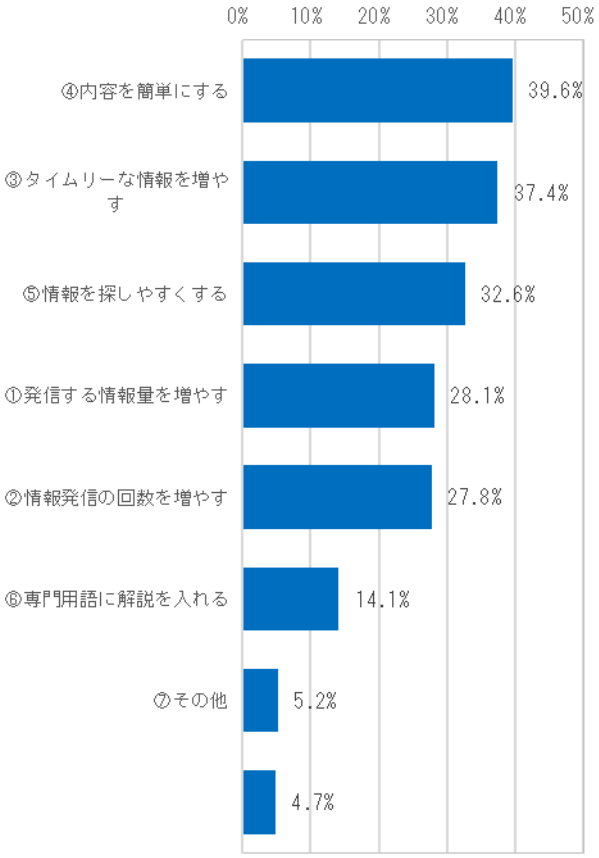
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問 11　水道・下水道に関する広報を充実させる手段として有効だと思うものはどれですか。
（○はいくつでも）

1　発信する情報量を増やす
2　情報発信の回数を増やす
3　タイムリーな情報を増やす
4　内容を簡単にする
5　情報を探しやすくする
6　専門用語に解説を入れる
7　その他

項　　目	回答数	%
④内容を簡単にする	560	39.6%
③タイムリーな情報を増やす	529	37.4%
⑤情報を探しやすくする	461	32.6%
①発信する情報量を増やす	397	28.1%
②情報発信の回数を増やす	393	27.8%
⑥専門用語に解説を入れる	199	14.1%
⑦その他	73	5.2%
無回答	67	4.7%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。



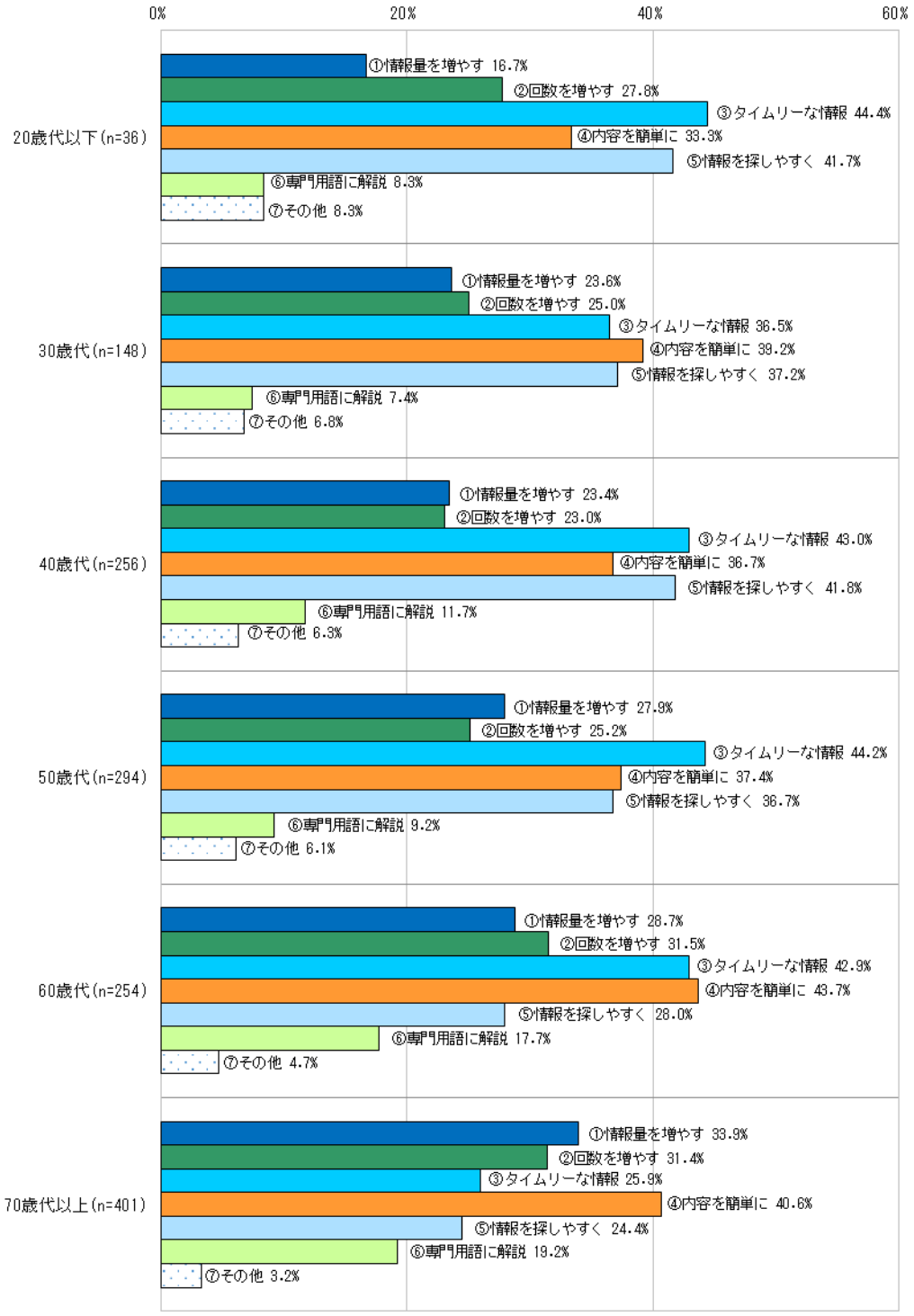
水道・下水道に関する広報を充実させる手段として有効だと思うものについては、「④内容を簡単にする」が最も多く 39.6%、次いで「③タイムリーな情報を増やす」が 37.4%、「⑤情報を探しやすくする」の 32.6%の順となりました。

その他の主な内容

・SNS、インターネットを使う（12 人）
・テレビ、ラジオ、新聞を使う（9 人）
・既存の広報などを使う（5 人）

水道・下水道に関する広報を充実させる手段として有効だと思うものを年代別でみると、多くの世代において「③タイムリーな情報を増やす」、「④内容を簡単にする」、「⑤情報を探しやすくする」について多く回答しています。

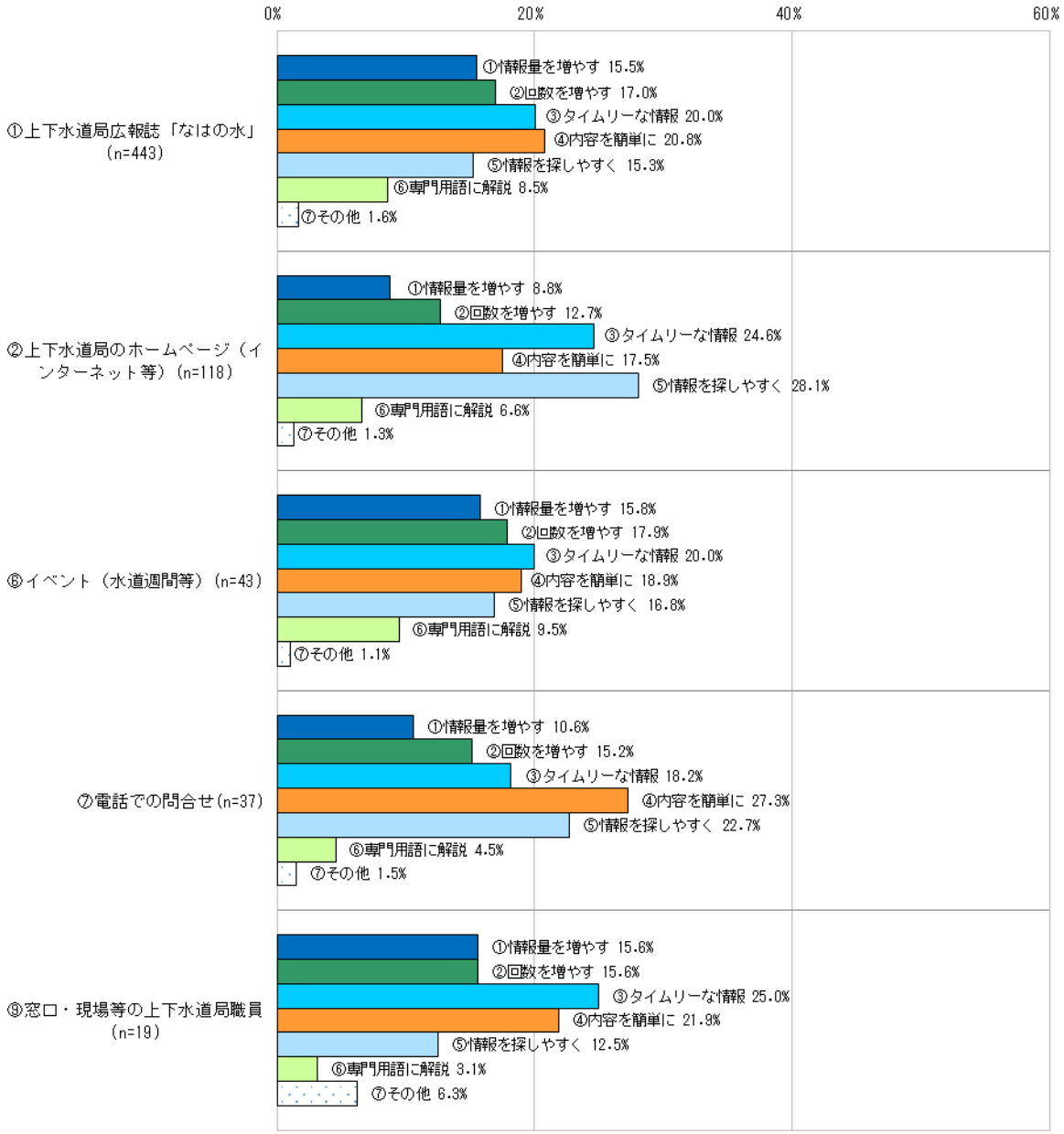
なかでも 70 歳代以上の年代においては「④内容を簡単にする」が最も求められています。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

水道・下水道に関する広報を充実させる手段として有効だと思うものと、問１０の情報取得の媒体について比較を行い、情報取得の媒体については、那覇市上下水道局で使用している媒体で比較しました。

上下水道局のホームページを見ている方は、「⑤情報を探しやすくする」、「③タイムリーな情報を増やす」と回答した割合が高い結果となりました。上下水道局広報誌「なはの水」を読んでいる方や電話での問い合わせを行う方は、「④内容を簡単にする」と回答した割合が高くなっています。



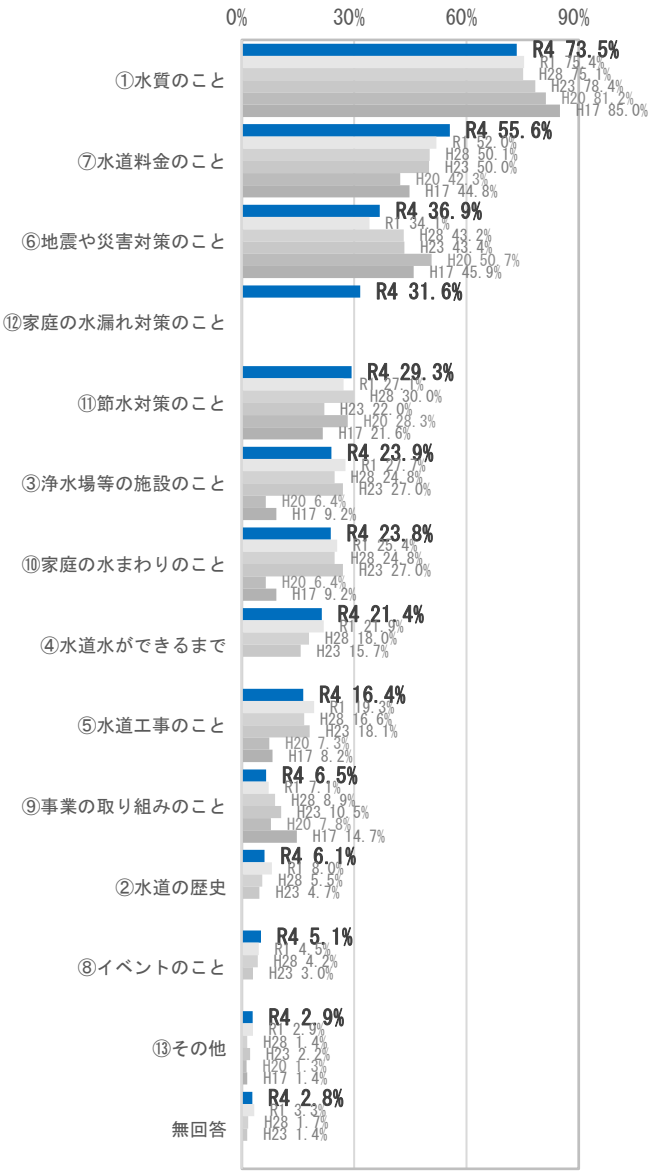
※属性の無回答、回答項目の「無回答」は省略しています。

問１２　水道に関することで、どのようなことを知りたいですか。（○はいくつでも）

１　水質のこと　　２　水道の歴史　　３　浄水場等の施設のこと
４　水道水ができるまで　　５　水道工事のこと　　６　地震や災害対策のこと
７　水道料金のこと　　８　イベントのこと　　９　事業の取り組みのこと
１０　家庭の水まわりのこと　　１１　節水対策のこと　　１２　家庭の水漏れ対策のこと
１３　その他

項　　目	回答数	%
①水質のこと	1,038	73.5%
⑦水道料金のこと	785	55.6%
⑥地震や災害対策のこと	521	36.9%
⑫家庭の水漏れ対策のこと	447	31.6%
⑪節水対策のこと	414	29.3%
③浄水場等の施設のこと	338	23.9%
⑩家庭の水まわりのこと	336	23.8%
④水道水ができるまで	302	21.4%
⑤水道工事のこと	232	16.4%
⑨事業の取り組みのこと	92	6.5%
②水道の歴史	86	6.1%
⑧イベントのこと	72	5.1%
⑬その他	41	2.9%
無回答	39	2.8%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。
※過去調査で選択肢に無い項目について、グラフは空欄となっています。



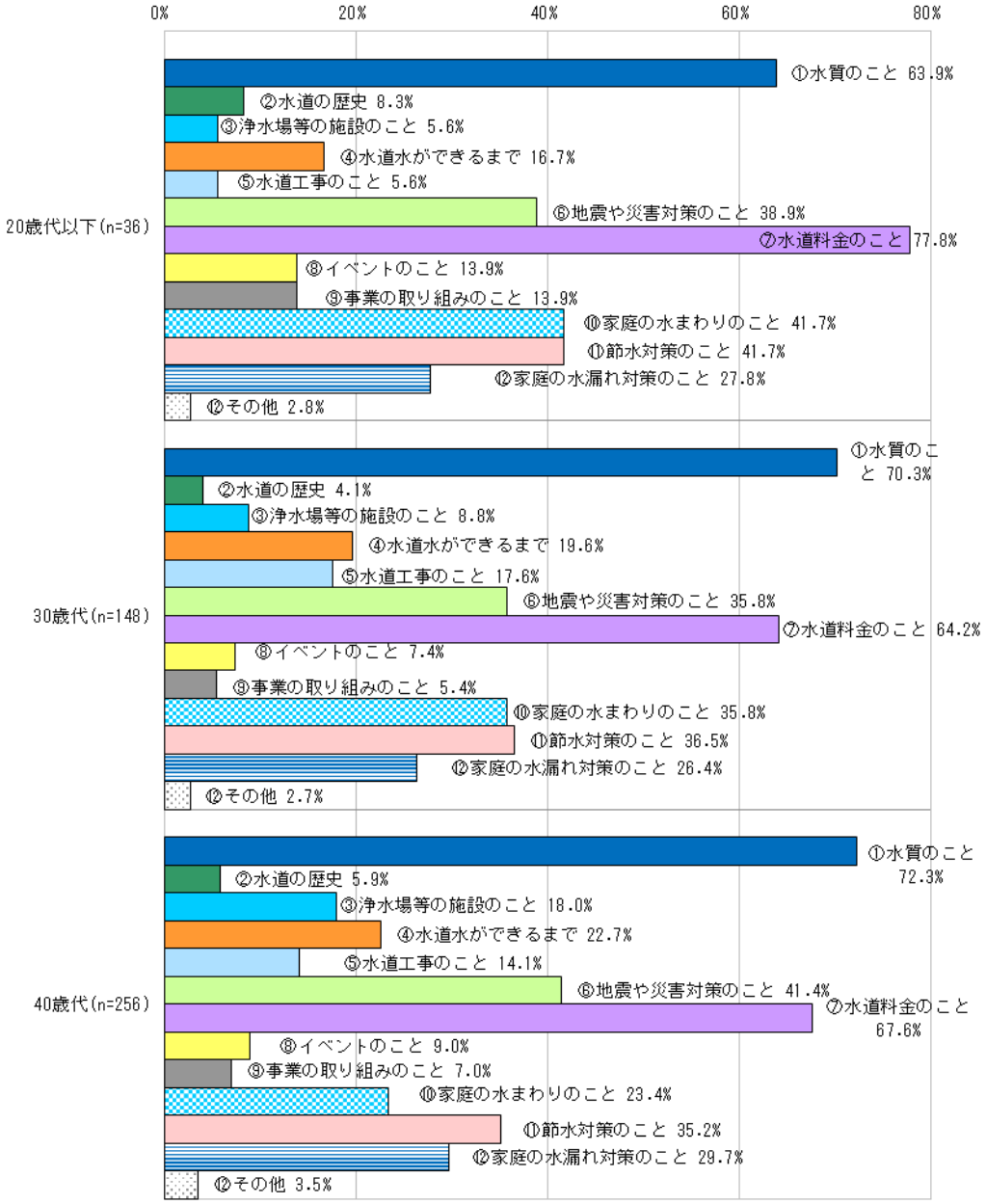
水道に関して知りたい情報については、「①水質のこと」の 73.5%が最も高く、次いで「⑦水道料金のこと」などとなっています。

前回調査と比較すると、今回調査では水道料金や節水対策について、また地震や災害対策についての関心は増加しています。

その他の主な内容

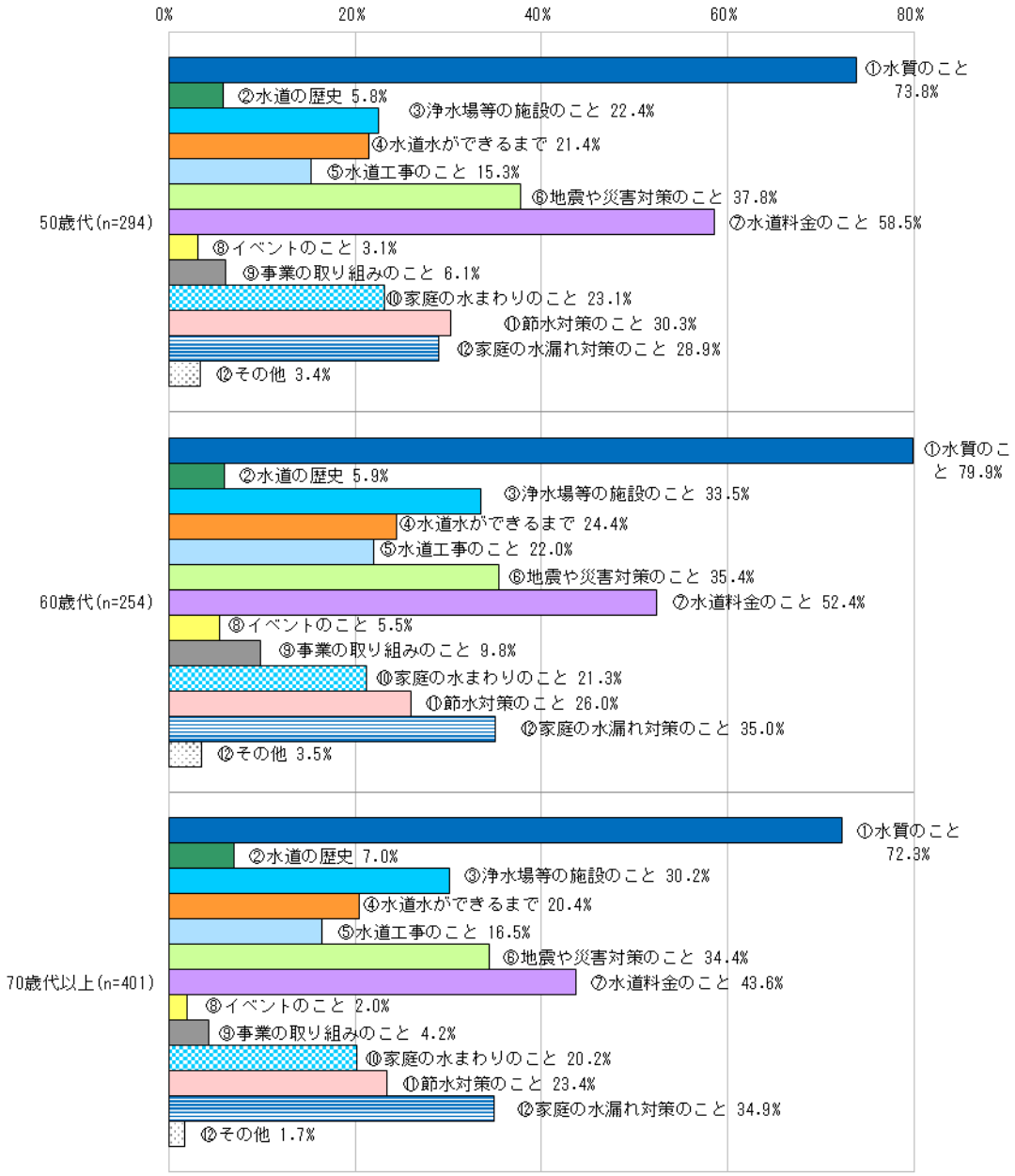
・水質・安全性について（９人）
・PFOS について（５人）
・水道設備の維持管理（３人）

水道に関して知りたい情報を年代別でみると、すべての年代で「①水質のこと」「⑦水道料金のこと」と回答した割合が高くなっており、20 歳代以下、30 歳代では「⑩家庭の水まわりのこと」「⑪節水対策のこと」の割合が比較的高く、60 歳代、70 歳以上では「③浄水場等施設のこと」「⑫家庭の水漏れ対策のこと」の割合が比較的高くなっています。



①水質のこと	②水道の歴史	③浄水場等の施設のこと
④水道水ができるまで	⑤水道工事のこと	⑥地震や災害対策のこと
⑦水道料金のこと	⑧イベントのこと	⑨事業の取り組みのこと
⑩家庭の水まわりのこと	⑪節水対策のこと	⑫家庭の水漏れ対策のこと
⑬その他		

※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。



①水質のこと	②水道の歴史	③浄水場等の施設のこと
④水道水ができるまで	⑤水道工事のこと	⑥地震や災害対策のこと
⑦水道料金のこと	⑧イベントのこと	⑨事業の取り組みのこと
⑩家庭の水まわりのこと	⑪節水対策のこと	⑫家庭の水漏れ対策のこと
⑬その他		

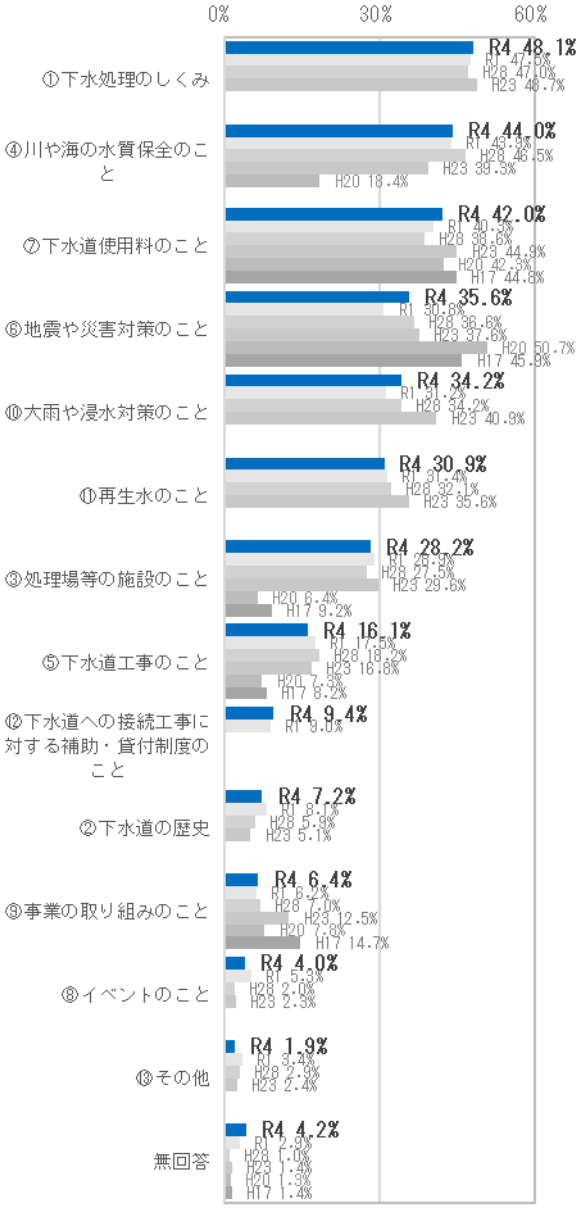
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問１３　下水道に関することで、どのようなことを知りたいですか。（○はいくつでも）

１　下水処理のしくみ　　２　下水道の歴史　　３　処理場等の施設のこと
４　川や海の水質保全のこと　　５　下水道工事のこと　　６　地震や災害対策のこと
７　下水道使用料のこと　　８　イベントのこと　　９　事業の取り組みのこと
１０　大雨や浸水対策のこと　　１１　再生水のこと
１２　下水道への接続工事に対する補助・貸付制度のこと　　１３　その他

項　　目	回答数	％
①下水処理のしくみ	679	48.1%
④川や海の水質保全のこと	622	44.0%
⑦下水道使用料のこと	594	42.0%
⑥地震や災害対策のこと	503	35.6%
⑩大雨や浸水対策のこと	483	34.2%
⑪再生水のこと	436	30.9%
③処理場等の施設のこと	398	28.2%
⑤下水道工事のこと	227	16.1%
⑫下水道への接続工事に対する補助・貸付制度のこと	133	9.4%
②下水道の歴史	102	7.2%
⑨事業の取り組みのこと	91	6.4%
⑧イベントのこと	56	4.0%
⑬その他	27	1.9%
無回答	59	4.2%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。
※過去調査で選択肢に無い項目について、グラフは空欄となっています。

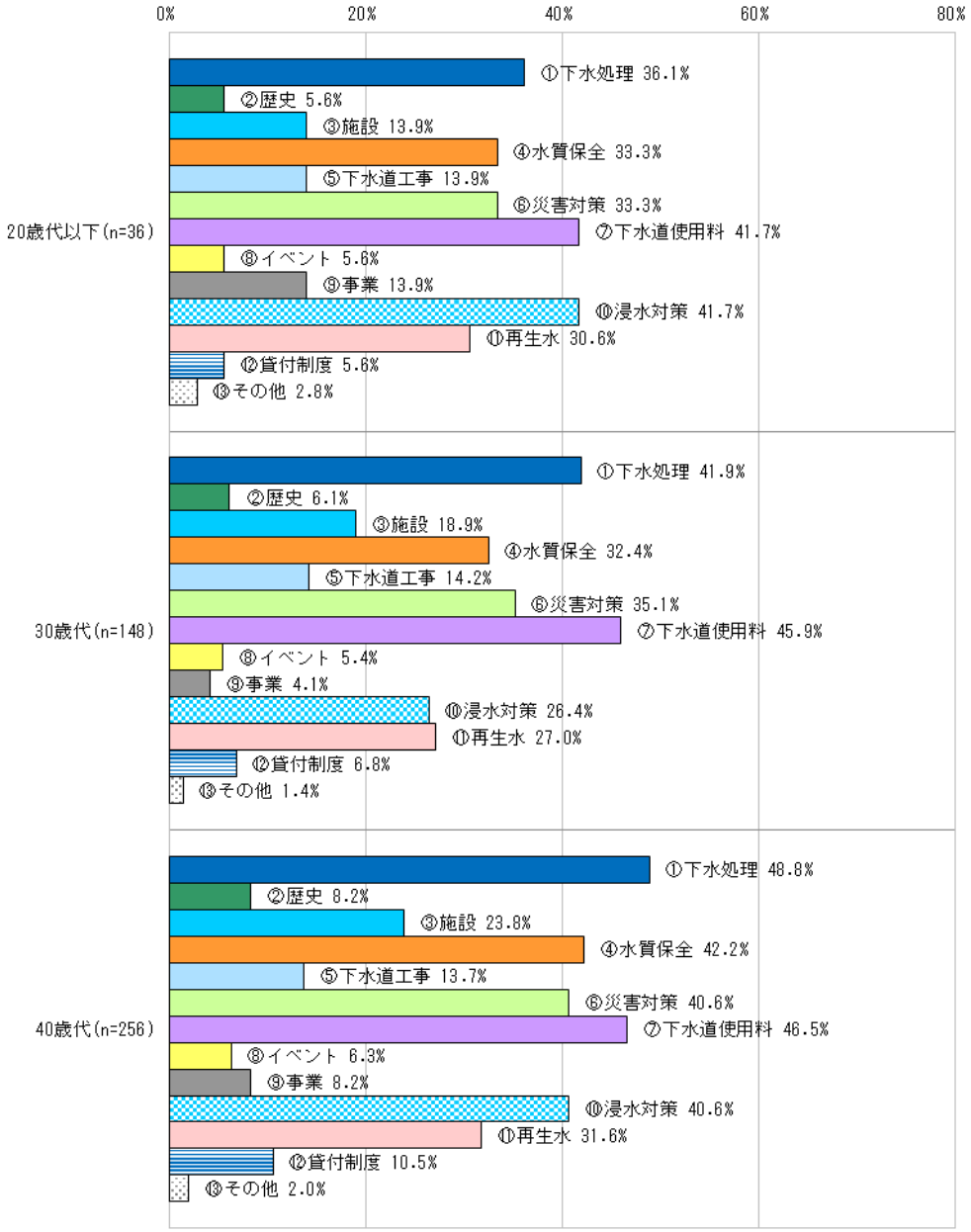


下水道に関して知りたい情報については、「⑥地震や災害対策のこと」が前回調査の 30.8%より増加しており、「⑩大雨や浸水対策のこと」についても、前回調査の 31.2%より増加していることから、災害対策について関心が高まっていることがわかります。

その他の主な内容

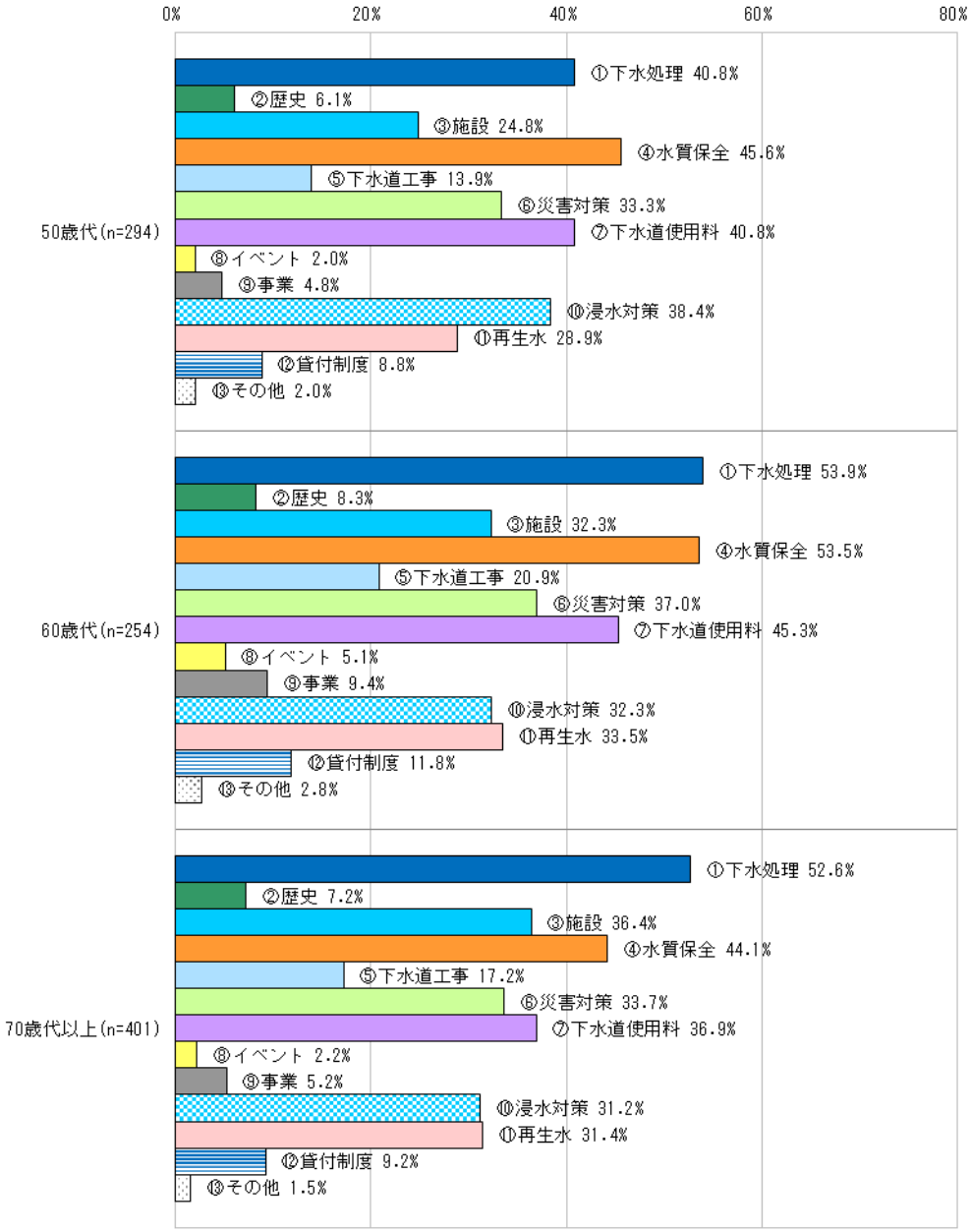
・マンホールの清掃（２人）
・SDGs について（１人）

下水道に関して知りたい情報を年代別でみると、多くの世代において「①下水処理のしくみ」「④川や海の水質保全のこと」「⑦下水道使用料のこと」の割合が高くなっています。次いで「⑩大雨や浸水対策のこと」「⑥地震や災害対策のこと」「⑪再生水のこと」の割合が高くなっています。



①下水処理のしくみ	②下水道の歴史	③処理場等の施設のこと
④川や海の水質保全のこと	⑤下水道工事のこと	⑥地震や災害対策のこと
⑦下水道使用料のこと	⑧イベントのこと	⑨事業の取り組みのこと
⑩大雨や浸水対策のこと	⑪再生水のこと	⑫貸付制度　⑬その他

※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。



①下水処理のしくみ	②下水道の歴史	③処理場等の施設のこと
④川や海の水質保全のこと	⑤下水道工事のこと	⑥地震や災害対策のこと
⑦下水道使用料のこと	⑧イベントのこと	⑨事業の取り組みのこと
⑩大雨や浸水対策のこと	⑪再生水のこと	⑫貸付制度　⑬その他

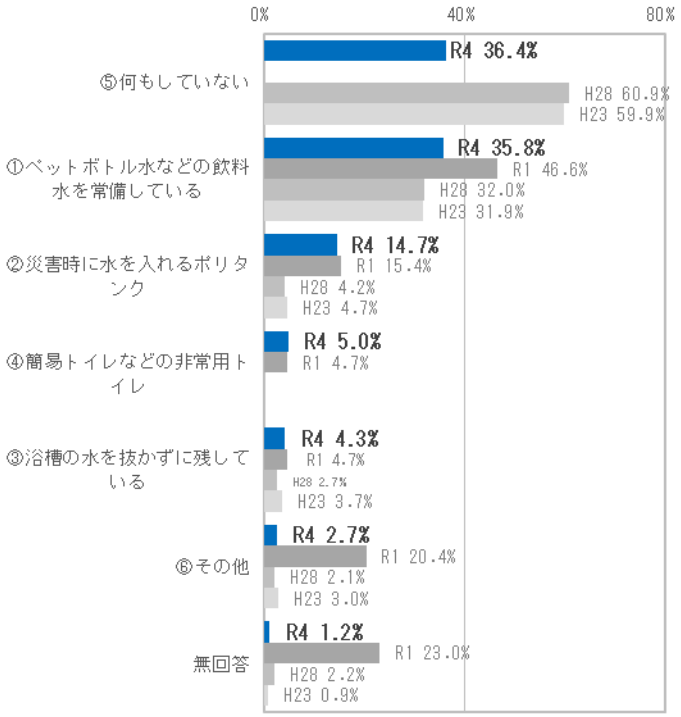
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問 14　地震などの災害による断水時にそなえて、日頃から準備しているものはありますか。（○はいくつでも）

1　ペットボトル水などの飲料水を常備している
2　災害時に水を入れるポリタンク
3　浴槽の水を抜かずに残している
4　簡易トイレなどの非常用トイレ
5　何もしていない
6　その他

項　　目	回答数	%
⑤何もしていない	627	36.4%
①ペットボトル水などの飲料水を常備している	616	35.8%
②災害時に水を入れるポリタンク	253	14.7%
④簡易トイレなどの非常用トイレ	86	5.0%
③浴槽の水を抜かずに残している	74	4.3%
⑥その他	46	2.7%
無回答	21	1.2%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。
※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※過去調査で選択肢に無い項目について、グラフは空欄となっています。



災害による断水時の備えについては、「⑤何もしていない」が 36.4%と最も高く、次いで「①ペットボトル水などの飲料水を常備している」の 35.8%の順となっています。

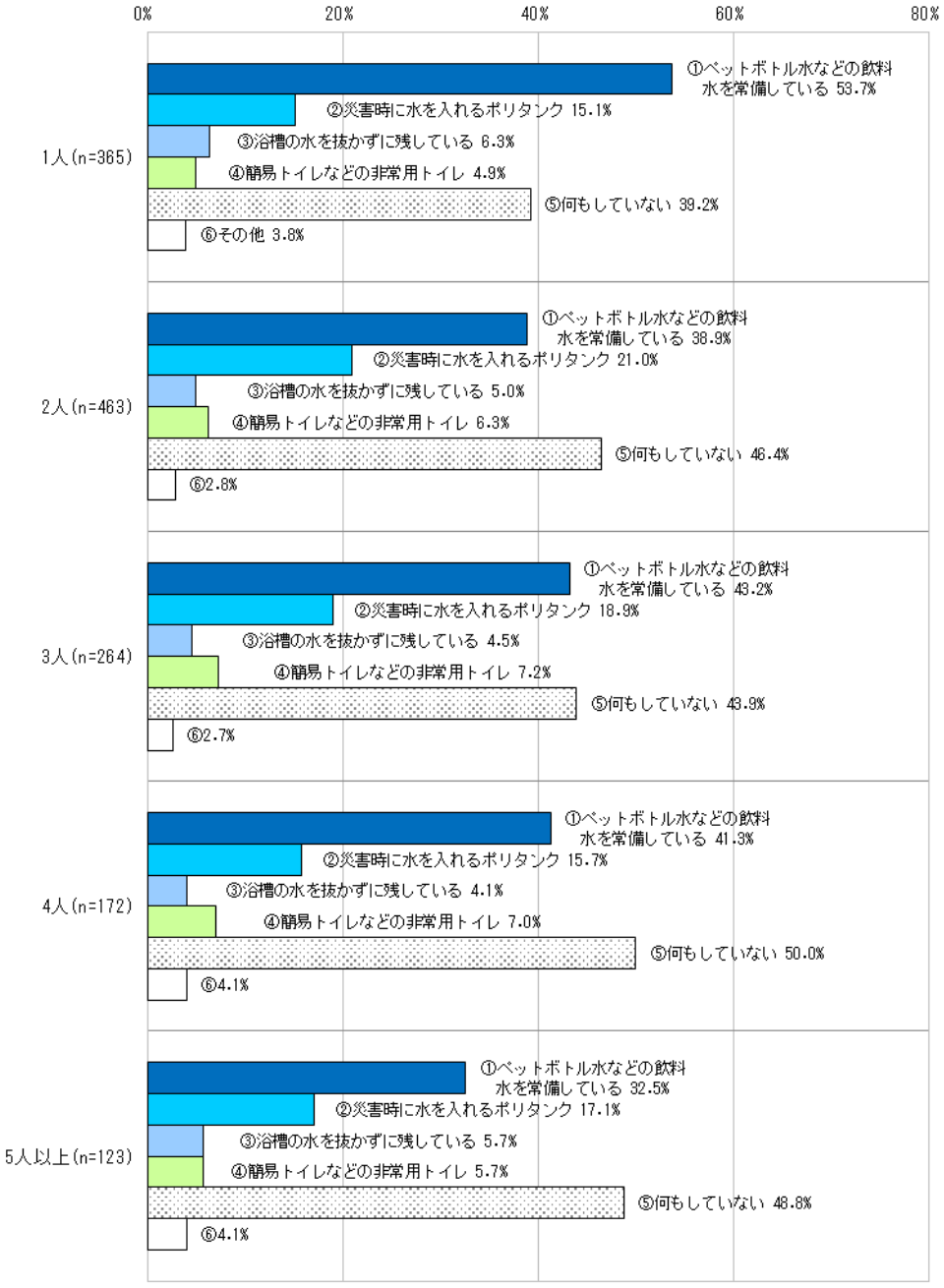
前回調査と比較すると、「①ペットボトル水などの飲料水を常備している」と回答した割合が減少しています。

今回調査では、問１２の水道について知りたいこと、問１３の下水道について知りたいことの回答から、災害対策についての関心が増加しているものの、各家庭での災害による断水時の備えについては、準備をしている方とそうでない方がともに約３割となっています。

その他の主な内容

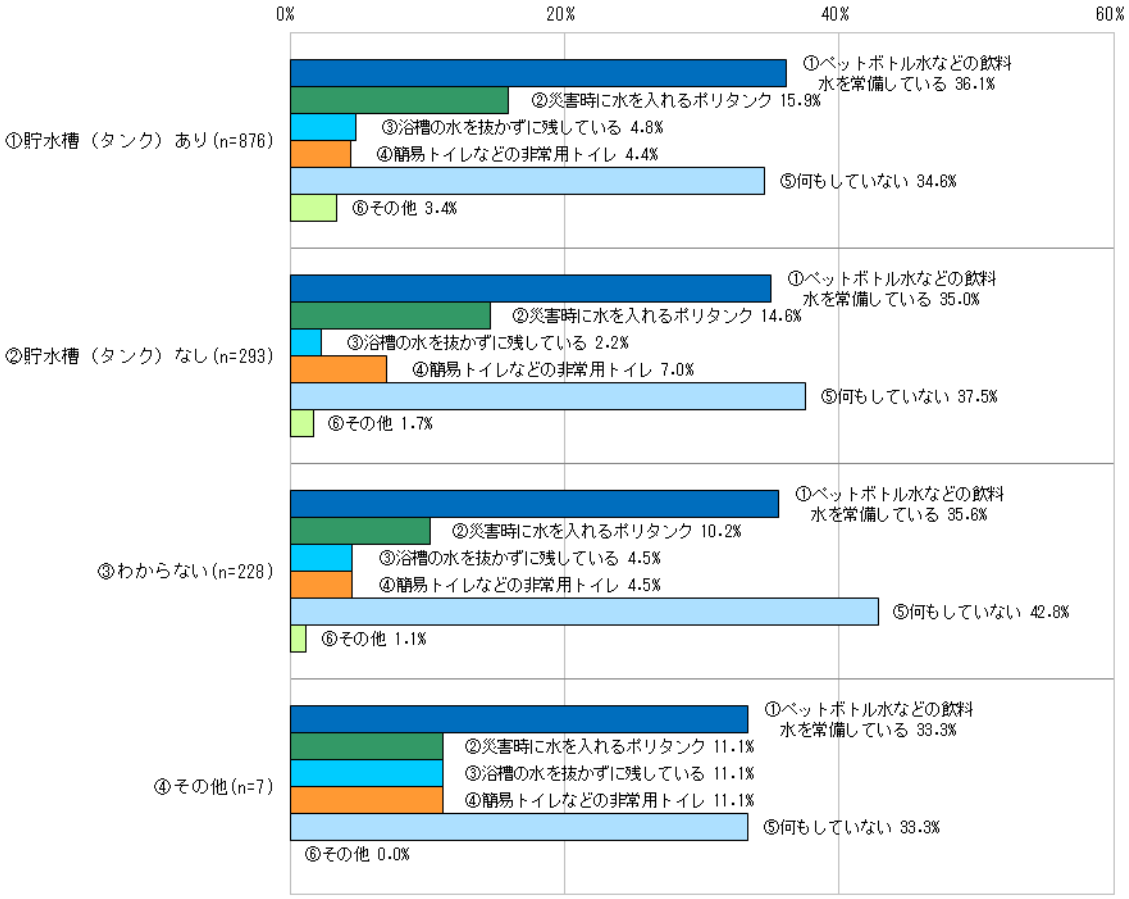
- 貯水槽（タンク）を保有（18 人）
- ペットボトルなどに水をためている（10 人）
- ウォーターサーバーを保有（3 人）

災害による断水時の備えについて世帯構成別でみると、１人世帯において「①ペットボトルの飲料水を常備」と回答した割合が特に高くなっています。また、世帯人数が多くなるにつれて「⑤何もしていない」の割合が増加傾向となっています。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

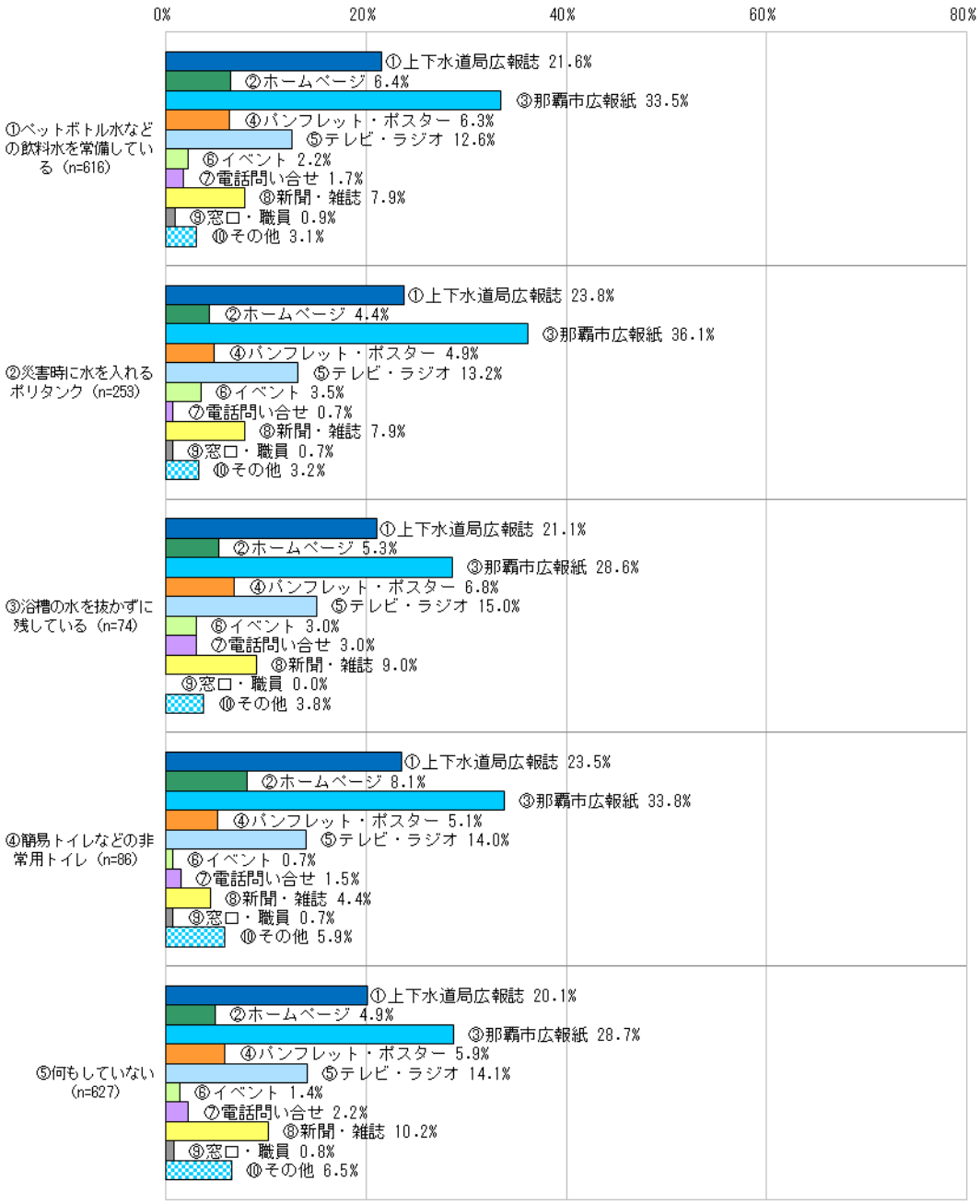
災害による断水時の備えについて問３の貯水槽（タンク）の有無と比較すると、「①ペットボトルの飲料水を常備している」と「⑤何もしていない」割合がそれぞれ同程度となっており、貯水槽（タンク）の有無に関わらず、災害に対する備えに差はみられませんでした。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

災害による断水時の備えについて問１０の水道・下水道の情報収集源と比較すると、水道・下水道の情報収集については、すべての回答で「那覇市広報紙「広報なは　市民の友」」が最も高く、次いで「上下水道局広報誌「なはの水」」の順などとなっています。

断水時の備えをしている方とそうでない方による情報収集源の差は見られませんでした。



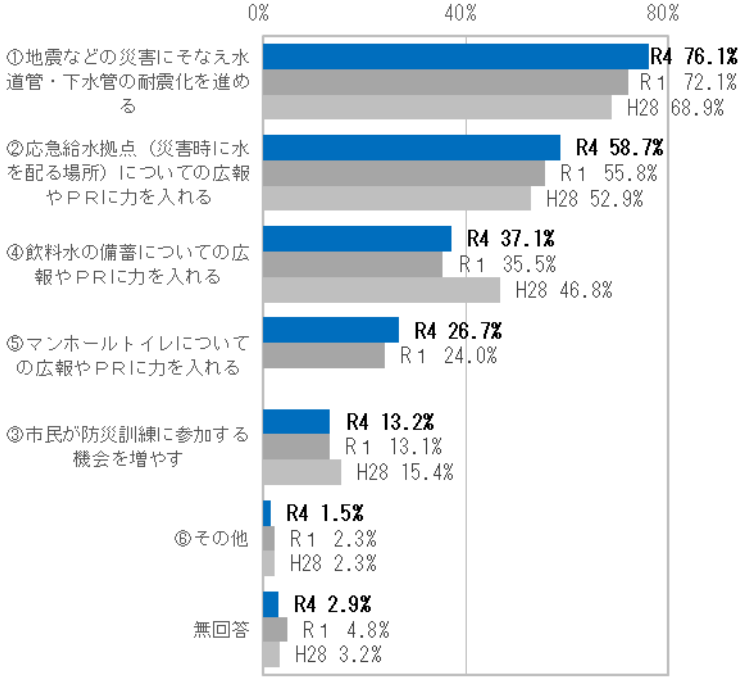
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問 15　大規模な震災対策として、那覇市上下水道局が特に力を入れるべきであると思われる事項はどれですか。（○は３つまで）

1　地震などの災害にそなえ水道管・下水道管の耐震化を進める
2　応急給水拠点（災害時に水を配る場所）についての広報やＰＲに力を入れる
3　市民が防災訓練に参加する機会を増やす
4　飲料水の備蓄についての広報やＰＲに力を入れる
5　マンホールトイレについての広報やＰＲに力を入れる
6　その他

項　　目	回答数	%
①地震などの災害にそなえ水道管・下水管の耐震化を進める	1,066	76.1%
②応急給水拠点（災害時に水を配る場所）についての広報やＰＲに力を入れる	822	58.7%
④飲料水の備蓄についての広報やＰＲに力を入れる	519	37.1%
⑤マンホールトイレについての広報やＰＲに力を入れる	374	26.7%
③市民が防災訓練に参加する機会を増やす	185	13.2%
⑥その他	21	1.5%
無回答	41	2.9%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。
※過去調査で選択肢に無い項目について、グラフは空欄となっています。



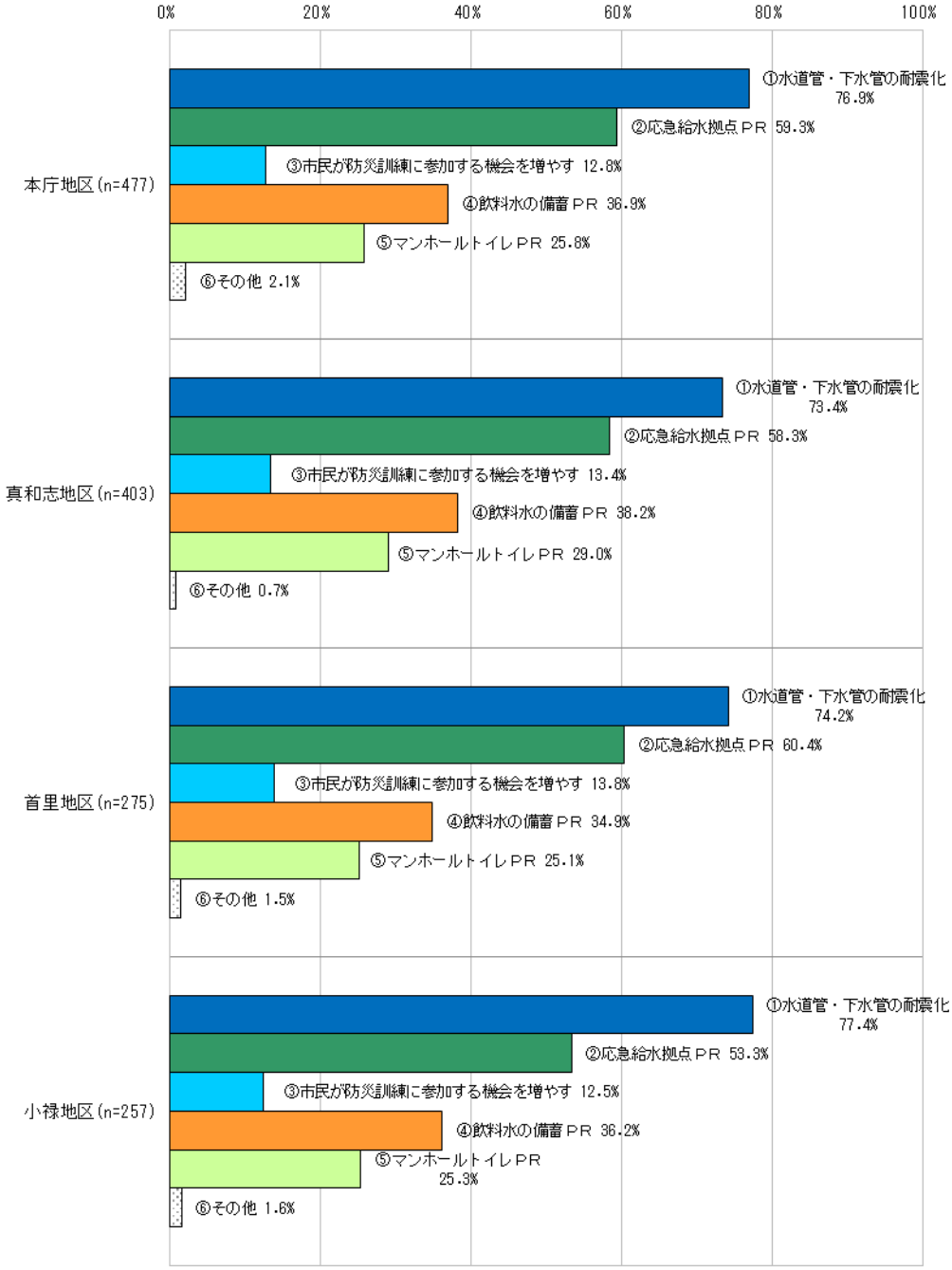
那覇市上下水道局が力を入れるべき震災対策については、「①地震などの災害にそなえ水道管・下水道管の耐震化を進める」の 76.1%が最も高く、次いで「②応急給水拠点(災害時に水を配る場所)についての広報やＰＲに力を入れる」の 58.7%、「④飲料水の備蓄についての広報やＰＲに力を入れる」の 37.1%、「⑤マンホールトイレについての広報やPR に力を入れる」の 26.7%の順となっています。

震災対策として、上下水道の設備面強化が最も求められており、次いで給水に関する情報、水の備蓄を促す広報や PR が求められていることがわかります。

その他の主な内容

・マンホールトイレの設置・水道管の取り替え等の災害対策をとる（7 人）
・ウォーターマップの作成（1 人）
・キャンペーンを実施（1 人）

那覇市上下水道局が力を入れるべき震災対策を居住地区別でみると、すべての地区において「①地震などの災害にそなえ水道管・下水道管の耐震化を進める」と「②応急給水拠点(災害時に水を配る場所)についての広報やＰＲに力を入れる」の割合が高くなっており、地区による差はみられませんでした。



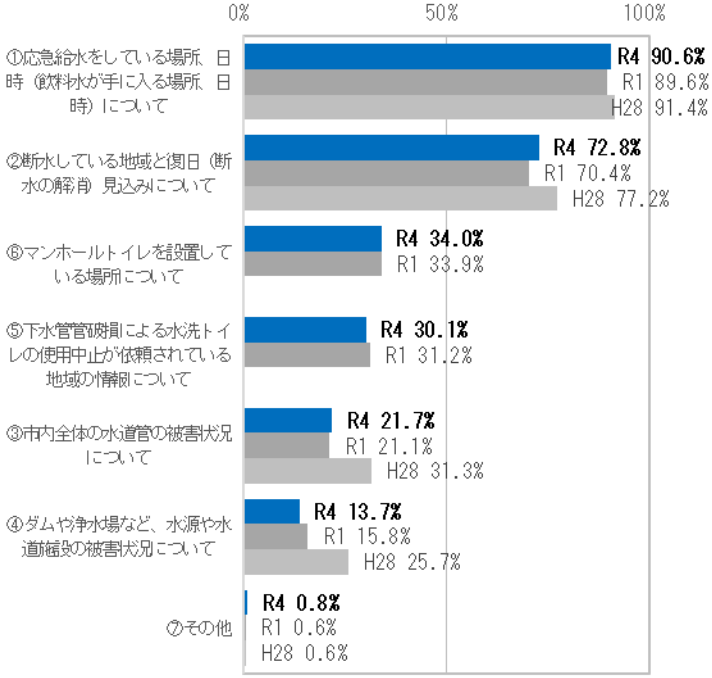
※属性の「わからない」「無回答」及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問 16　大規模な地震などの災害が発生した場合、あなたはどのような情報を知りたいですか。（○は３つまで）

1　応急給水をしている場所、日時（飲料水が手に入る場所、日時）について
2　断水している地域と復旧（断水の解消）見込みについて
3　市内全体の水道管の被害状況について
4　ダムや浄水場など、水源や水道施設の被害状況について
5　下水道管破損による水洗トイレの使用中止が依頼されている地域の情報について
6　マンホールトイレを設置している場所について
7　その他

項　　目	回答数	%
①応急給水をしている場所、日時（飲料水が手に入る場所、日時）について	1,280	90.6%
②断水している地域と復旧（断水の解消）見込みについて	1,029	72.8%
⑥マンホールトイレを設置している場所について	480	34.0%
⑤下水管管破損による水洗トイレの使用中止が依頼されている地域の情報について	426	30.1%
③市内全体の水道管の被害状況について	307	21.7%
④ダムや浄水場など、水源や水道施設の被害状況について	193	13.7%
⑦その他	11	0.8%
無回答	43	3.0%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。
※過去調査で選択肢に無い項目について、グラフは空欄となっています。



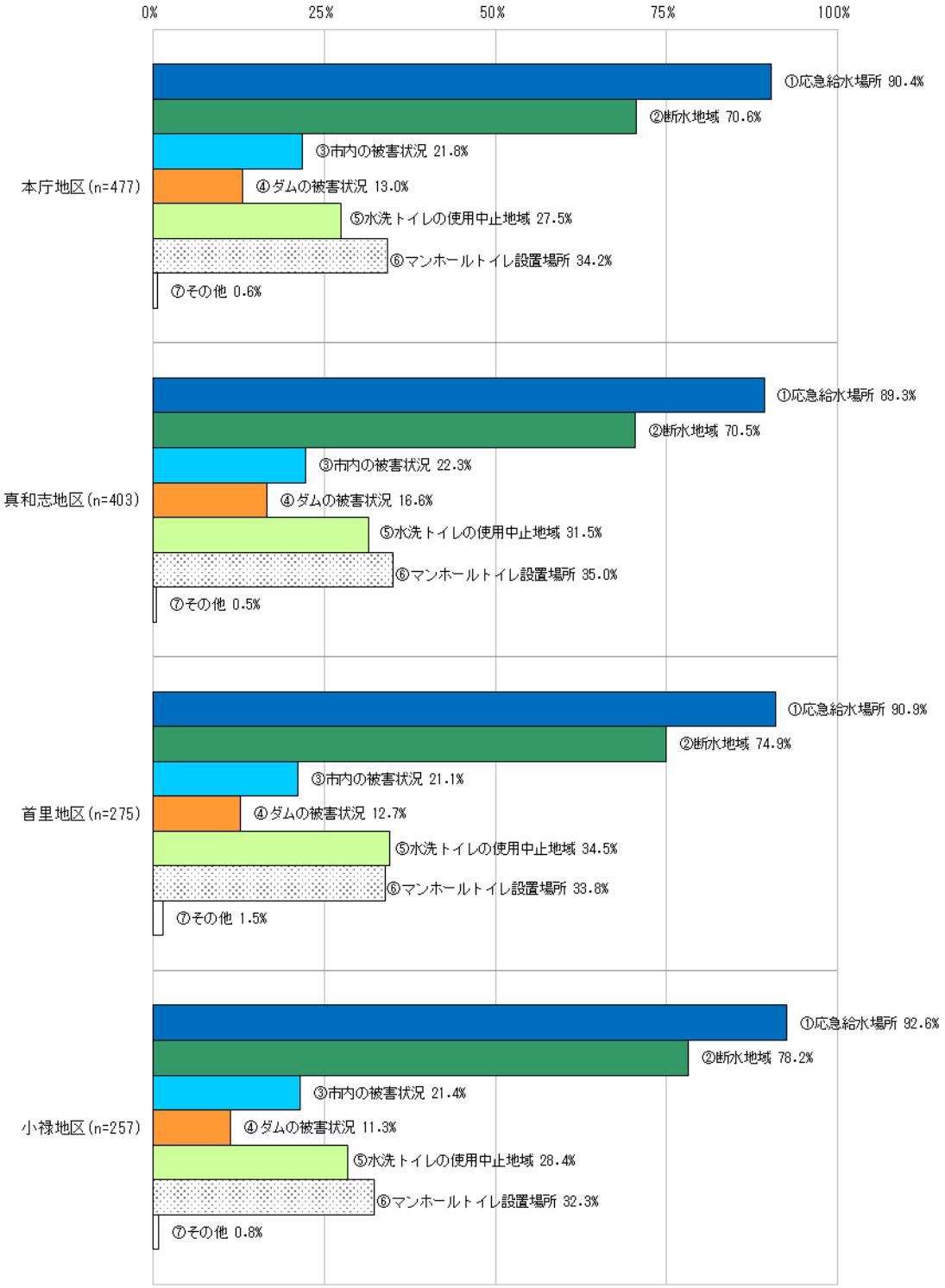
災害発生時に知りたい情報については、「①応急給水をしている場所、日時（飲料水が手に入る場所、日時）について」の 90.6%が最も高く、次いで「②断水している地域と復旧（断水の解消）見込みについて」の 72.8%、「⑥マンホールトイレを設置している場所について」の 34.0%、「⑤下水道管破損による水洗トイレの使用中止が依頼されている地域の情報について」の 30.1%、の順となっています。

給水に関する情報に対しての関心が最も高く、次いで災害時に使用可能なトイレについての情報が求められている結果となりました。

その他の主な内容

・選択肢①～⑥について全て知りたい（2 人）
・マンホールトイレの設置方法（1 人）
・広報車を繰り返し巡回させてほしい（1 人）

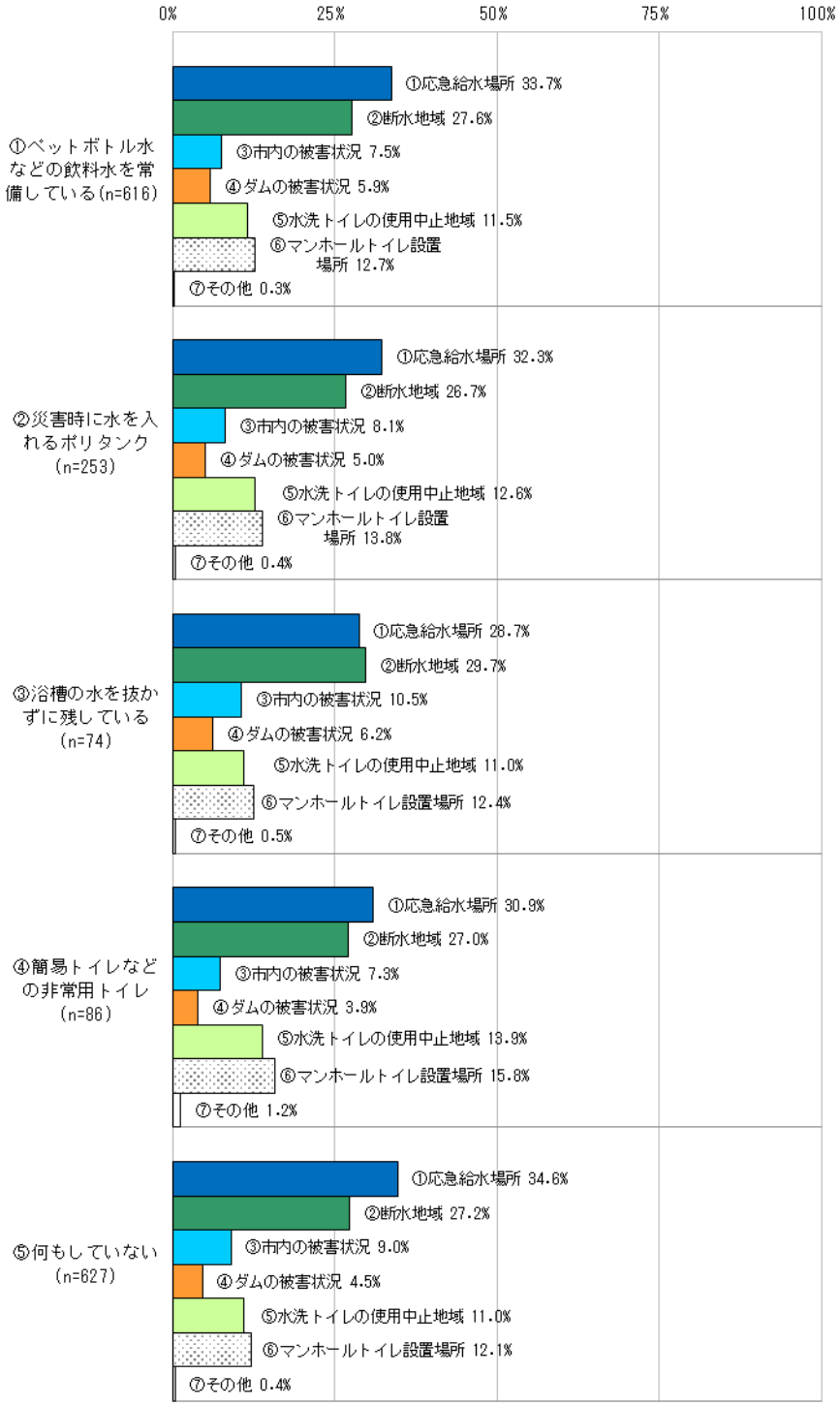
災害発生時に知りたい情報を居住地区別でみると、すべての地区で「①応急給水場所」、次いで「②断水している地域と復旧（断水の解消）見込みについて」と回答した割合が高くなっています。また、地区による回答に大きな差は見られませんでした。



※属性の「わからない」「無回答」及び回答項目の「無回答」は省略しています。

災害発生時に知りたい情報を問１４の災害（断水時）への備えと比較すると、すべての選択肢において「①応急給水場所」と回答した割合が最も高く、次いで「②断水地域」となっています。

断水時への備えの有無に関わらず、災害発生時に知りたい内容についての割合はほとんど同じとなっています。



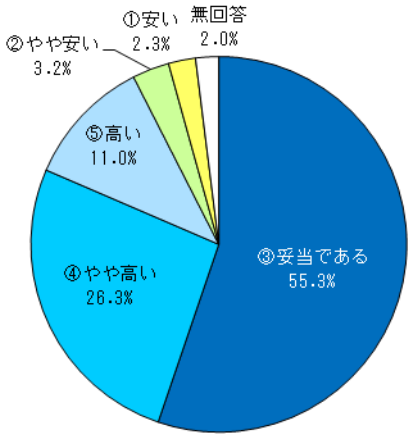
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問１７　現在お支払いになっている水道料金等（下水道に接続しているご家庭では、下水道使用料も合算してお支払いいただいております。）について、どう感じていますか。（○は１つだけ）

１　安い　　２　やや安い　　３　妥当である　　４　やや高い　　５　高い

項　　目	回答数	%
③妥当である	781	55.3%
④やや高い	371	26.3%
⑤高い	156	11.0%
②やや安い	45	3.2%
①安い	33	2.3%
無回答	28	2.0%

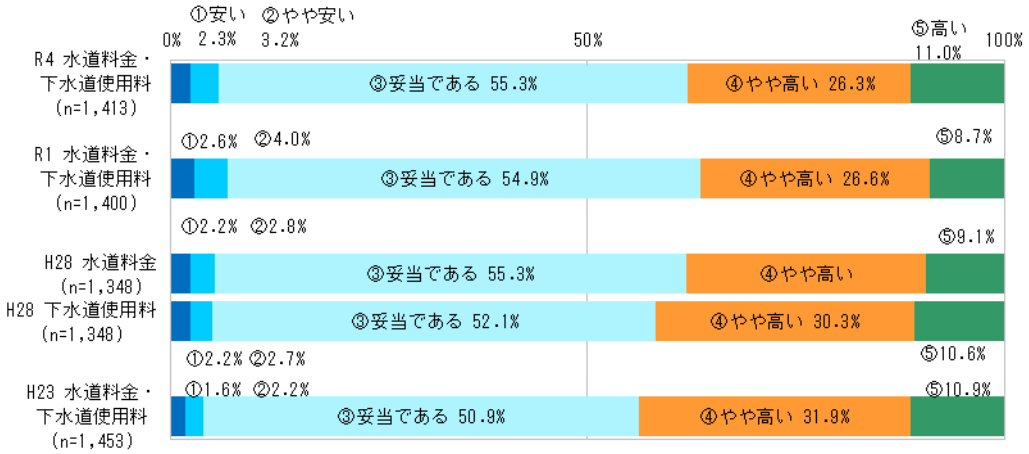
※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。



水道料金及び下水道使用料については「③妥当である」と回答した割合が最も高くなっており、次いで「④やや高い」が 26.3%、「⑤高い」が 11.0%などとなっています。

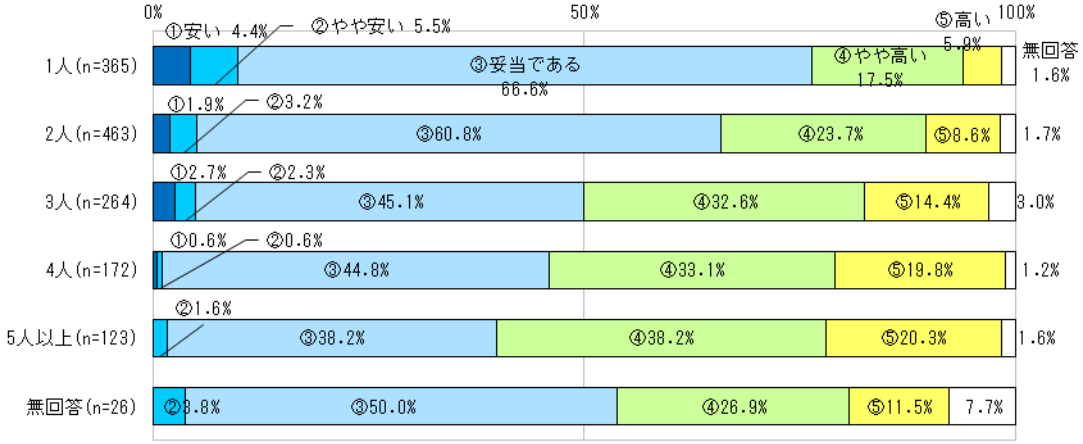
参　考

水道料金及び下水道使用料について前回調査と比較すると、「①安い」「②やや安い」「③妥当である」を合わせた割合は、前回調査より微減となっています。

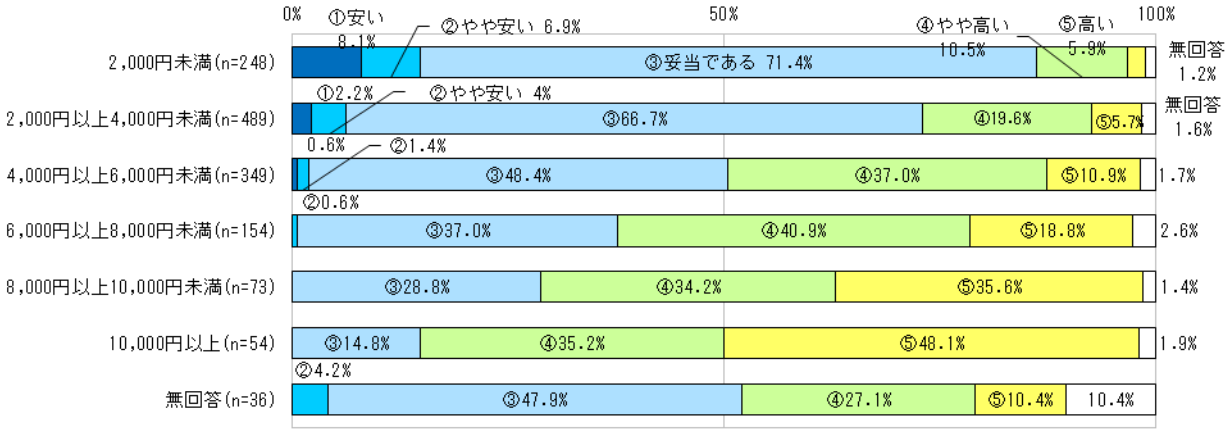


※「無回答」は掲載していません。

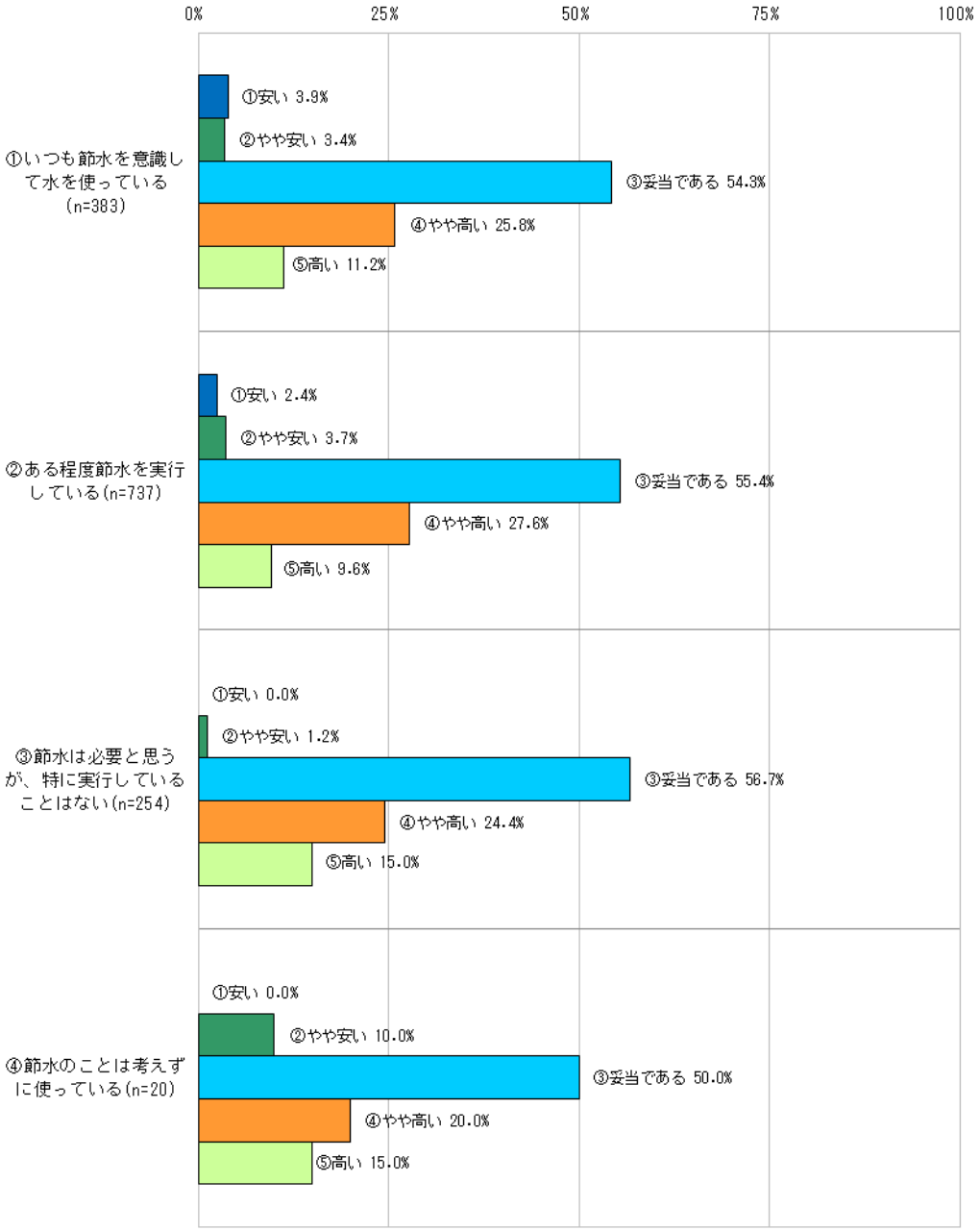
現在支払っている水道料金及び下水道使用料の負担感について世帯構成と比較すると、２人世帯までは「③妥当である」の割合が最も高くなっており、世帯人数が増えるにともない「④やや高い」「⑤高い」と感じている割合が高くなっています。



現在支払っている水道料金及び下水道使用料の負担感について、支払い額で比較すると、支払い額が高くなるにしたがって「③妥当である」の割合が減少傾向にあると分かります。



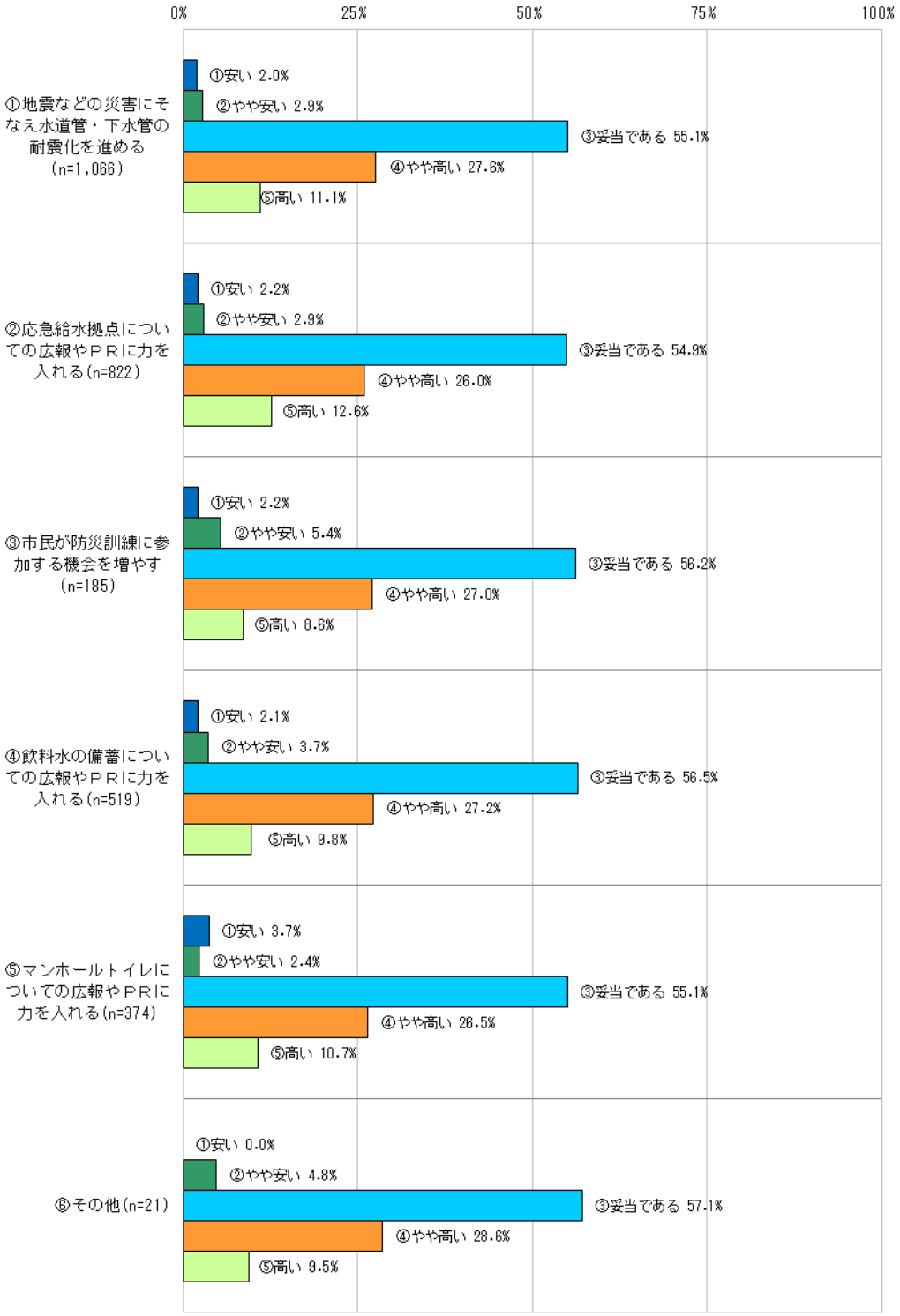
現在支払っている水道料金及び下水道使用料の負担感について、問５の節水の心がけと比較すると、節水を心がけている方とそうでない方による、水道料金及び下水道使用料の負担感については差が無いことが分かりました。



※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

現在支払っている水道料金及び下水道使用料の負担感について、問１５の震災対策で力を入れるべき点と比較すると、すべての対策において水道料金・下水道使用料については「③妥当である」が最も高く、次いで「④やや高い」、「⑤高い」の順となっています。

震災対策で力を入れるべき点による、水道料金及び下水道使用料の負担感については、回答に差は見られませんでした。



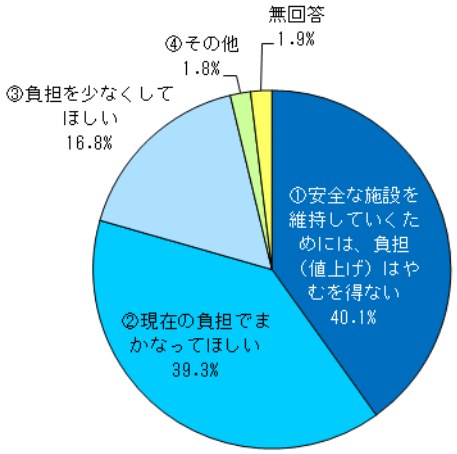
※属性の無回答及び回答項目の「無回答」は省略しています。

問 18　上下水道事業は、水道料金や下水道料金によって、事業運営に必要な経費をまかなっています。人口減少社会の到来により料金収入が減少したり、施設の老朽化により維持管理経費が増加すると上下水道事業運営に支障をきたす恐れがあるため、料金の改定（値上げ）によってお客様にご負担いただく場合があります。施設の維持管理に対する経費への負担について、どう思いますか。（○は１つだけ）

1　安全な施設を維持していくためには、応分の負担（値上げ）はやむを得ない
2　現在の負担の範囲でまかなってほしい
3　負担を少なくしてほしい
4　その他

項　　目	回答数	%
①安全な施設を維持していくためには、負担（値上げ）はやむを得ない	567	40.1%
②現在の負担でまかなってほしい	556	39.3%
③負担を少なくしてほしい	238	16.8%
④その他	26	1.8%
無回答	27	1.9%

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。
※回答者数(n=1,413)を分母としているため、複数回答では割合の合計が 100%を超えています。

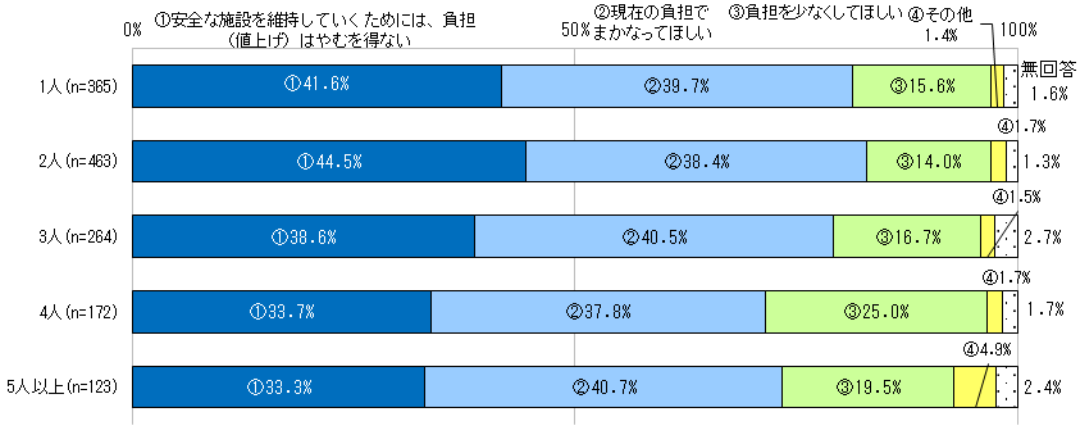


水道料金・下水道使用料の改定（値上げ）については「①安全な施設を維持していくためには、負担（値上げ）はやむを得ない」の 40.1%が最も高くなりましたが、前回調査の 49.1%より割合は減少する結果となりました。

その他の主な内容

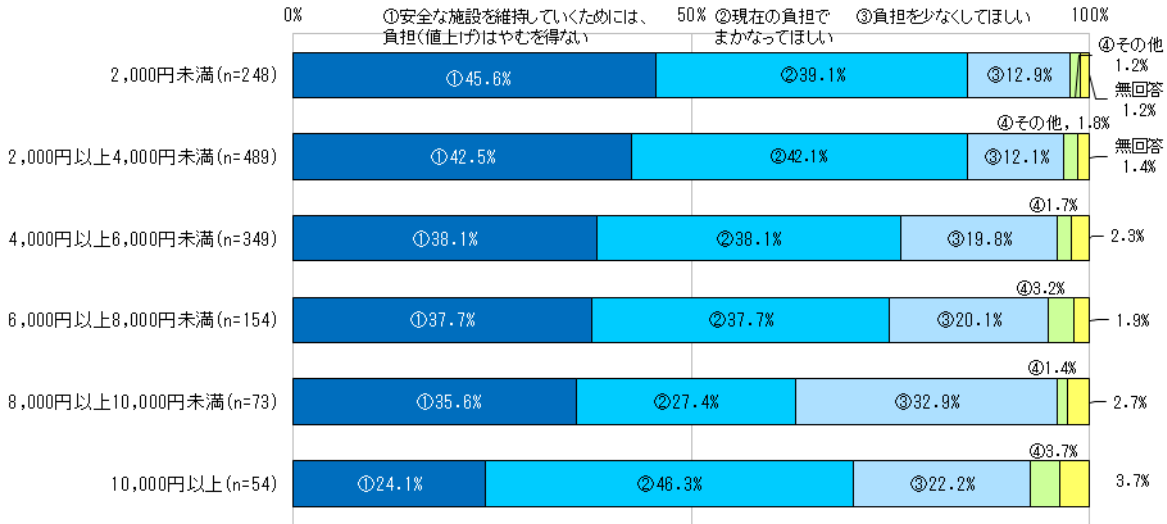
・国や県の補助金・税金などで値上げ分の対応をしてほしい（９人）
・コストを見直すなど対策を取り、現在の負担でまかなってほしい（６人）
・値上げを望まないが、水の安全性を維持する為には必要（５人）

施設の維持管理に対する経費への負担（料金値上げ）について、世帯構成別でみると、比較的人数の少ない世帯の方が「①安全な施設を維持していくためには、負担（値上げ）はやむを得ない」と回答した割合が高く、世帯人数が増えるにともなって「②現在の負担でまかなってほしい」と回答する割合が高くなっています。



※属性の無回答は省略しています。

施設の維持管理に対する経費への負担（料金値上げ）について、支払い額で比較すると、水道料金・下水道使用料の支払い額が高くなるにともない、「②現在の負担でまかなってほしい」「③負担を少なくしてほしい」を合わせた、負担（値上げ）を避けてほしいと回答した割合が高くなっています。

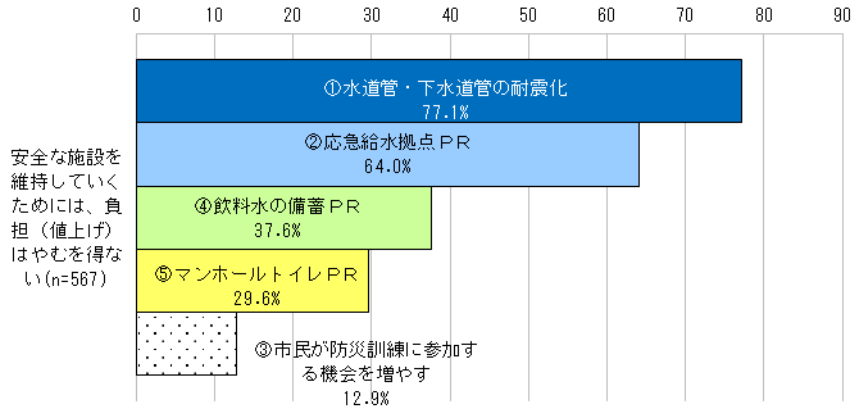


※属性の無回答は省略しています。

施設の維持管理に対する経費への負担（料金値上げ）について、問１５の震災対策で力を入れるべき点と比較を行いました。

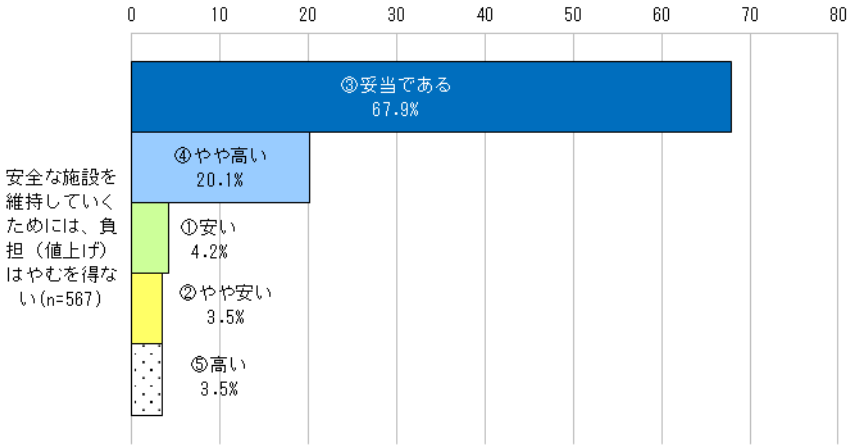
問１５で「安全な設備を維持していくために、負担（値上げ）はやむを得ない」と考える方は、震災対策について「地震などの災害にそなえ水道管・下水道管の耐震化を進める」と回答した割合が最も高く、設備の強化が求められていることが分かりました。

次いで「応急給水拠点の広報やＰＲに力を入れる」が高く、給水に関する情報についても関心が高い結果となっています。



※属性の無回答、回答項目の「無回答」は省略しています。

「安全な設備を維持していくために、負担（値上げ）はやむを得ない」と考える方と問１７の現在支払っている水道料金・下水道使用料の負担感を比較すると、現在の水道・下水道料金を「妥当である」と回答する割合が高くなりました。



※他選択肢及び属性の無回答、回答項目の「その他」「無回答」は省略しています。

Ⅳ お客様センターについて

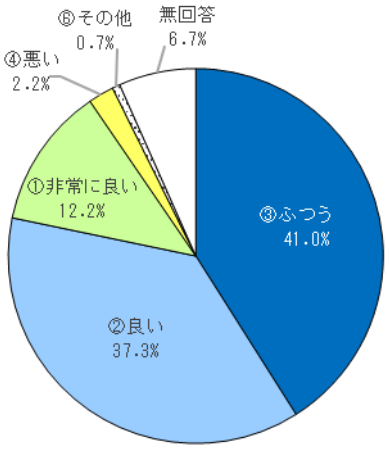
問 19　那覇市上下水道局に設置されている「お客様センター」の窓口・電話対応についてお聞かせください。
（○は１つだけ）

1　非常に良い　2　良い　3　ふつう　4　悪い　5　利用したことがない　6　その他

項　　目	回答数	%
③ふつう	185	41.0%
②良い	168	37.3%
①非常に良い	55	12.2%
④悪い	10	2.2%
⑥その他	3	0.7%
無回答	30	6.7%
計	451	100%

※「利用したことがない」は省略しています。

※「その他」「無回答」を除き割合の高い順に並び替えています。



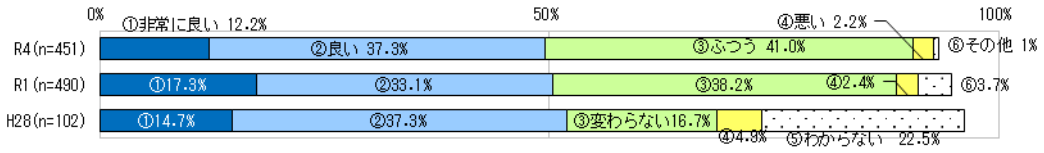
那覇市上下水道局に設置されているお客様センターの満足度については、「③ふつう」の41.0%が一番高く、次いで「②良い」の 37.3%となっています。「⑤利用したことがない」については、全体の７割の方が回答しています。

その他の主な内容

・わからない・特になし（３人）

参　考

お客様センターの満足度を経年変化でみると、「①非常に良い」「②良い」「③ふつう」を合わせた満足度の高さは、前回調査と同様の結果となりました。



※属性の「無回答」は省略しています。

Ⅳ. 資　料　編

調　　査　　票

令和４年１０月１日

お　客　様　各　位

那覇市上下水道事業管理者
上下水道局長　上地　英之

那覇市の水道・下水道に関するアンケート調査へのご協力のお願い

日ごろから水道・下水道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、上下水道局では、お客様の水道・下水道に対する満足度やニーズを把握し、上下水道事業を今後一層充実させるための基礎資料とすることを目的として、上下水道に関するアンケート調査を実施させていただくことになりました。

本アンケートは、本市上下水道をご利用いただいている約 157,000 世帯のうち無作為に抽出した3,700 世帯の皆様にお送りしています。

ご多忙中とは存じますが、調査の主旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

誠に勝手ながら、ご回答いただいたアンケート調査票は、

令和４年（2022 年）１１月３０日（水）まで

に、下記の QR コードにて Web 回答していただくか、同封の返信用封筒でご返送くださいますようお願い申し上げます。（切手は不要です）

※お送りした封筒の宛名部分に識別コード（５桁）が記載されていますので回答時に追記願います（例：H0001）

（お問い合わせ）
那覇市上下水道局　企画経営課　企画調整室
〒900-0006　那覇市おもろまち１丁目１番１号
電話：098―941―7802（直通）
FAX：098―941―7821
電子ﾒｰﾙ：E-mail：kikaku@water.naha.okinawa.jp

※お送りした封筒の宛名部分に識別コード（5 桁）が記載されていますので回答時に入力願います

個人情報の保護について

１　アンケート結果は、統計的に処理し、調査目的以外には使用いたしません。個人を特定する情報がいかなる場合にも表記されることはなく、情報管理、個人情報の保護を含め、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

２　統計処理した結果については、後日ホームページ等で公表する予定です。

※本調査の実施・結果の分析及び報告書の作成を業務委託しています。

調査の実施等　：株式会社　ゼンリンインターマップ
調査の主体　　：那覇市上下水道局　企画経営課

調査票記入上のお願い

１　アンケートは無記名でご回答いただきますので、率直なご意見をお書きください。

２　アンケートの回答につきましては、できましたらご家庭の水の使用状況をご存知の方に回答していただきますようお願いいたします。

３　アンケート回答方法は Web 回答か紙回答の**いずれか**をお選びください。
（重複して回答することないようお願いいたします。）

４　回答は、１つだけ選ぶものと、いくつでも良い場合がありますのでご注意ください。

５　調査表（紙）での回答は、基本的に該当する番号を○で囲んでください。

６　回答が「その他」の場合は、具体的な内容をご記入ください。

Web 回答の場合は裏面の QR コードを読み取り、
紙回答の場合は、アンケート調査票にご記入後
同封の返信用封筒に折って封入し、
ご返送ください。（切手は不要です。）

那覇市の水道・下水道に関するアンケート調査票

※封筒の宛名部に記載のある識別コード（5 桁）をご記入願います→

※例：10001

Ⅰ　水道についておうかがいします

＜飲用としての水道水について＞

問１　日頃、主にどのようにして水を飲んでいますか。**（○は１つだけ）**

１　水道水をそのまま飲んでいる（冷やして飲む場合を含む）
２　水道水を一度沸騰させてから飲んでいる
３　浄水器などを通して水道水を飲んでいる
４　水道水は飲まず、市販されているペットボトルの水や、水の販売機などで購入した水を飲んでいる
５　その他（　　）

「健康のため水を飲もう推進委員会」ポスターより

問２　問１で「２」～「５」とお答えになった方におうかがいします。水道水を「そのまま飲まない」、または、「飲まない」理由をお聞かせください。**（○はいくつでも）**

１　おいしくないから
２　水道水自体の安全性に不安があるから
３　マンションやアパートの貯水槽（タンク）の衛生面が気になるから
４　カルキ臭（塩素臭）、またはにおいがするから
５　水道水には、にごりや色があるから
６　元々飲む習慣がないから（なんとなく飲まない場合を含む）
７　その他（　　）

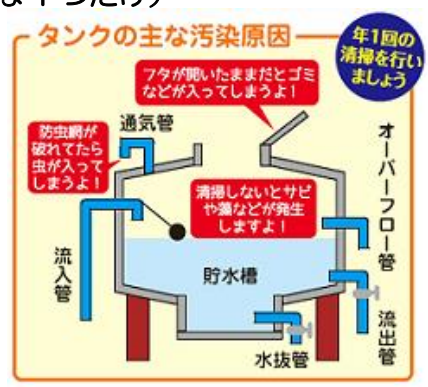
＜貯水槽（タンク）について＞

問３　お住まいに、貯水槽（タンク）はありますか。**（○は１つだけ）**

１　貯水槽（タンク）あり
２　貯水槽（タンク）なし
３　わからない
４　その他（　　）

問４　問３で「１貯水槽（タンク）あり」とお答えになった方におうかがいします。
貯水槽（タンク）の清掃を定期的に行なっていますか。**（○は１つだけ）**
※ アパートやマンションなどにお住まいの方も、わかる範囲でお答えください。

１　定期的に清掃をしている（年に１回以上）
２　ときどき清掃している（２～３年に１回くらい）
３　清掃をしたことがない
４　わからない
５　その他（　　）



＜節水について＞

問５　節水を心がけていますか。（○は1つだけ）

１　いつも節水を意識して水を使っている
２　ある程度節水を実行している
３　節水は必要と思うが、特に実行していることはない
４　節水のことは考えずに使っている

問６　ご家庭で行なっている節水の取組みや使っている節水機器がありますか。
（○はいくつでも）　※ 問5で、節水を実行していないとお答えになった方も洗濯機やトイレ等についてわかる範囲でお答えください。

１　洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している
２　台所、洗面所、風呂場（シャワー）などの蛇口に節水器具を取り付けている
３　洗濯物はまとめて洗うようにしている
４　洗濯機が節水型(※)である
５　風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ（洗濯機についているものを含む）を使用している
６　トイレの大小レバーを使い分けている
７　トイレ（便器）が節水型(※)である
８　自動食器洗い機を使用している
９　雨水タンクを設置して水まきや洗車などに利用している
10　地下水（井戸水）を使用して水道の使用量を抑えている
11　水道メーターや検針票などを見て使用量をチェックしている
12　その他（　　）

※ 節水型とは、購入の際に「節水効果がある」等の説明があったものとしてお答え下さい。

Ⅱ　下水道についておうかがいします

問７　あなたのお住まいは、下水道に接続していますか。（○は1つだけ）

１　下水道へ接続している（下水道使用料を支払っている）
２　下水道へ接続していない（下水道使用料を支払っていない）
３　わからない

問８　お住まいの洗濯機の設置場所と排水についておうかがいします。（○は1つだけ）

１　室内に設置しており、下水道へ排水している
２　ベランダに設置しており、下水道へ排水している
３　ベランダに設置しており、側溝等へ排水している
４　わからない

問９　排水管や下水道管の「つまり」や「悪臭」を発生させないため、実践している項目はどれですか。（○はいくつでも）

１　使用済みの天ぷら油を流さないようにしている
２　生ゴミなどを流さないようにしている
３　鍋や食器についた汚れは拭いてから洗うようにしている
４　洗たくや食器洗いのときに洗剤を使いすぎないようにしている
５　紙おむつや水に溶けにくいティッシュなどをトイレに流さないようにしている
６　その他（　　）

Ⅲ　水道・下水道共通の項目についておうかがいします

問１０　水道・下水道についての情報は、どのような媒体から得ていますか。（○はいくつでも）

１　上下水道局広報誌「なはの水」
２　上下水道局のホームページ（インターネット等）
３　那覇市広報紙「広報なは　市民の友」
４　パンフレット・ポスター
５　テレビ・ラジオ
６　イベント（水道週間・下水道の日）
７　電話での問合せ
８　新聞・雑誌
９　窓口・現場等の上下水道局職員
１０　その他（　　）

上下水道局広報誌
「なはの水」

問１１　水道・下水道に関する広報を充実させる手段として有効だと思うものはどれですか。（○はいくつでも）

１　発信する情報量を増やす
２　情報発信の回数を増やす
３　タイムリーな情報を増やす
４　内容を簡単にする
５　情報を探しやすくする
６　専門用語に解説を入れる
７　その他（　　）

問１２　**水道**に関することで、どのようなことを知りたいですか。**（○はいくつでも）**

１　水質のこと
２　水道の歴史
３　浄水場等の施設のこと
４　水道水ができるまで
５　水道工事のこと
６　地震や災害対策のこと
７　水道料金のこと
８　イベントのこと
９　事業の取り組みのこと
１０　家庭の水まわりのこと
１１　節水対策のこと
１２　家庭の水漏れ対策のこと
１３　その他（　……　）

昭和８年の給水開始当時、水源地（宜野湾村、現在の宜野湾市）に建立された「瑞泉潤民」記念碑（現在は、那覇市上下水道局敷地内に移設）

～「瑞泉」とは「めでたい、りっぱな泉」という意味で、この水源が多くの人々の生活を潤すという気持ちが込められています。

問１３　**下水道**に関することで、どのようなことを知りたいですか。**（○はいくつでも）**

１　下水処理のしくみ
２　下水道の歴史
３　処理場等の施設のこと
４　川や海の水質保全のこと
５　下水道工事のこと
６　地震や災害対策のこと
７　下水道使用料のこと
８　イベントのこと
９　事業の取り組みのこと
１０　大雨や浸水対策のこと
１１　再生水のこと
１２　下水道への接続工事に対する補助・貸付制度のこと
１３　その他（　……　）

那覇市の下水道マンホールのふた

～下水道によってきれいになった水の中で、魚たちが喜び群れ遊ぶ様子をイメージしたもので、全国で最初のデザイン蓋といわれています。

＜災害対策について＞

問１４　地震などの災害による断水時にそなえて、日頃から準備しているものはありますか。

（○はいくつでも）　※１人１日あたり３リットルの備蓄が望ましいと言われています。

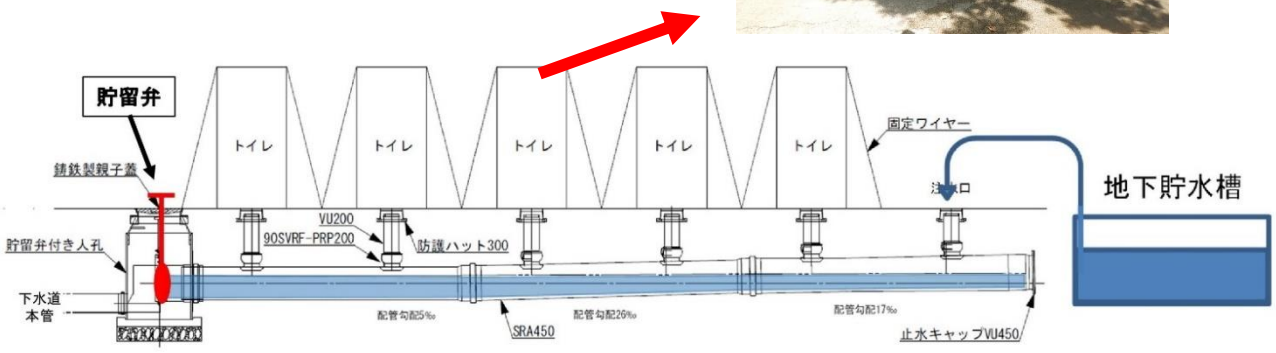
１　ペットボトル水などの飲料水を常備している
２　災害時に水を入れるポリタンク
３　浴槽の水を抜かずに残している
４　簡易トイレなどの非常用トイレ
５　何もしていない
６　その他（　……　）

問１５　大規模な災害対策として、那覇市上下水道局が特に力を入れるべきであると思われる事項はどれですか。**（○は３つまで）**

１　地震などの災害にそなえ水道管・下水道管の耐震化を進める
２　応急給水拠点(災害時に水を配る場所)についての広報やＰＲに力を入れる
３　市民が防災訓練に参加する機会を増やす
４　飲料水の備蓄についての広報やＰＲに力を入れる
５　マンホールトイレについての広報やＰＲに力を入れる
６　その他（　……　）

上下水道局では、地震などの災害に備えて、水道施設の耐震化を進めています。
耐震化とは、地震の際に管が破損して水が漏れないように、管と管の継ぎ目が「上下左右に曲がる」「前後に伸び縮みする」「強い力がかかっても抜けない」水道管に替えることです。（図参照）

【マンホールトイレ】
水道本管に接続する貯水した配管の上部にマンホールトイレやテントを設置して使用します。汚物が溜まったら、地下貯水槽を水源として水を投入し、貯留弁を開いて汚水をそのまま下水道に流すことができます（図参照）
那覇市では新都心公園に 30 基整備されております。



問１６　大規模な地震などの災害が発生した場合、あなたはどのような情報を知りたいですか。

（○は３つまで）

１　応急給水をしている場所、日時（飲料水が手に入る場所、日時）について
２　断水している地域と復旧（断水の解消）見込みについて
３　市内全体の水道管の被害状況について
４　ダムや浄水場など、水源や水道施設の被害状況について
５　下水道管破損による水洗トイレの使用中止が依頼されている地域の情報について
６　マンホールトイレを設置している場所について
７　その他（　　）

＜水道料金・下水道使用料について＞

問１７　現在お支払いになっている水道料金等（下水道に接続しているご家庭では、下水道使用料も合算してお支払いいただいております。）について、どう感じていますか。**（○は１つだけ）**

１　安い
２　やや安い
３　妥当である
４　やや高い
５　高い

【参　考】那覇市の水道料金、下水道使用料。（税込み）
（市内一般家庭において一人当たりの使用水量を5m^3/月と仮定した場合）

	5m^3 （単身世帯）	10m^3 （２人世帯）	20m^3 （４人世帯）	30m^3 （６人世帯）
水道料金	911円	1,431円	3,041円	5,011円
下水道使用料	639円	639円	1,489円	2,339円
合計	1,550円	2,070円	4,530円	7,350円

問１８　上下水道事業は、水道料金や下水道使用料によって、事業運営に必要な経費をまかなっています。人口減少社会の到来により料金収入が減少したり、施設の老朽化により維持管理経費が増加すると上下水道事業運営に支障をきたす恐れがあるため、料金の改定（値上げ）によってお客様にご負担いただく場合があります。施設の維持管理に対する経費への負担について、どう思いますか。**（○は１つだけ）**

１　安全な施設を維持していくためには、応分の負担（値上げ）はやむを得ない
２　現在の負担の範囲でまかなってほしい
３　負担を少なくしてほしい
４　その他（　　）

事業を運営するための経費を、みなさんが市へ納めていただく市民税などの税金ではなく、水道料金や下水道使用料でまかなうことを**「独立採算制」**といいます。
水道や下水道の施設の使用に応じて料金をお支払いいただくことを**「受益者負担の原則」**といいます。

Ⅳ　お客様センターについておうかがいします

問１９　那覇市上下水道局に設置されている「お客様センター」の窓口・電話対応についてお聞かせください。
（○は１つだけ）

※ 上下水道局では、お客様サービスの向上と業務の効率化を図るため、料金に関係する業務等を民間会社へ委託するとともに、「お客様センター」を設置して、平日の業務時間の延長（午後６時まで）や土曜日業務の実施等を行なっています。

１　非常に良い
２　良い
３　ふつう
４　悪い
５　利用したことがない
６　その他（　　）

（那覇市上下水道局　お客様センター）

【その他、水道・下水道事業に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。】

裏面にもアンケートのつづきがあります。

最後に、回答内容を統計的に処理するため、おうかがいします。

各項目のあてはまるもの１つに○をつけてください。

【あなたの年齢】

１　20 歳代以下	２　30 歳代	３　40 歳代	４　50 歳代
５　60 歳代	６　70 歳代以上		

【現在お住まいの地区】

１　本庁地区	２　真和志地区	３　首里地区	４　小禄地区
５　わからない			

【現在お住まいの家の形式】

１　一戸建て	２　集合住宅(マンション、アパートなど)
３　その他（　　）	

【世帯構成】

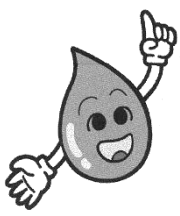
１　１人	２　２人	３　３人	４　４人
５　５人以上			

【那覇市にお住まいの期間】

１　５年未満	２　5～10 年未満	３　10～15 年未満	４　15 年以上

【最近お支払いただいた水道料金と下水道使用料の合計額（消費税込、１か月分）】

１　2,000 円未満	２　2,000 円以上 4,000 円未満
３　4,000 円以上 6,000 円未満	４　6,000 円以上 8,000 円未満
５　8,000 円以上 10,000 円未満	６　10,000 円以上



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和４年度

那覇市の水道・下水道に関するアンケート調査

報 告 書

令和５年１月

発　行　那覇市上下水道局　企画経営課
〒900-0006　沖縄県那覇市おもろまち1丁目1番1号
TEL：（098）941-7802
FAX：（098）941-7821

委　託　株式会社ゼンリンインターマップ
〒901-0147　沖縄県那覇市宮城１丁目１４番２５号
TEL：（098）857-3883